

留学ガイド 2023

STUDY ABROAD GUIDE

留学ガイド2023 目次

所長メッセージ	1
留学プランニング	
留学は、世界に羽ばたく第一歩	2
自分の留学計画を具体化させよう	2
主な語学試験	7
2023年度国際交流センター・年間スケジュール	10
プランニングチャート	12
留学制度	
獨協大学の留学制度	14
短期留学 共通事項	18
短期協定校留学	18
短期協定校 留学プログラム	19
短期協定校留学体験記	24
協定校が提供する夏季短期オンラインプログラム・参加体験記	25
短期認定留学	26
2023年度短期認定留学プログラム一覧	27
短期認定留学体験記	28
短期留学 Q&A	29
短期留学により修得した単位の認定について	30
長期留学 プランニングから留学出発まで	34
交換留学	
交換留学の資格・条件	36
2024年度交換留学募集要項	40
協定校情報	44
認定留学	
認定留学の資格・条件	62
これまでの認定留学先大学一覧	66
長期留学生（交換・認定）共通事項	
留学期間の延長	68
奨学金	68
留学前に行うこと	72
渡航手続き	74
留学時の学納金の取り扱い	76
留学中に行うこと	77
留学後に行うこと	78
長期留学により修得した単位の認定について	80
長期留学Q&A	89
長期留学体験記	92
危機管理・安全対策	
安全な海外留学のために	100
危機管理	102
海外渡航時に役立つサイト	111
就職活動	
留学と就職	112
長期留学した学生の主な進路一覧	113
留学経験者による就職活動レポートとアドバイス	114
留学統計資料	116

「国境線は見えなかった」

国際交流センター所長
前沢 浩子



1992年、日本で二人目の宇宙飛行士として宇宙に飛び立った毛利衛さんは、帰還後のインタビューでこう語りました。「宇宙からは、国境線は見えなかった。」真っ暗な闇が広がる宇宙に、たつぷりと水をたたえた青い地球が浮かんでいる。スペースシャトルの窓からその美しい地球を眺めたとき、そこに国と国とを区切る国境線が見えるはずありません。

ところが有史以来、人類はこの国境をめぐる戦争を繰り返してきました。今もなお、国境線の引き方をめぐって戦いあったり、国境線を越えて移動してくる人々を阻止しようとして緊張を高めたり、国境の向こうの地域への警戒心を高めたり、国境をめぐる深刻な状況は絶える気配がありません。宇宙からは見えないのに、地球ではひどく重要とされる「線」が国境です。

留学はこの国境を越える旅立ちです。外国語の力を伸ばしたり、異文化への理解を深めるとともに、留学という体験を通して、国とは何か、国境とは何かについても、考えてみる機会としてください。

海外で生活すると、多くの新しい経験をします。それと同時に、どこに留学しようとも、その社会にも日本と同じ問題があることに気づくはずですが、人や物や情報やお金が大量に移動するグローバル化の時代にあっては、世界の国々が共有する課題が増えています。経済的に発展した社会では、どこでも貧富の格差やそれにとまなう教育格差が問題になっています。男女の賃金格差や性的少数者への配慮も、共通の課題です。人口の高齢化や医療費負担の増加も、先進国に共通しています。温暖化をはじめとする地球環境問題は、先進国も発展途上国もともに立ち向かわなければならない喫緊の課題です。

国はこうした様々な課題に取り組む枠組みになっています。同じ課題であっても、国によって違う解決策が講じられることも少なくありません。大学生のみなさんにとっては身近な問題である大学の学費や奨学金ひとつとっても、政策は国ごとに大きく異なります。(英国ではイングランドとスコットランドでも違っています。)

留学するみなさんには、異国にあってもいかに日本と同じ問題が見つかるか、そしてまたそれにどのように違う答えを出そうとしているかを、発見してもらいたいと期待しています。それぞれの国や社会での取り組みが少しずつ共有されることで、物やお金の流通だけではなく、問題意識を共有し、ともに立ち向かう真にグローバルな時代が可能になります。宇宙に飛び立った毛利さんが「国境線は見えなかった」と、改めて国境の意味を問いただしたように、国境を越えて旅立つみなさんが、いったん日本を離れて、世界を大きく眺める視点を手に入れてくれることを願っています。



留学プランニング

Study Abroad Planning

》 留学は、世界に羽ばたく第一歩

獨協大学では、長期休業期間を利用した短期留学プログラム（夏季・春季）と、1～2学期間にわたり留学する長期留学プログラムを用意しています。短期留学は語学力の向上や異文化・生活体験を目指すものであり、長期留学は専攻分野の学習・研究を主目的としています。自分の目的と本学の留学制度を照らし合わせ、自分に合った留学計画を考えてください。

留学は、留学形態にかかわらず十分な準備が必要となります。特に、1～2学期間にわたる長期留学の場合は、留学先大学への出願手続きやそのための語学能力試験の受験準備も含め、留学に出発する約1年半以上前から準備を始めることが求められます。留学に関する情報収集や語学能力試験のスコアアップにはできるだけ早い時期から取り組みましょう。

ただし、留学がゴールというわけではありません。卒業までに大学でどのようなことを身につけたいかという長期的な学習計画、卒業後の進路を視野に入れた人生計画のステップのひとつが留学なのです。

まずは、この「獨協大学留学ガイド」にひととおり目を通すことから始めてください。



自分の留学計画を具体化させよう

留学は、留学費用の準備や保証人の同意や協力を必要とすることから、自分の力だけですぐに実現できるものではありません。留学を実りあるものとするためにも、入念に留学計画を立て、早めに準備することが重要です。

1. 留学目的の明確化

留学したいと思ったら、まず留学の目的を明確にしましょう。留学は、語学力の向上、国際感覚の醸成、複眼的な視点の獲得、異文化理解など、得るものが多い反面、肉体的、精神的、金銭的な面で大きな負担がかかります。それだけに、「ぼんやりとした留学のイメージ」を可能な限り具体化させ、目的を明確にすることが重要です。

留学中は、言葉の問題のみならず、文化や習慣の違いからくるストレス等、さまざまな問題に直面します。留学の目的・目標をしっかりと持つことは、これらの困難を克服し、大きな留学成果を上げるための重要な基盤であると言えます。まず、「留学後にどんな自分になりたいのか」を想像しながら、留学計画を立ててみましょう。



- ①なぜ留学をしたいのか？
- ②何のために留学をするのか？
- ③その目的は留学をしなければ達成できないのか？
- ④留学を通して何を手に入れたいのか？
- ⑤留学の経験を将来どのように活かしたいのか？

2. 留学情報の収集・留学先の選定

留学に関する正確な情報を得た上で、自分に合った留学先を選びましょう。情報収集の際には、2次情報ではなく、必ず「オリジナルの情報源」から最新情報を得よう心がけてください。大学の情報を得るには、各大学のHPが最も確かな情報源です。提供されている授業、学内外周辺的环境、宿舍の情報、おおよその生活費等、多くの情報を入手することができます。国によっては、駐日大使館のHP上で留学情報を提供している場合もあります。また、

指導教員や受講している授業の先生に積極的に相談することも重要です。

ビザ取得の手続きや現地の治安に関しては、駐日大使館のHPや外務省が提供している海外安全情報等を確認し、最新の情報を入手するようにしましょう（P.111「海外渡航時に役立つサイト」）。

留学先の選定にあたって考慮すべきポイントは、①学びたい分野、②国・地域、③留学時期・期間、④大学・機関の特徴・規模・施設・地域環境・留学生数、⑤出願時に要求される能力（成績・語学力等）、⑥学費その他の必要経費等です。特に重要な点は、留学先の学科や設置科目の内容が、自分の専攻分野や関心に見合ったものであるかということです。各大学・機関のHPや学校案内（Catalog、Bulletin等）で確認しましょう。



- ①学びたい分野は？
- ②留学したい国・地域は？
- ③留学する期間、留学開始時期は？
- ④どのような大学（規模・施設・環境）に留学したいのか？ 等

インターネットや書籍等を活用し、自分自身で情報収集する習慣をつけましょう。

3. 国際交流センターに相談してみよう

「留学に興味はあるけれど、何から準備を始めたらいいか、わからない」という人は、まず天野貞祐記念館2階にある「国際交流センター」を訪ねてみましょう。各言語圏別の専門スタッフが相談に応じるほか、さまざまな留学関係の書籍、資料等を取り揃え、一部貸出も行っています。また、留学から帰国した学生のアンケート等も閲覧できます。

言語圏／曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
ドイツ語	○	○	○	○	—
英語	○	○	○	○	○
フランス語	—	○	—	○	○
スペイン語	○	—	○	—	—
中国語	○	—	—	○	○
韓国語	—	○	○	○	○
開室時間	通 常：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※夏季休業期間中の開室についてはPorTaⅡ掲示板【お知らせ・ご案内】をご確認ください。				
場所	天野貞祐記念館2階				

一般的な留学相談については、窓口オープン時間であれば、曜日に関係なくいつでも相談に応じます。

内容により別途予約をお願いする場合があります。

またZoomによる留学相談も行っています。オンライン予約システム（DOORS）から事前予約してください。

変更がある場合は、PorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】でお知らせします。

4. 留学説明会、語学試験説明会に参加してみよう

毎年4月に行う「海外留学ガイダンス」をはじめとして、国際交流センターではさまざまなセミナー、説明会や交流会を開催しています。また、年間を通して、政府・文化団体や語学検定実施機関の協力のもと、留学や海外体験に関する情報提供を行っています。主なものはP.10の2023年度国際交流センター・年間スケジュールに記載しています。詳細はPorTaⅡ掲示板【留学支援・国際交流】で告知します。

5. 留学時期・期間の決定

【短期留学】

短期留学は、大学の夏季休暇・春季休暇を利用して海外の提携大学等で行われる約1ヶ月の「短期集中語学研修」で、原則として誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。

【長期留学】

長期留学は、2～3年次に留学した場合は留学期間を含めて4年間で卒業することも可能ですが、単位の認定および修得状況により卒業時期が延びる可能性があります。卒業後の進路やこれまでの学習状況等を勘案し、無理のない計画を立てましょう。

また、留学しようとする場合、日本と他国の学年暦の違いが障壁になる場合があります。海外の大学の多くは通常8～9月が年度開始時期となっており、この時期から留学を開始するのが一般的です。(学事日程により春学期から留学が開始できない国・地域・留学先があります。) 年度始めにオリエンテーションがあることや学習環境への適応を考えると、留学開始を現地の年度始めに合わせることを望ましいと言えます。基本的には学期ごとに入学できるシステムになっている大学でも、留学生に対しては年度始めだけに制限している場合もあります。

オーストラリア、韓国等は2～3月が年度始めとなっており、獨協大学の学年暦とほぼ対応しています。このような地域へ4年次に留学した場合は4年間で卒業できる可能性もありますが、帰国してすぐに卒業となるので、留学前に単位修得の条件等を必ず教務課各学部係窓口で相談するとともに、就職、大学院進学等、卒業後の計画を綿密に立て、キャリアセンターにも相談しながら準備をする必要があります。



留学の目的、留学希望先の国・地域、在学中の学習・履修計画に合わせて、最適な留学プログラムを選びましょう。

6. 留学資金計画

学力、語学力とともに、留学経費をまかなうことのできる財政能力も重要です。留学経費は、渡航前の準備段階から発生します。例えば、語学能力試験の受験料、留学が決まった後は渡航費、ビザ申請費、保険料が必要になります。渡航後の留学費用の大部分は授業料と生活費(住居費・食費等)で、このほかに教材費、通信費、その他雑費等が加わります。留学経費は、国および地域、大学(公立・私立の別、協定校の場合は協定内容)、住居や食事の形態(学生寮・アパート、外食・自炊等)によって異なります。短期留学では約40万円から70万円以上、長期留学では1年間に約150万円から400万円以上かかることもあります。また外国為替レートの変動により想定外の費用がかかることもあります。

留学先、渡航国によっては、留学経費を負担できる経済力を証明できないと入学許可書およびビザが発行されません。一般的には本人の銀行残高証明書や奨学金の受給証明書を提示する必要があります。

以上のことを念頭に、綿密な資金計画を立ててください。また、獨協大学の交換・認定留学制度を利用して留学する場合は、奨学金を申請することもできます(P.68～)。なお、留学先での就労は、多くの国で原則として禁止されています。

【長期留学の費用】

留学に必要な費用の主なものは、次の通りです。

1. 留学・渡航準備にかかわる費用

パスポート・学生ビザの取得、留学準備のため個人的に参加する語学研修の授業料等

2. 往復渡航費

3. 留学先大学へ支払う授業料、施設費等

留学中は、本学への授業料は全額免除されます。ただし交換留学では、協定に基づき、留学先大学へ授業料を納入する代わりに、獨協大学へ授業料を納入する場合があります。

4. 住居費

5. 保険料等(本学が加入を義務づけている海外旅行保険や、渡航国・地域や留学先が加入を義務づけている医療保険等)

6. 食費、書籍・教材費、被服費、交通費、通信費等、日常生活に必要な費用

【長期留学中の本学への学納金（参考）】

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	納入時期
授業料	380,000円	380,000円	760,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	526,800円	526,000円	1,052,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	納入時期
授業料	0円	0円	0円	
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	146,800円	146,000円	292,800円	

上記以外に、獨協大学が指定する海外旅行保険等に加入する必要があります（P.102参照）。

大学からの学納金納付案内のスケジュールについては、P.76で確認してください。

【認定留学に必要な費用概算（参考）】

以下に示す費用は、2022年度までに認定留学した学生から提出された留学アンケート等の結果に基づくものです。ただし、留学する大学や地域等によって異なる場合があるため、あくまでも目安として利用しましょう。

留学先	留学先大学へ支払う 登録費・学費等（年額）	学費以外に現地で 必要な費用総額（年額）	獨協大学へ支払う費用
ドイツ語圏の大学	400～3,350ユーロ（州による）	11,000ユーロ	施設設備費 および 学生教育研究災害傷害 保険料 280,800円／年 ＋ 父母の年会費 12,000円／年
英国の大学	10,000～17,000ポンド	9,100～11,400ポンド	
オーストラリアの大学	15,000～33,000豪ドル	16,000～20,000豪ドル	
アメリカの大学	11,000～28,000米ドル	15,000～20,000米ドル	
カナダの大学	12,000～20,000カナダドル	12,000～15,000カナダドル	
フランスの大学	2,000～7,000ユーロ	12,000～14,000ユーロ	
スペインの大学	7,000～9,000ユーロ	7,000～12,000ユーロ	
メキシコの大学	32,000～40,000メキシコペソ	48,000～110,000メキシコペソ	
中国の大学	17,000～24,000元	50,000～60,000元	
台湾の大学	100,000～120,000ニュー台湾ドル	100,000～200,000ニュー台湾ドル	
韓国の大学	600万～1,000万ウォン	1,000万～1,500万ウォン	

参考：1米ドル≒130円、1ポンド（英国）≒165円、1カナダドル≒98円、1ユーロ≒142円、1豪ドル（オーストラリア）≒92円、1メキシコペソ≒8円、1元（中国）≒19円、1ニュー台湾ドル≒4.2円、1ウォン（韓国）≒0.1円（2023年1月時点）

交換留学の費用は、各協定校の紹介ページ（P.44～）を参照してください。

7. 学力の向上

留学先の受入れ可否の決定には、獨協大学の学業成績（GPA）（P.36参照）が考慮されます。また、十分な留学成果を収めるには、その裏付けとなる基本的な学力が備わっていることが必要です。さらに、授業中の発言や積極的な参加態度も評価対象となりますので、知識を増やすだけでなく、自分の意見を持ち、進んで発言することを日頃から心がけましょう。



留学のためには、語学力だけでなく学業成績（GPA）も重要です。

獨協大学で履修する授業にも日頃から真面目に取り組み、良い成績を修められるようにしましょう。

8. 語学力の向上

語学能力の向上を目的とする短期留学プログラムでは、語学スコア等の参加要件はありませんが、長期留学の応募には語学スコア要件が設けられていますので、留学先大学の要件を確認する必要があります。

HP等で調べ、受験プランを立ててください（交換留学希望者は、P.40～の応募条件を参考にしてください）。語学試験の受験準備は留学先選びや情報収集と並行して、またはそれ以前から始めることが必要です。各種語学能力試験については、本冊子を参照するとともに、自分で実施団体のHPを確認しましょう。

語学力の向上には、地道な勉強が必要です。学内の施設や視聴覚教材、外国語講座を最大限活用し、語学力を高める努力をしてください（新型コロナウイルス感染状況により、学内施設の利用を制限する可能性があります）。

●図書館

- ①3階 言語・語学エリア：多読本、語学検定試験対策の本、CDも借りられます。Maruzen eBook Library収録タイトルなど、オンラインで利用できる英語多読本もあります。
- ②3階 AVコーナーブース：DVDなどで各国の映画を活用しよう。
- ③3階 発話トレーニングブース：ヘッドセットとPCで集中トレーニング
- ④1階 日本学コーナー：日本について外国語や対訳で書かれた資料を言語ごとに配架。日本を紹介する際に役立ちます。
- ⑤1階 新聞コーナー：英字新聞をはじめ外国語の新聞が読めます。Nexis Uni® などのデータベースを使えば、世界の新聞を検索して、記事を読むこともできます。
- ⑥Galeデータベース：地球規模の社会課題について学習に役立つ文献を収録。英語の難易度表記、音声情報のテキスト付。

●ICZ (International Communication Zone) 天野貞祐記念館3・4階

- ①チャットルーム：ドイツ語／英語／フランス語／スペイン語／中国語／韓国語の無料会話レッスン
- ②マンツーマンオンライン英会話
- ③ピアサポーター：語学学習に力を入れている先輩に、アドバイスや経験を教えてもらえます。
- ④各言語圏ルームで最新情報を入手：世界のラジオ放送、新聞、雑誌、CD、DVD等
- ⑤留学生との交流・情報交換の場として利用しよう！

●英語学習サポートルーム (English Learning Support Room) 中央棟1階

全カリ英語履修 8学科対象（ドイツ語学科、フランス語学科、経済学部、法学部）

- ①英語学習相談：英語学習アドバイザーが学習上の悩みや疑問に答え、個人に合わせた学習計画の支援を行います。英語学習サポートルームの窓口またはMy DOC (My Dokkyo Online Community) から予約可能
- ②ミニ講座：昼休みに、英語学習アドバイザーが効果的な学習法などのワークショップを実施
- ③ELSR Newsletter：英語学習に役立つ情報満載のニュースレターを定期的に発行

●英語学習相談コーナー (Consulting Corner for English : CCE) 言語文化学科対象

- ①英語学習サポート：言語文化学科の英語担当教員が個人・グループ相談を受け付け、英語力伸長を支援します。オンライン予約システム (DOORS) から事前予約。空きがあれば当日参加可。
- ②ワンポイントアドバイス講座：テーマを設け、英語学習のヒントをお届けします。



- 長期留学（1～2学期間）には、一定の語学力が求められます。
- 語学力は一朝一夕では身につかないので、留学時期にかかわらず、早いうちから継続的に学習する必要があります。
- 学部留学を希望する場合は、ほとんどの大学で指定の語学試験（英語の場合はTOEFL iBT®、IELTS™など）のスコア提出が求められます。受験機会は限られており、スコア入手までに時間を要しますので、早めに受験準備をしましょう。
- 語学能力試験のスコア提出が求められない大学への留学を希望する場合でも、自分の語学レベルを知るためにぜひ積極的に語学能力試験を受験してください。



主な語学試験

	試験名	試験概要	実施団体／問い合わせ先
ドイツ語	ゲーテ・インスティトゥート ドイツ語検定試験	世界で通用するドイツ語統一試験。A1レベルからC2レベルまで6段階が設けられている。C1以上の合格証書は、ドイツの大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。 本学学生は、割引コードを申請し、取得したコードを使用して申し込むと、受験料が割引される。 本学の教育研究支援センター（ICZ）では、2023年度春・秋学期には以下の講座を開講予定。 Goethe-Zertifikat A1 準備講座 Goethe-Zertifikat A2 準備講座 Goethe-Zertifikat B1 準備講座 Goethe-Zertifikat B2 準備講座	東京ドイツ文化センター 教育研究支援センター（ICZ）
	ÖSD （Österreichische Sprachdiplom Deutsch）	オーストリア政府公認のドイツ語能力検定試験。A1レベルからC2レベルまで6段階が設けられている。各レベルとも筆記試験（読解、聴解、作文）と口述試験によって構成されている。C1以上の合格証書は、ドイツ語圏の一部の大学に入学する際の語学試験の代わりになる場合がある。試験は、年2回実施。	ÖSD関東事務局
	ドイツ語技能検定試験	「独検」の名前で広く知られている日本で行われる代表的なドイツ語の技能検定試験。レベルは5級から1級まで（準1級を含む）6段階が設けられている。夏期試験は2級～5級のみ、冬期試験は全級で実施。本学の教育研究支援センター（ICZ）では、2023年度、以下の級で模試を実施予定（無料）。春学期2級・3級（6月）、秋学期準1級・3級（11月）	（公財） ドイツ語学文学振興会 独検事務局 教育研究支援センター（ICZ）
	TestDaF	世界共通のドイツ語統一試験。読解・聴解・筆記・口述それぞれの分野でTDN 3～TDN 5までの3段階の判定があり、ドイツの大学へ留学する際の語学能力証明として認定される。 国内では、東京ドイツ文化センターと本学でのみ例年春と秋に実施。（2023年度の本学での実施はコロナの影響により未定）	東京ドイツ文化センター
英語	TOEFL iBT® （Test of English as a Foreign Language）	英語を母語としない人々の英語コミュニケーション能力を測るテストで、TOEFL iBT® はインターネット版テストでコンピュータ受験する。日本国内では年に約30～40回土日に実施。「読む」「聞く」「話す」「書く」の4つのセクションからなる。各セクションのスコアは0～30の範囲で採点され総合スコア（0～120）が算出される。米国で大学学部留学に求められるスコアは61点以上。	TOEFL® テスト日本事務局
	TOEFL ITP®	マークシート形式の団体向けテストプログラム。Listening、Structure（文法）、Readingで構成され、スコアの範囲は310～677点で、TOEFL iBT® と高い相関性を持つテストである。学内実施のテストスコアは本学の一部の協定校で出願要件として利用できる。また、TOEFL iBT® 受験準備としても活用できる。 2023年度は年2回（6月、10月）学内で実施予定。	教育研究支援センター（ICZ）

英語	IELTS™ (International English Language Testing System)	海外留学や研修のための英語力判定試験。リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4つのパートからなる。各パートごとの英語力がバンドスコア(1.0~9.0)で示され、さらに総合評価としてオーバーオール・バンドスコア(1.0~9.0)が出される。一般的に大学学部の入学基準は6.0~6.5。 2023年度は、年2回(9月、2月)学内で実施予定。	(公財) 日本英語検定協会 IELTS™東京テストセンター (一財) 日本スタディ・アブロード・ファンデーション(JSAF)
	実用英語技能検定 (英検)	国内最大規模の英語検定試験。「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を、筆記・リスニング・スピーキングのテストで直接・的確に測定し合否を判定。従来型(一次試験と二次試験を2日間で行う)とS-CBT(スピーキングテストをパソコン上で吹き込み4技能を1日で判定)がある。 レベルは5級から大学上級程度の1級(準2級・準1級を含む)までの7段階で、3級以上はスピーキングの試験がある。	(公財) 日本英語検定協会
フランス語	DELFL・DALF	フランス国民教育省認定のフランス語資格試験。DELF(A1・A2・B1・B2)・DALF(C1・C2)の6つのディプロムから構成されており、聴解・読解・文書作成・口頭表現の4つの能力が評価される。 DELF B2以上を取得すると、フランスの大学の学部に入學する際に義務づけられているフランス語能力評価試験が免除される。	日本フランス語試験管理センター アンスティチュ・フランセ 東京(東京の場合)
	TCF	フランス国民教育省認定のフランス語能力検定試験(Test de Connaissance du Français)。結果は点数で示され、欧州共通基準(CECRL)の6段階のレベルに分けられる。聴解・語彙文法・読解の3分野からなる。 TCF TP(一般):フランス語学科は2年次の終わりに全員受験。	日本フランス語試験管理センター アンスティチュ・フランセ 東京(東京の場合)
	実用フランス語 技能検定試験 (仏検)	文部科学省および在日フランス大使館文化部後援。5級から1級(準1級・準2級含む)までの7レベル。春(準1級を除く)・秋(1級を除く)実施。準2級以上の一次試験は筆記と聞き取り・書き取り。二次試験は面接形式。3級以下は筆記試験と聞き取り試験。 本学の教育研究支援センター(ICZ)では、2023年度に以下の講座を開講予定。 ・本試験、対策講座(年数回予定) ・二次面接対策講座(年1回:6月下旬予定/無料) ・2級・準2級模試(5月・10月予定/無料)	(公財) フランス語教育振興協会 教育研究支援センター(ICZ)
スペイン語	DELE	スペイン教育・職業訓練省のもとインスティトゥ・セルバンテスを実施する、外国語としてのスペイン語検定試験。レベルは6段階(A1・A2・B1・B2・C1・C2)で、筆記試験(読解・聞き取り・西作文)と口頭試験からなる。日本国内で年2回実施され、東京では4月、7月にも特別開催(レベル限定)がある。 本学の教育研究支援センター(ICZ)では、2023年6月・10月にA2・B1レベルの口頭試験対策セミナー(無料)を開講(予定)。	インスティトゥ・セルバンテス東京 教育研究支援センター(ICZ)
	スペイン語 技能検定試験(西検)	文部科学省後援のスペイン語試験。レベルは6級から1級までの6段階。2級以上は面接形式の二次試験がある。	(公財) 日本スペイン協会西検事務局
中国語	HSK・HSKK	中国政府認定の世界共通基準の資格「漢語水平考試」。HSK(筆記試験)は1級から6級までの6段階、HSKK(口頭試験)は初級・中級・高級の3段階に分けられている。	(一社)日本青少年育成協会 HSK日本実施委員会
	中国語検定試験	日本中国語検定協会が実施している、主に日本語を母語とする中国語学習者対象の試験。準4級から1級までの6段階。準1級と1級のみ一次試験合格者および免除者対象に二次試験(口頭試験)を実施。	(一財) 日本中国語検定協会
韓国語	韓国語能力試験 (TOPIK)	韓国政府が認定・実施する韓国語試験。TOPIK IまたはIIを選択受験し、点数にしたがってIは1~2級、IIは3~6級に振り分けられる。試験科目はIが読解・聞き取り、IIが読解・聞き取り・筆記(作文含む)となっている。	(公財) 韓国教育財団
	「ハングル」能力 検定試験	日本語を母語とする韓国語学習者を対象とする試験。レベルは5級から1級(準2級含む)、入門級(オンライン試験)。試験科目は筆記・聞き取り・書き取り(1級)。1級のみ一次合格者に対して二次試験(面接)がある。	特定非営利活動法人 ハングル能力検定協会

■ IELTS™試験受験料補助（学内実施分）

英国等への留学に必須とされる英語試験IELTS™は、年に2回、獨協大学の学生を対象に学内で実施されます。

学内会場に限り、受験料25,380円のうち10,380円を大学が補助し、15,000円で受験することができます。受験料補助を受けるには、以下のいずれかを満たしている必要があります。ぜひチャレンジしてください。

IELTS™バンドスコア4.5以上、TOEFL iBT® テスト 50点以上、TOEFL ITP® テスト 475点以上、
TOEIC® LISTENING AND READINGテスト 600点以上（IPテストの場合は本学で受験したスコアのみ可）

※取得日は出願締切日より2年以内のものを有効とします。

受験料補助出願方法等の詳細は、教育研究支援センター（ICZ窓口）で確認してください。

■ CEFRとは？

CEFR（セファール）という言葉を目にしたことがありますか。これはCommon European Framework of Reference for Languages（ヨーロッパ言語共通参照枠）の略称で、欧州評議会（Council of Europe）が2001年に公開した言語能力を評価する国際指標です。

CEFRは、外国語の熟達度をA1（初心者）、A2、B1、B2、C1、C2（ほぼネイティブ）の6つのレベルに分けて評価します。各レベルについて、その言語を使って「何ができるか」を表す「can-do descriptor」を用いて具体的に説明しています。

獨協大学の交換留学応募の語学力要件にも、CEFRのレベルが用いられています。

熟練した言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した言語使用者	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の言語使用者	A2	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介ことができ、住んでいるところや、誰と知り合っているか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。

（出典）ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構
（英語4技能 資格・検定試験 懇談会HPより）

2023年度国際交流センター・年間スケジュール

実施時期は●で示しています。詳細の日程は、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] や国際交流センター掲示板で確認し

年	2023														
学期	春学期														
月	4			5			6			7			8		
時期	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
国際交流イベント・説明会 (国際交流センター主催・共催) 年間を通して実施する各種セミナー・説明会・交流会はPorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] でお知らせします。	<p>留学成果報告会(前年度秋学期留学終了者) 長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることも目的としています。</p> <p>留学フェア 留学や海外体験に対する理解を深め、より多くの学修機会を提供することを目的として、政府・文化団体や語学検定実施機関、学内関連部署の協力を得て「留学フェア」を実施します。</p>														
学内実施 語学試験 (教育研究支援センター主催)	IELTS			●説明会			●補助申請締切								
	TOEFL ITP® テスト			●説明会 ●申込締切 ●学内実施											

留学制度	種別	留学開始時期	言語圏	派遣期間	4			5			6			7			8					
					上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
長期留学	交換留学	<2024年度春学期> 2024年2月~	ドイツ語	P40~の 2024年度 交換留学募集要項参照					●説明会						●説明会							
			英語							●説明会			●締切 ●選考		●内定							
			フランス語						●説明会						●締切 ●選考		●内定					
			中国語						●説明会						●締切 ●選考 ●内定							
			韓国語						●説明会			●締切 ●選考 ●内定					●二次募集説明会					
		<2024年度秋学期> 2024年8月~	ドイツ語																			
			英語									●説明会										
			フランス語																			
			スペイン語						●説明会													
			中国語						●説明会													
				韓国語												●説明会						
	認定留学	<2023年度秋学期> 2023年9月~										●申請期限			事前研修							
		<2024年度春学期> 2024年2月~				●フランス語圏 ガイダンス																
	短期留学	協定校留学	夏季・春季休業期間中						●夏季プログラム 募集説明会			●夏季プログラム 募集締切							夏季 短期協定校留学プログラム実施 ・ハレ=ヴィッテンベルク大学 ・レジャイナ大学 ・ブルゴニー大学 ・東呉大学 ・慶熙(キョンヒ)大学			
認定留学						●夏季プログラム 募集説明会						●夏季プログラム 募集締切							夏季 短期認定留学プログラム実施			

てください。

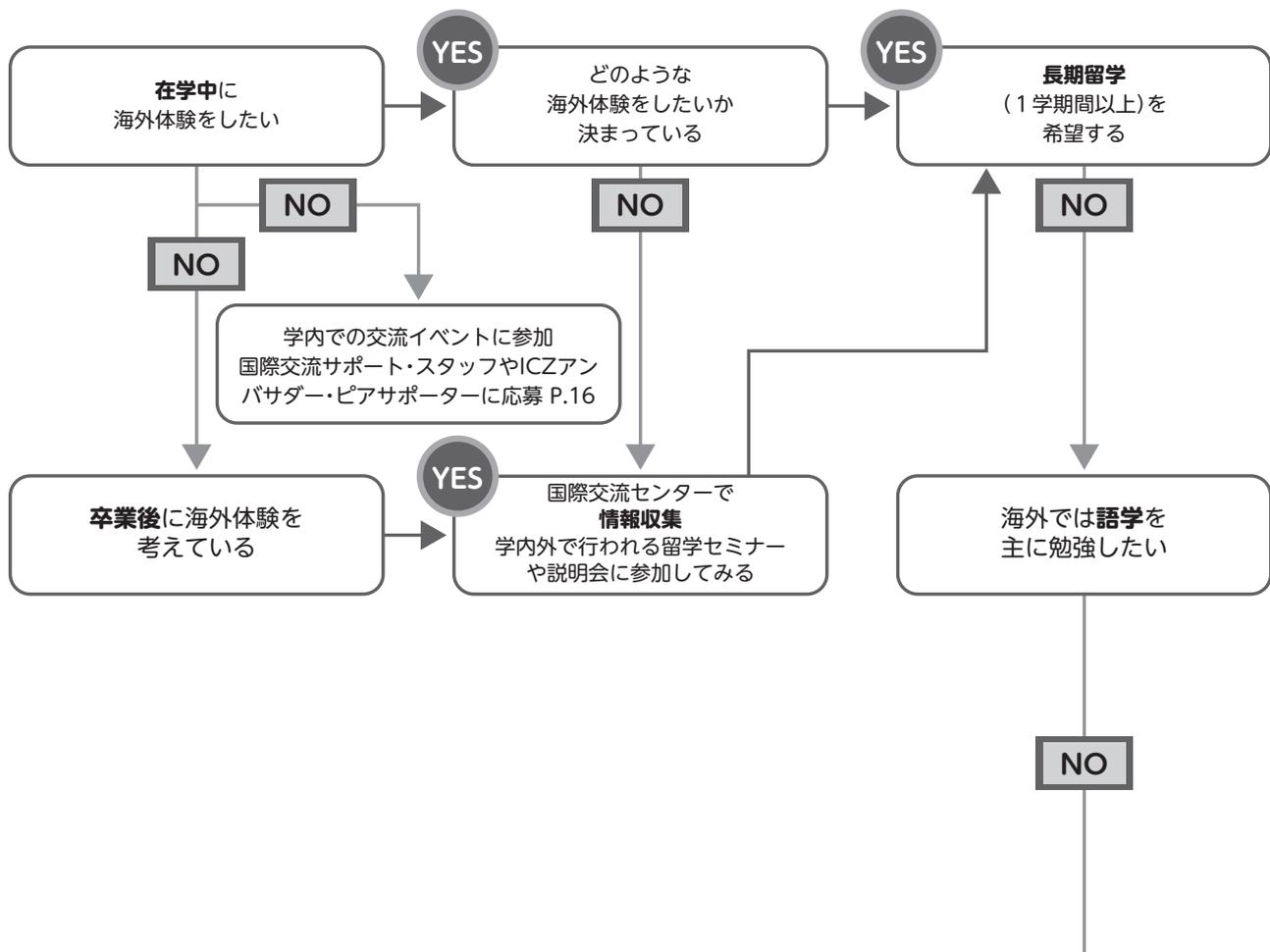
				2024																
				秋学期																
9			10			11			12			1			2			3		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
<p>留学成果報告会(春学期留学終了者)</p> <p>長期留学終了者が留学終了後の2回にわたる事後研修への参加を通してまとめた留学成果や自身の課題、今後のキャリアプランを発表します。発表者にとっては、参加者からのフィードバックをもらい、次のステップに向けての新たな気づきを得ること、他の学生にとっては、留学や海外体験について考えるきっかけとすることも目的としています。</p>																				
●オンライン申込締切			●学内実施			●説明会			●補助申請締切			●オンライン申込締切			●学内実施					
			●説明会 ●申込締切 ●学内実施																	
9			10			11			12			1			2			3		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
●締切 ●選考 ●内定																				
			●説明会			●二次募集締切														
			事前研修						事前研修											
●二次募集締切																				
						●説明会						●説明会			●締切 ●選考 ●内定					
			●説明会			●一次募集締切			●選考 ●内定			●二次募集説明会			●二次募集締切 ●三次募集締切					
												●説明会			●締切 ●選考 ●内定					
			●説明会			●締切			●選考 ●内定											
			●説明会			●締切			●選考 ●内定											
●締切 ●選考 ●内定												●二次募集説明会			●二次募集締切					
			フランス語圏 ガイドンス																	
			事前研修						事前研修			●申請期限								
			●春季プログラム 募集説明会			●春季プログラム 募集締切									春季 短期協定校留学プログラム実施 ・ヨーク大学 ・ウーロンゴン大学 ・クアタラハラ大学					
			●春季プログラム 募集説明会			●春季プログラム 募集締切												春季 短期認定留学プログラム実施		

交換留学の決定時期とその後の学習

- 留学開始の2学期前の学期中に学内選考を行い、留学が内定します。
- 留学開始直前学期は、留学に向けて専門や関連科目の知識を深めるとともにより具体的な準備をする学期です。

》》 プランニングチャート

質問に沿って進み、自分にピッタリの留学や海外体験を探してみましょう。
 関連ページを参照したり、説明会に参加し、理解を深めましょう。



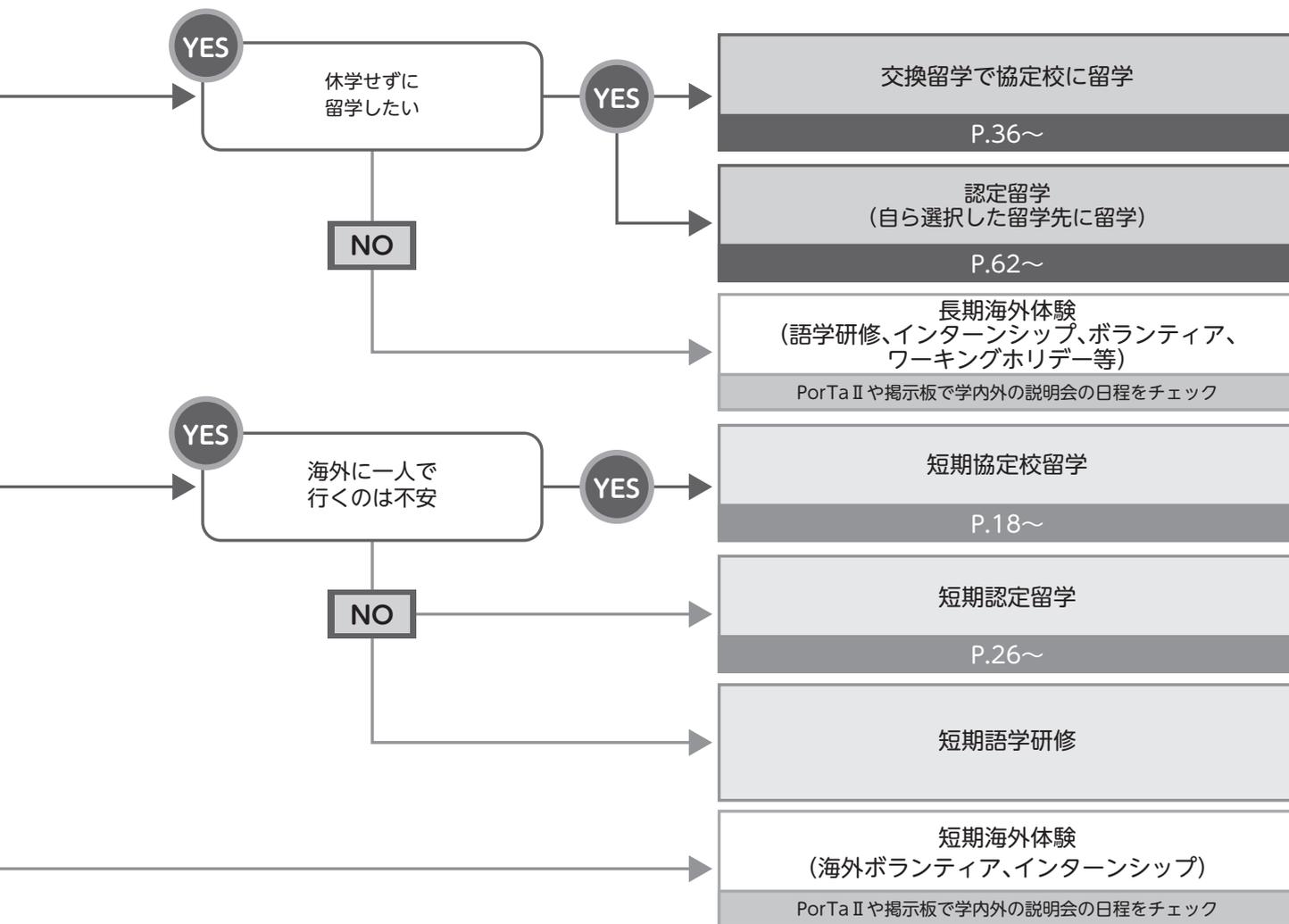
*** 新型コロナウイルス感染症の留学への影響と対応について ***

新型コロナウイルスの感染拡大により2019年度末から2022年度にかけて留学プログラムは大きな影響を受けました。学生派遣については、本学「海外危機管理マニュアル」ガイドラインに沿った対応を行いました。具体的には、2019年度においては外務省危険情報（感染症危険情報を含む）レベル3が発令された地域に留学中の学生に対しては「留学中止、帰国」の指示（勧告）を出しました。（ただし、個々の学生のおかれた状況により帰国が困難である、または現地滞在を継続するほうがより安全だと考えられる場合には、保証人の同意のもと、留学の継続を認めました。）2020年度春学期以降開始の留学については、プログラム開始の概ね45日前時点で外務省危険情報レベルが1以下でない場合は派遣中止としました。その結果ほとんどの長期留学が派遣中止または延期となりました。派遣中止となった学生については、留学予定先大学の授業が日本国内でオンライン受講でき、本人が希望する場合は、その受講を「長期留学」として認めました。2021年度春学期についても同様の対応となりましたが、2021年6月に文部科学省が大学間交流協定等に基づく1年間（派遣期間9ヶ月以上）の海外留学プログラムの支援を条件付きで再開するとの通知を出し、それを受けて、学内協議を重ねた結果、2021年度秋学期から本学が定める条件を全て満たす場合は特例措置として渡航による留学を認めました。2022年度も引き続きこの特例措置を適用し、加えて秋学期からは本学の協定校へ留学する認定留学者に限り、条件を満たした場合は特例措置を追加適用し、渡航を認めました。また、外務省危険情報レベルが1に引き下げられた国への認定留学も追加で認める決定をしました。

2023年3月現在は、一部に影響は残るものの、留学に関しては概ね従来の状況に戻ってきています。しかしながら、当面は引き続き慎重に対応しなければならない状況が続くと思われるため、上記方針を原則として、今後も状況に応じて判断してまいります。

短期留学については2022年度夏季は渡航を伴う全プログラムを中止し、代替プログラムとして協定校実施のオンラインプログラムを単位認定対象の「短期協定校留学オンラインプログラム」として実施しました（春季も継続）。春季は催行決定判断時に外務省危険情報レベルが1となった地域のプログラムに限り、渡航を伴うプログラムを実施しました。

海外学習をめぐる状況が大きく変化したとはいえ、留学が貴重な学修成果を上げる機会であることにいささかの変わりはありませんので、大学として皆さんの安心・安全を第一に、今後ともさまざまなサポート、情報提供を行ってまいります。



GLOBAL FRONTIER

天野貞祐記念館2階の国際交流センター・日本語教育オフィスと、3・4階ICZ*をまとめて「GLOBAL FRONTIER」と名付け、学内の国際化を推進しています。
※ICZ (International Communication Zone)

URL:
https://www.dokkyo.ac.jp/global_frontier/

facebook: 獨協大学GLOBAL FRONTIER



Instagram: dokkyo_global



Twitter: @dokkyoglobal



さまざまなアクティビティを通して世界とつながる [ICZ]

ICZは「異文化交流」をテーマにした施設で、在學生は誰でも利用できます。外国の文化に触れられる書籍や映像資料、ボードゲームなどを取りそろえており、また、留學生や外国人學生も多く利用するため日本にいながら異文化交流ができます。

このICZで活躍してくれているのがグローバルフロンティアアンバサダーとピアサポーターの學生たちです。

- 活動内容
 - ・アンバサダー：イベントの企画・実施、広報
【例】留學生との交流イベントの企画・実施
ICZの施設や活用法のアドバイス等
 - ・ピアサポーター：外国語学習相談
【例】勉強方法や検定試験対策、留学等に関する相談対応

ICZでは、ゲーテ・インスティトゥートドイツ語検定試験、IELTS等といった留学に必要な資格試験をはじめ、TOEIC(R) L&R公開テスト等、就職活動に活用できる資格試験の受験料割引サポート、また、資格試験や外国語学習に役立つ多数のイベントや講座も実施しています。

ICZで体験できる豊富なアクティビティを通して世界とつながってみませんか？



留学制度

Study Abroad Programs

独協大学の留学制度

独協大学の留学制度には、大きく分けて「短期留学」と「長期留学」があります。



短期留学

短期留学には、本学が企画し協定校で実施する教職員同行の「短期協定校留学」と、本学が認定した研修プログラム（教職員の同行なし）から選んで個人で参加する「短期認定留学」の2種類があります。

どちらも本学の夏季休暇・春季休暇を利用して行われる「短期集中語学研修」です。語学力の向上、異文化・生活体験、さまざまな国の学生との交流を目的とするもので、ホームステイができるプログラムもあり、「長期留学」へのステップともなります。また、研修先での修了証と成績表をもとに本学教員が評価し、合格と評価された場合は本学の外国語科目等の単位として認定されます。どの科目の単位が認定されるかは、留学先・所属学科によって異なります（P.30～）。

■ 短期協定校留学（本学教職員の同行あり） Check P.18～

本学が企画し、旅行会社が旅行業務法上の受注型企画旅行として、協定校で実施する研修です。4月および10月に行われるプログラム別の参加者募集説明会（日程はPorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕参照）に出席し、プログラムや申込方法を確認してください。

■ 短期認定留学（本学教職員の同行なし） Check P.26～

旅行会社が募集型企画旅行として実施する外国語研修プログラムのうち、授業内容、授業時間数、研修時期などが本学基準を満たすプログラムを、短期認定留学として参加募集しています。詳細は4月および10月に行われる「短期認定留学参加者募集説明会」（日程はPorTaⅡ掲示板〔留学支援・国際交流〕参照）で配布する募集要項で確認してください。

短期留学の目的

夏季・春季休業期間に実施する約1ヶ月の短期留学は、在学生であれば学年を問わず誰でも参加できます（定員超過の場合のみ選考あり）。他国の文化を知り、外国語学習のモチベーションを上げることが目的です。

帰国後は、留学先で学んだ言語の語学能力試験を受験してレベルアップを確認しましょう。可能なら、さらに半年間または1年間の長期留学にもチャレンジしてください。



長期留学

長期留学には、交換留学と認定留学の2種類があります。

いずれも、本学から派遣される留学生としての自覚と責任感を持ち、全ての授業および試験に出席し、単位修得に努めることが求められます。

■ 交換留学

獨協大学と学術交流協定を結んでいる大学へ、学内選考を通過した学生を派遣します。交換留学生は原則として、奨学金や研修費補助等を受給することができます。

■ 認定留学

大学間の協定によらず、個人で留学先大学を選択し入学許可を得た上で、本学の承認手続きを経て留学します。応募条件を満たす場合は、本学が給付する奨学金に応募することができます。

長期留学生は、次の優遇措置を受けることができます。

1. 留学中の授業料を免除

【交換留学の場合】

それぞれの大学との協定に基づいて、獨協大学または留学先大学のどちらかの授業料が全額免除になります。

【認定留学の場合】

獨協大学の授業料が全額免除され、留学先に授業料を納付します。

※交換留学および認定留学ともに、授業料以外の学納金（施設設備費、諸費、父母の会費）は期日（春学期4月末・秋学期9月末）までに納める必要があります。

2. 単位の認定（振替・換算）

留学先で修得した単位は、32単位を上限として本学の卒業に必要な単位として認定することができます。

3. 在学期間として算入

長期留学の期間は在学期間として算入されます。したがって、2.の単位の認定を行うことで留学期間を含めて4年間で卒業することも可能です。

長期留学の目的

1. 外国語運用能力、コミュニケーション能力の向上

留学終了後に、留学前のCEFR（P.9参照）のレベルを最低でも1段階上げましょう。

2. 国際的視野の獲得

専門の科目履修や他国の人々との交流を通して、自分（日本）の位置を相対化して把握するしなやかな理解力（＝教養）を身につけ、ゼミなどの授業やクラブ活動においてリーダーシップを発揮できるようになりましょう。

3. 国際人としての行動力、問題解決能力を養う

留学中の生活で起こるさまざまな問題を自ら解決する逞しい行動力と自立心を身につけ、他国の学生と積極的に交流し、留学後も継続しうるネットワークを作り上げましょう。

4. 社会的責任・使命を果たす

留学後は“グローバル・シチズン”としての自覚を持ち、留学中に学んだこと、体得したことを積極的に発信しましょう。また国際社会のために行動することの意義を周囲の人々に伝えましょう。



日本文化を発信する“アンバサダー”へ

留学は、短期留学の短い期間であっても、学業面だけでなく精神面にも大きな成長をもたらします。しかし、自分自身の成長だけにとどまらず、留学先で日本文化を発信し、日本の理解者を世界に増やす“アンバサダー”としての役割もぜひ果たしてください。留学帰国生が、獨協大学のグローバル化推進のための原動力となり、卒業後には、国の内外を問わずグローバルに活躍する人材になってほしいと願っています。



留学制度を使わない海外体験・異文化体験

本学の留学制度を使わず、海外へ語学学習に出かけたり、ワーキングホリデーやボランティアに長期間参加する学生もいます。このような目的で大学を長期間休む場合は休学手続きを取る必要があります。休学手続きについては、教務課に確認してください。休学の場合は所定の期日までに手続きを行うことで授業料（施設設備費、諸費、父母の会費を除く）が免除されます。渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力してください。

■ 学内での国際交流

国際交流センターでは、イベントやサポートスタッフなどの活動（以下）を通じて、外国人学生（学部留学生）および半年または1年間本学で学習する海外協定校からの外国人留学生（交換留学生）との交流の場を設けています。学生サポートスタッフの協力を得ながら国際交流イベントを行い、キャンパスの国際化を推進しています。

■ 留学生の友だちを作ろう

国際交流イベント	
6月	国際交流フェスティバル「草加国際村一番地」 草加市国際交流協会、草加市と共催
秋学期	日本文化体験イベント 過去の実施例…「飴細工体験&人形劇谷根千ツアー」 「留学生と行くバスツアー」

※上記のほかにICZでも交流イベントを実施しています。

※2023年度秋学期の開催等は未定です。確定次第、詳細はPorTaⅡ等で随時お知らせします。

■ 国際交流サポートスタッフ

海外協定校からの外国人留学生のために、来日時の宿舎への案内および日用品購入の同行、その後の日本での生活をサポートしてくれる学生を学期ごとに募集しています。

また、国際交流イベント実施の手伝いや、日本語や外国語を教え合う学生も募集予定です。

※外国人留学生の受入れ状況により2023年度の募集および活動は変更となる可能性があります。国際交流サポートスタッフの募集やイベントの実施については、確定次第、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] でお知らせします。

■ GLOBAL FRONTIER アンバサダー・ピアサポーター

アンバサダーは、GLOBAL FRONTIER (P.13参照) の広報やイベントの企画・運営を、ピアサポーターは、学生の外国語学習サポートを行う学生スタッフです。詳細は、天野貞祐記念館3階のICZカウンターまでお問い合わせください。

■ 日本語学習サポーター

日本語教育オフィスが窓口となり、日本語を教えることに興味を持つ学生を、外国人学生・外国人留学生の日本語学習サポーターとして紹介しています。授業の課題や予習復習のサポートを行う学生、日本語の授業に情報提供者として話し合い等に参加する学生を募集します。詳細は、天野貞祐記念館2階の日本語教育オフィスまでお問い合わせください。

国際的視野を広げるために獨協大学でできること・すべきこと

COVID-19パンデミックにより私たちは、日本に生きる自分たちの日常が、世界と分かちがたく結びついていることを痛感させられました。世界を知ることなしに、私たちは自らの立ち位置、そして進むべき道を考えることは困難です。世界を知るには留学は大きな力となります。しかし国際的な視野を得るために獨協大学で学べること、学ぶべきことも、実はたくさんあるのです。

本学は外国語学部、国際教養学部、経済学部、法学部の4学部11学科の学生が同じキャンパスで学んでいます。学部・学科を超えた交流を通し、様々な考え方や価値観に触れ、柔軟な思考力を身につけることができます。このオールインキャンパスのメリットを活かして自分が所属する学科・学部の授業だけでなく、他学部他学科で開設されている科目にも目を向け、留学の準備も含め、グローバル・シチズンとして生きていく力を養ってください。

【履修を推奨する授業科目（主に学科必修科目以外を紹介）】

1. 留学準備に役立つ科目／留学前に学んでおくべき科目

※科目開講のない年度もあります。シラバス・時間割表を確認してください。

内容	開設学科等	科目名	備考
留学準備	ドイツ語学科	留学準備特殊演習 / インターンシップ特殊演習	
	英語学科	海外留学と国際理解	
語学力養成 ※英語科目のみ記載	全カリ英語	English (資格Ⅲ) / (資格Ⅳ) English (Special Topics: Advanced Test-taking Strategies)	TOEFL / IELTS
		English (ライティングⅡa・b) / English (Academic Writing II: Essay) English (スピーキングⅡa・b) / English (Speaking in Academic Contexts II: Presentation)	学科必修でない場合は選択履修推奨
		英語 / 上級英語	ドイツ語学科対象
	英語学科	Discussion / Advanced Writing (Research) / English Communication Seminar I・II / Academic Lecture	
交流文化学科	Debate I・II / Discussion&Current Affairs / Debate&Critical Thinking I・II		
日本・グローバル・現代社会理解	全カリ総合科目	全学総合講座	(「分断化」の時代のなかで法・政治・社会を考える) / (新聞記者と学ぶ現代経済—SDGs 未来講座—) / (国際協力とJICA) / (メディアと私たち)
		歴史と文化1	(国境を越えて移動する民) / (異文化共存の模索) / (東西の文化を結ぶもの)
		現代社会1	(Comparative Societies and Cultures 1・2) / (経済学1・2) (はじめての経済学) / (国際政治学の基礎)
		ことばと思想2	(LGBTQと現代思想a・b) / (多文化理解)
		歴史と文化2	(Overview of Japanese History and Culture, Part I・II) / (Japanese Popular Culture) / (Japanese Legends, Tales and Myths as Expressed in the Arts: 1・2)
		現代社会2	(新聞を読む1・2) / (Future Skills Program)
		自然・環境・人間2	(サイエンスライティングa) / (教養としてのデータサイエンス)
	英語学科	Global Studies 1・2・3	
	言語文化学科	日本研究科目群 各科目	
フランス文化・社会理解	フランス語学科	フランス現代社会入門Ⅰ・Ⅱ / フランス芸術文化入門Ⅰ・Ⅱ / フランス語学論Ⅰ・Ⅱ / フランス文学史Ⅰ・Ⅱ / フランスの歴史Ⅰ・Ⅱ 等	1年次、2年次推奨
ICTスキル養成	全カリ総合科目	現代社会2(コンピュータ入門a・b) / ことばと思想2(プレゼンテーション実習)	
	外国語学部共通科目	情報科学各論(情報処理演習 / Excel・プレゼンテーション中級 / Word中級)	
	経済学部	コンピュータ入門a・b	

【重要】 開講科目の履修および卒業要件としての単位修得には諸条件があります。不明点がある場合には、教務課各学部窓口にお問い合わせください。

2. グローバルな視点を養うために役立つ科目

- ・履修計画は、卒業要件のみにとらわれることなく、より広い興味・視野に立って考えてみましょう。そのためにはクラス担任や演習指導教員に積極的にアドバイスを求めてください。
- ・学問研究には専門分野を問わず、その学問体系の根底となる文化や思考方法に対する理解も必要です。学んでいるときには関連性がよくわからずバラバラだったことが、いつか、ああ、そういうことだったのか、と思えることがあるかもしれません。
- ・視野を広げるには、キーワードによる科目検索も役に立ちます。

【基本的な知識を幅広く養う】 日本史、世界史、文化史、思想史、宗教史、社会保障、情報、社会調査、統計

【地域研究】 文化研究、ツーリズム、開発

【国際社会理解】 国際関係、国際協力、国際経済・政治、国際法、NPO・NGO、グローバル

【現代社会理解】 環境、ジェンダー、SDGs、メディア、移民・難民など

短期留学 共通事項

短期留学参加者は、国際交流センターが実施する「危機管理セミナー」への出席（P.101参照）や、**本学指定の海外旅行保険への加入**が義務付けられています。その他、遵守すべき事項を定めた誓約書を提出してください。なお、参加申込者が定員より大幅に少なかった場合、または研修先機関の都合等により、やむを得ず研修が中止となることもあります。また、本学が危険と判断する事態（戦争、テロ、新型インフルエンザ等の感染症流行など）が発生した場合も、研修の中止や研修期間の短縮またはコース変更を行うことがあります。

※参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じて、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、十分に留意してください。

■ 単位認定

留学先が発行する修了証、成績表をもとに単位認定の審査が行われ、その結果により単位が認定されます。研修に参加すれば自動的に単位認定されるわけではありません。また単位認定で振替・換算できる科目は学部・学科により異なるので、P.30からの「短期留学により修得した単位の認定について」を熟読し、不明点がある場合は必ず事前に教務課の各学部窓口で確認してください。



ホームステイを伴うプログラムについて

1. ホストファミリーの家庭環境は必ずしも同一ではありません。
ホストファミリーのライフスタイルや家族構成（高齢の夫婦のみの家庭、母子家庭、小さな子どもがいる家庭、同世代の異性の子どもがいる家庭、共働きの家庭、一人暮らしの方等）、人種・民族、文化、食事（ホストファミリーの手作り、冷凍食品、参加者自身による自炊等）、ペットの有無、設備、留学先機関までの通学距離・方法等は、滞在する家庭によって異なります。
2. ホームステイ申込書等に、希望の家庭環境（子どもやペットの有無等）について記載できる場合があっても、必ずしも希望どおりになるわけではありません。
3. 他の日本人や、同じプログラムに参加する本学の学生、他国からの学生と同じホームステイ先になる場合があります。
4. 「ゲスト（お客様）」として滞在するのではなく、家族の一員として、滞在中はハウスルール（家庭内の規則）を守り、感謝の気持ちを忘れずに行動しましょう。
5. 出発前、プログラム参加中に、参加者の一方的な希望による滞在先の変更はできません。
ただし、受け入れるホストファミリーのやむを得ない諸事情（不慮の出来事、病気等）により、出発前、プログラム参加中にホームステイ先が現地手配側により変更される場合があります。

短期協定校留学

「短期協定校留学参加申込書」「誓約書」その他必要な書類を定められた期日までに国際交流センターに提出してください。上記の書類の提出をもって申込手続き完了となりますが、申込者が定員を超過した場合は選考を行うことがあります。「短期協定校留学参加申込書」「誓約書」は、PorTaⅡダウンロードセンター>留学支援>留学関連提出書類>短期留学参加申込書類>短期協定校留学からダウンロードしてください。なお、次ページ以降に記載のプログラム日程・費用等は、変更になる場合があります。

※短期協定校留学の場合は、単位認定申請手続きは不要です。

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。

夏季プログラム

夏季 ドイツ語	研修先大学	ハレ=ヴィッテンベルク大学（ドイツ）		
	クラスのレベル	初級～上級		
	1クラスの最大人数	12名		
	本学での募集人数	15～25名（2019年度参加実績23名）		
	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり（前半10日間）		
	教室内の授業	週5日 9：00～12：15／13：00～14：30／土曜日 エクスカーション		
	授業科目	総合的なドイツ語授業、ドイツ事情、小グループでのテーマに沿ったプレゼンテーション		
	エクスカーション	3日間のミュンヘン研修、ベルリンおよびライプツィヒへの日帰り観光、ヴィッテンベルク市内観光等。エクスカーションは、土曜日に行われず（最終週のみ水曜日）。		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約56～60万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、エクスカーション費、ミュンヘン研修費、海外旅行保険料、研修期間中の食費（朝・夕）、燃油サーチャージ等を含む）			
研修期間	2023年8月5日（土）～9月4日（月）（31日間）			
	8月5日（土）	成田発		
	8月6日（日）	ドーハ経由ベルリン着、ヴィッテンベルクへ		
	8月7日（月）～8月30日（水）	ハレ=ヴィッテンベルク大学でのドイツ語研修（ホームステイ）		
	8月31日（木）	ヴィッテンベルクからミュンヘンへ移動。ミュンヘン研修（3泊）		
	9月3日（日）	ミュンヘン発、ドーハ経由成田へ（機内泊）		
9月4日（月）	成田着			
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。			

夏季 英語	研修先大学	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校（アメリカ）		
	クラスのレベル	初級～中級		
	1クラスの最大人数	10～15名		
	本学での募集人数	15～30名（2019年度参加実績14名）		
	宿泊形態	学生寮、ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり（前半10日間、後半10日間）		
	教室内の授業	週5日 8：00～12：00／13：00～14：30		
	授業科目	会話、スピーチ、読解、作文等レベル別クラス。各自のテーマに沿ったプレゼンテーション、ディスカッション。学外のゲストスピーカーのレクチャーもあります。		
	エクスカーション	カヌー体験、ピクニック、キャンプファイヤー、チーズ工場見学、シカゴ研修		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約57～62万円（往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、教材費、シカゴ研修、海外旅行保険料、研修期間中の食費、燃油サーチャージ等を含む）			
研修期間	2023年8月6日（日）～8月29日（火）（24日間）			
	8月6日（日）	羽田発、シカゴ経由ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校着		
	8月7日（月）～8月25日（金）	ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校での英語研修（大学寮泊＋ホームステイ）		
	8月26日（土）～8月27日（日）	シカゴ研修		
	8月28日（月）	シカゴ発		
	8月29日（火）	羽田着		
その他	他国の学生が参加する場合があります。			

2023年度募集中止

夏 季	研修先大学	レジャイナ大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	プレイスメントテストによりクラス分け		
	1クラスの最大人数	15名程度		
英 語	本学での募集人数	30名		
	宿泊形態	学生寮		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 8:30~11:30/12:30~15:30		
	授業科目	総合的な英語力アップのための集中授業。レジャイナ大学学生との交流アクティビティ等。		
	エクスカーション	ロイヤル・サスカチュワン博物館、カナダ連邦騎馬警察歴史博物館、フェネック農場、乗馬体験等		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約69万円 (往復航空運賃、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、研修期間中の食事 (朝・昼・夕)、燃油サーチャージを含む)			
研 修 期 間	2023年8月6日(日)~8月27日(日) (22日間)			
	8月6日(日)	成田発、バンクーバー経由レジャイナ着		
	8月7日(月) ~25日(金)	レジャイナ大学での英語研修		
	8月26日(土)	レジャイナ発バンクーバー経由成田へ		
	8月27日(日)	成田着		
その他	レジャイナ大学とは2020年に学術交流協定を締結。2021・2022年度はオンラインによる短期プログラムを実施。他大学学生の参加あり。			

夏 季	研修先大学	ブルゴーニュ大学 (CIEF) (フランス)		
	クラスのレベル	入門~上級までの5段階		
	1クラスの最大人数	15~20名		
フ ラ ン ス 語	本学での募集人数	15~25名 (2019年度参加実績12名)		
	宿泊形態	国際学生寮 (個室)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 9:00~11:00/13:00~16:00 *曜日により異なる (週20~25時間)		
	授業科目	会話、読解、発音、聞き取り、文法、作文などの総合的なフランス語の授業を中心に、フランスの文化、文明についての講座もあります。		
	エクスカーション	ディジョン市内観光、ロワール古城巡り、アルプス観光等 任意参加、料金別途。金曜日午後または週末に実施		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
研修費用	約60万円 (往復航空運賃、団体行動中の交通費、宿泊費、講習費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む) *エクスカーションの費用、食費は含まれていません。			
研 修 期 間	2023年8月16日(水)~9月17日(日) (33日間)			
	8月16日(水)	羽田発 (直行便)、パリ着 (パリ市内のホテル)		
	8月17日(木) ~8月19日(土)	パリにて自由研修		
	8月20日(日)	パリからディジョンへ		
	8月21日(月) ~9月15日(金)	ブルゴーニュ大学でのフランス語研修 (ブルゴーニュ大学国際学生寮)		
	9月16日(土)	ディジョンからパリへ。パリ発 (直行便)		
	9月17日(日)	羽田着		
その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。			

夏季	研修先大学	東呉大学(台湾)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	語学課程12名程度、文化課程30名程度			
本学での募集人数	8～15名(2018年度参加実績9名)			
中国語	宿泊形態	学生寮(4人部屋)		
	本学教職員の同行	あり(前半10日間)		
教室内の授業	週4日 9:00～12:00/13:00～16:00			
授業科目	語学課程(聴解・会話・読解・作文など)、文化課程(歴史・芸術・人文・伝統芸能など)			
エクスカージョン	宜蘭(日本水路ラフティングと葱油餅体験)、九份・平溪(旧市街とスカイランタン)台北(ケーキ博物館と故宮博物館)(予定)			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	未定			
研修期間	2023年8月6日(日)～8月27日(日)(22日間)(予定)			
	8月6日(日)	東京発、台北着		
	8月7日(月) ～8月25日(金)	東呉大学での中国語研修(学生寮)		
	8月27日(日)	台北発、東京着		
その他	3月1日現在、実施について検討中です。最終的な実施可否については、4月上旬にPorTa II 掲示板[留学支援・国際交流]にてお知らせします。			

夏季	研修先大学	慶熙(キョンヒ)大学(韓国)		
	クラスのレベル	初級～中級		
1クラスの最大人数	15～20名			
本学での募集人数	8～30名(2019年度参加実績16名)			
韓国語	宿泊形態	未定		
	本学教職員の同行	あり(前半10日間)		
教室内の授業	週5日 9:00～12:50			
授業科目	韓国語授業(文法、スピーキングなど)、文化体験(詳細未定)			
エクスカージョン	日帰り旅行1～2日(詳細未定)			
応募資格	獨協大学に在学中であること			
研修費用	未定			
研修期間	2023年8月1日(火)～8月24日(木)(24日間)(予定)			
	8月1日(火)	東京発、ソウル着		
	8月2日(水) ～8月23日(水)	慶熙大学での韓国語研修		
	8月24日(木)	ソウル発、東京着		
その他	3月1日現在、実施について検討中です。最終的な実施可否については4月中にPorTa II 掲示板[留学支援・国際交流]にてお知らせします。			

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。



春季プログラム

春季	研修先大学	ヨーク大学 (カナダ)		
	クラスのレベル	初級～中級		
	1クラスの最大人数	15～20名		
	本学での募集人数	15～30名 (2022年度参加実績30名)		
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 10:00～12:00 / 13:15～15:00		
	授業科目	リスニング、スピーキング、文法、発音、カナダの歴史・地理・多文化主義等に関する講義・ディスカッション等		
	エクスカーション	ナイアガラの滝見学、CN Tower、水族館ツアー、ホッケー観戦等		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2022年度は約74万円。往復航空運賃、講習費、教材費、エクスカーション費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む)		
	研修期間	2024年2月17日(土)～3月10日(日) (23日間) (予定)		
		2月17日(土)	成田発、トロント着 (ホストファミリー宅へ)	
		2月20日(火) ～3月8日(金)	ヨーク大学での英語研修 (ホームステイ)	
		3月9日(土)	トロント発	
		3月10日(日)	成田着	
	その他	大学付属の英語研修機関YUELIで開講されているSpring Break Immersion Program。他大学学生の参加あり。		

春季	研修先大学	ウーロンゴン大学 (オーストラリア)		
	クラスのレベル	初級～中級		
	1クラスの最大人数	15名		
	本学での募集人数	15～30名 (2019年度参加実績25名)		
英語	宿泊形態	ホームステイ		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	週5日 8:30～13:00または13:00～17:30 (クラス別で異なる)		
	授業科目	会話、読解、作文等。各国からの学生とグループディスカッションやプレゼンテーションを通しての学習。		
	エクスカーション	シドニー1日ツアー、アクティビティ (グレッズウッズ牧場、ボンダイビーチやブルーマウンテンズ観光、乗馬、水族館や美術館見学等)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考:2019年度は約49万円。往復航空運賃、団体行動中の交通費、ホームステイ費、講習費、教材費、エクスカーション費、海外旅行保険料、研修期間中の食費 (一部を除く)、燃油サーチャージ等を含む)		
	研修期間	2024年2月17日(土)～3月17日(日) (30日間) (予定)		
		2月17日(土)	羽田発	
		2月18日(日)	シドニー着、ウーロンゴン大学へ	
		2月19日(月) ～3月15日(金)	ウーロンゴン大学での英語研修 (ホームステイ)	
		3月16日(土)	ウーロンゴンからシドニーへ移動。シドニー市内自由行動	
		3月17日(日)	シドニー発、羽田着	
	その他	留学生を対象とした大学付属の英語研修機関で開講されているクラスで、レベル別に分かれて学びます。		

春季	研修先大学	グアダラハラ大学附属語学学校CECM (メキシコ)		
	クラスのレベル	初級～上級まで12段階		
	1クラスの最大人数	4～15名程度		
	本学での募集人数	8～20名		
スペイン語	宿泊形態	ホームステイ (2食付)		
	本学教職員の同行	あり (前半10日間)		
	教室内の授業	月～金 9:00～11:30 / 12:00～14:30		
	授業科目	ラテンアメリカスペイン語、会話、文法、語彙等		
	エクスカージョン	任意で現地申込 (チャパラ湖ツアー等)		
	応募資格	獨協大学に在学中であること		
	研修費用	未定 *10月下旬の募集説明会でお知らせします。 (参考: 2019年度は約42万円。往復航空運賃、講習費、教材費、ホームステイ費、海外旅行保険料、燃油サーチャージ等を含む)		
	研修期間	2024年2月10日(土)～3月11日(月) (31日間) (予定)		
		2月10日(土)	成田発、メキシコシティ経由グアダラハラ着 (ホストファミリー宅へ)	
		2月12日(月) ～3月8日(金)	CECMでのスペイン語研修 (ホームステイ)	
		3月9日(土)	グアダラハラ発、メキシコシティ経由	
		3月11日(月)	成田着	
	その他	世界各国より参加者あり。日本人比率はクラスレベルによります。		



短期協定校留学体験記

春季

英語研修

ウーロンゴン大学

2019年度 プログラム参加

言語文化学科 S. K.

私がウーロンゴン大学への短期留学を決めたのは、まず異文化を体験して海外からみた日本という視点を得たいと思ったからです。異文化の中でも英国領だった歴史や独特の自然、マルチカルチャーを持つオーストラリアに特に興味があり、留学することでオーストラリアだけでなく日本についても何か新しい発見があるのではないかと考えたのです。また、自分の英語力を試したいという動機もありました。ALTや日本に長く住んでいる英語ネイティブの人は、日本に対する理解があるため自分の英語でも何とか通じますが、それは海外でも同様に通じるのかを知りたいと思いました。



まず英語は、LとRの発音がうまくできないせいか、福祉施設を訪問したとき、思うように話が通じないことがありました。その後は発音を意識することで少しずつ会話ができるようになりました。この経験から、現地の人々が理解するように努めてくれているからこそ会話が成り立っていたのだと気づくことができました。

また、オーストラリアでは縦社会ではないフラットな雰囲気を感じました。そのおかげで上下関係を気にすることなく自由に話をすることができました。日本の縦社会の厳しさを一種のカルチャーとして再発見しました。

留学先で一番心配だったのは食事でした。元々好き嫌いの多い私に、ホストマザーが初日のランチに作ってくれたのは卵サンド。いきなり嫌いなものが出されました。そこから毎日同じメニューが続き、これはもう限界だと感じたため、思い切って自分は卵が苦手なのだとマザーに伝えました。するとマザーが、日本の子はみんな卵を食べると聞いていたので、毎日卵サンドがいいと思っていたのだと話してくれました。そして次の日からはツナサンドに変えてくれました。後日ファザーに「今日の料理はおいしい？」と聞かれ、本当においしいと思ったのでそう伝えると、ファザーは「気を使ってくれたのかな」と笑いました。するとマザーが「違うわ、この子は正直なのよ」と言ってくれたのです。たった一言勇気を出して伝えたことで、マザーはその後も私の言葉をそのまま受け取ってくれるようになったのです。

オーストラリアでは楽しいイベントや綺麗な景色をたくさん経験しましたが、私にとってはこのような日常の小さな出来事を通して自信がついたことが留学の一番の収穫でした。それはきつとただの海外旅行だったら体験できなかったことだと思います。

夏季

ドイツ語研修

ハレ=ヴィッテンベルク大学

2019年度 プログラム参加

ドイツ語学科 Y. M.

1ヶ月間家を離れることも、ドイツに行くことも初めてでしたが、不安より期待のほうが大きかったです。1ヶ月間という短い時間をどれだけ充実させられるかは自分次第です。異国の地で、ひとつでも多くのことを吸収しようと思って毎日過ごすことができれば、一回りも二回りも大きく成長できると思います。



研修期間中、平日の午前中は語学学校で授業を受け、放課後や週末は語学学校で知り合った友人やホストファミリーと出かけたりして過ごしました。全部で3つに分けられたクラスでの授業は、獨協大学のものとは違い、座学以外に野外でボールを使って発音の勉強をしたり、絵を描いたりとアクティブなものもありました。中国や韓国などのよく知っている国を始め、トルクメニスタンやアルメニア、キルギスなどの全く知らなかった国の学生たちとも触れ合い、彼らの文化について知ることができました。どの国から来た学生ともドイツ語で会話をするというのが新鮮でした。週末には、日本人の現地ガイドさんがついたエクスカージョンでベルリン、ライプツィヒ、ハレに行きました。歴史の教科書でしか見たことのない建物や街並みを実際に目にし、感動したことをよく覚えています。

私のホストファミリーは、30代のご夫婦、13歳の女の子、3歳の男の子の4人家族でした。私が食べたことのないドイツ料理を作ってくれたり、ドイツでしかできないことをたくさん経験させてくれました。最初の頃は、自分の語彙力のなさにかかなり悔しい思いをしました。それでも、私が何か話しかけると、一生懸命聞いて、丁寧に説明してくれました。そんな彼らと過ごしているうちに、「大切なのは語学力ではなく、相手に伝えようとする気持ちだ!」と気づきました。それ以来、疑問に思ったことをメモしたり、初めて見たものについて時間がある時に質問するようになり、日に日に彼らの言っていることがわかるようになりました。特に、3歳の男の子と遊んでいて、彼の話していることがわかるようになった時、また私の言っていることを彼が理解してくれた時はとても嬉しかったです。

異国の地で過ごした1ヶ月間は新鮮なことばかりでした。ドイツの文化に触れて、こういうところは日本の方が素敵だな、ここはドイツの方が素敵だなと感じたり、同年代の海外の学生たちと過ごすことで刺激を受け、自分の世界が広がりました。楽しいことも大変なことも、捉え方や取り組み方次第で、ただの「思い出」から「経験」に変わります。長い人生の間で学生のうちにしか経験できないことに、皆さんも挑戦してみませんか?その先にはきつと何にも代え難い貴重な経験が待っています。

協定校が提供する夏季短期オンラインプログラム

本学では新型コロナウイルス感染症の影響を受け、2020～2021年度は短期協定校留学および短期認定留学の実施を中止しました。その代替として本学の協定校が提供する短期オンラインプログラムを紹介し、多くの学生が参加しました。2023年度夏季については渡航をともなう短期協定校留学および短期認定留学を実施する予定ですが、オンラインプログラムもあわせて提供します。

■オンラインプログラムのメリット

- ・渡航することなく現地の授業を受けることができるので費用を抑えることができる。
- ・ディスカッションやグループワーク等を通じて、他大学や他国・地域の学生と交流することができる。プログラムによっては、現地学生や地元住民との交流も含まれる。
- ・ライブ授業だけでなく、オンデマンドによるレッスンが充実している。
- ・オンライン上のコミュニケーション力やITスキルを鍛えることができる。

■オンラインプログラム参加の目的（参加者アンケートより）

- ・語学力の向上
- ・語学学習に対するモチベーションの向上
- ・現地の文化や社会を知ることによって視野を広げたい
- ・長期留学に行くための事前準備

■単位認定

2023年6月開催予定のプログラム説明会でお知らせします。

■参加に係る留意点

- ・時差：プログラムの開始時間は必ずしも日本時間の日中にあたるものばかりではありません。授業が行われる時間を事前に確認の上、参加を決める必要があります。
- ・通信機器・環境・通信データ量
使用されるオンラインツールはZoom、Microsoft Teamsなどプログラムによって異なります。マイクやカメラのほか、安定した通信環境を整えるとともに、授業で利用するアプリなども最新のバージョンにアップデートしておきましょう。

■各プログラム説明会 2023年6月頃開催予定

詳細が決まり次第、PorTa II 掲示板 [留学支援・国際交流] でお知らせします。

以下は3月1日時点の情報です。プログラムが追加または中止されたり日程や内容及び費用が変更となる場合があります。また応募方法などはプログラム説明会にて案内します。

※日程および時間は日本時間で表記しています。

研修言語	ドイツ語	英語
国・地域名	ドイツ	カナダ
研修先大学	ハレ=ヴィッテンベルク大学	レジャイナ大学
プログラム名	27th International Summer Academy	Go No Further Than Home to Learn English & Experience Canadian Culture
クラスのレベル	初級（A1）～上級（C1）	初級～中上級
日程 （プログラム日数） 授業時間/ 授業時間数	2023年8月7日～8月30日（18日間） ①15：00～18：15もしくは②21：00～24：15 67.5時間（4,050分）	2023年8月13日～9月1日（18日間） 68.5時間（4,110分）
授業内容	4技能の総合的なレッスン・ドイツ事情・ドイツ人学生との交流会・プレゼンテーション	総合的な英語力アップのための集中講座：語学のみならず、さまざまなトピックを通してカナダの文化を学ぶ。観光地を巡るバーチャルツアーも含む（ライブ授業 38.5時間／オンデマンド授業 30時間）
費用	590ユーロ（約84,000円）	695カナダドル（約68,000円）

※参考 1ユーロ≒142円、1カナダドル≒98円（2023年1月時点）

協定校提供 短期オンラインプログラム参加体験記

英語研修

レジャイナ大学（カナダ）

英語学科 O. M.

レジャイナ大学のオンライン留学プログラムに参加しようと思ったのは、長期休暇中に英語力を鍛えたい、何か一つのことを頑張りたいという思いがあったからです。元々長期休暇には海外に留学したいと思っていましたが、コロナで渡航ができなかったため、大学の案内を見てオンライン留学の参加を決めました。

本プログラムの良かった点は3つあります。1つ目は授業が午前中という点です。時差の関係で昼前に授業が終わるので長期休暇でも規則正しい生活ができます。午後は基本的に自由に過ごせるので充実した一日が送れました。2つ目は多くのアクティビティが含まれていたことです。毎週レジャイナ大学周辺の博物館や農場ヘリアルタイムのオンラインツアーなどのイベントがありました。ツアーガイドの方と会話をしながらなので、家にいながらもカナダに留学しているような気分になりとても楽しかったです。3つ目はレジャイナ大学学生との交流機会です。Zoomのブレイクアウトルームでレジャイナ大学に留学中の学生と（私は中国人学生と）1対1で話しました。お互い母語は英語ではないので相手の英語の訛りに苦戦しながらも、文化の違いやコロナ禍の状況などたくさん話すことができ、少しですが会話力が鍛えられた気がします（笑）。

3週間毎日英語に触れる環境に身を置くことで、英語コミュニケーション能力に自信が付き、コロナ禍でもとても充実した長期休暇になりました！

★プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。

短期認定留学

本学の指定する旅行会社の主催・運営による短期認定留学に参加した場合、所定の手続きと申請に基づき、短期認定留学により修得した単位を、一定の基準に基づいて本学で修得すべき授業科目の単位として認定することができます。プログラムへの参加を希望する人は、次の手続きを行ってください。なお、短期認定留学の申込にあたっては、プログラムに参加する学期は、在学していることが必要です。

1. 短期認定留学プログラム説明会への出席

詳細はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

夏季プログラム：2023年4月19日（水） / 春季プログラム：2023年10月11日（水）（予定）

2. 短期認定留学研修先の決定

「2023年度短期認定留学プログラム一覧」から研修先を選択してください。各プログラムに対する質問はエスティーエートラベルが応じます。また、各コースのパンフレットは、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にも掲載します。

※参加プログラムによっては、一部日程が定期試験の追試験と重なる場合があります。万一、追試験受験対象となる事態が生じて、特別措置は一切講じられません。プログラム選定の際は、各自で十分に留意してください。

3. 研修の申込

■国際交流センターに「短期認定留学参加申込書」「誓約書」を以下の期日までに提出してください。

夏季プログラム：2023年6月9日（金）15：30 / 春季プログラム：2023年12月1日（金）15：30

「短期認定留学参加申込書」「誓約書」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期留学参加申込書類 > 短期認定留学からダウンロードしてください。

■プログラムの申込については、1.の短期認定留学プログラム説明会にて説明します。

4. 危機管理セミナーに出席

詳細は、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

以下の日程で参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

夏季：2023年7月5日（水）または7月7日（金）（予定）

春季：2024年1月9日（火）または1月11日（木）（予定）

5. 海外旅行保険等に加入・被保険者証受取

短期認定留学参加者は全員、本学が指定する海外旅行保険に加入していただきます。

申込方法や金額等は危機管理セミナーでご案内します。

6. 短期認定留学の単位認定申請手続き

「短期認定留学単位認定申請書」を研修先大学等発行の修了証、成績表、「短期認定留学参加者アンケート」とともに以下の期日までに国際交流センターに提出してください。締切日以降の単位認定申請はできません。

夏季プログラム：2023年9月29日（金）15：30 / 春季プログラム：2024年4月5日（金）15：30

「短期認定留学単位認定申請書」「短期認定留学参加者アンケート」は、PorTaⅡ ダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 短期認定留学単位認定申請書類からダウンロードしてください。



2023年度短期認定留学プログラム一覧

以下は2023年2月現在の情報のため、最新のプログラム日程や費用は説明会で確認してください。

* プログラム中止または内容や日程、費用が一部変更となる場合があります。

変更が生じた場合は、PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にてお知らせします。

夏 季

研修先大学 (国・地域名)	シトラスカレッジ (アメリカ) (運営: FLS INTERNATIONAL)
研修都市	ロサンゼルス近郊 (グレンドール)
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	最大15名
宿泊形態	ホームステイ
研修期間 (予定)	2023年8月13日~9月10日 2023年8月20日~9月17日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	800,000円~850,000円

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	マンツーマン: 1名、グループ: 4~10名
宿泊形態	大学寮
研修期間 (予定)	2023年8月20日~9月16日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	500,000円~550,000円

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
クラスレベル	初級~上級 ※コースにより中級以上
クラス人数	最大12名
宿泊形態	ホームステイ
研修期間 (予定)	2023年8月19日~9月17日
費用 (予定) (燃油サーチャージを含む)	668,000円

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営: CCEL Christchurch)
研修都市	クライストチャーチ
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	最大14名
宿泊形態	ホームステイ
研修期間 (予定)	2023年8月5日~9月3日
費用 (予定) (燃油サーチャージを含む)	638,000円

春 季

研修先大学 (国・地域名)	シトラスカレッジ (アメリカ) (運営: FLS INTERNATIONAL)
研修都市	ロサンゼルス近郊 (グレンドール)
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	最大15名
宿泊形態	ホームステイ
研修期間 (予定)	2024年2月11日~3月10日 2024年2月18日~3月17日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	800,000円~850,000円

研修先大学 (国・地域名)	エンデランカレッジ (フィリピン)
研修都市	マニラ
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	マンツーマン: 1名、グループ: 4~10名
宿泊形態	大学寮
研修期間 (予定)	2024年2月11日~3月9日 2024年2月18日~3月16日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	500,000円~550,000円

研修先大学 (国・地域名)	LSIボーツマス (英国)
研修都市	ボーツマス
クラスレベル	初級~上級 ※コースにより中級以上
クラス人数	最大12名
宿泊形態	ホームステイ
研修期間 (予定)	2024年2月18日~3月17日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	648,000円~688,000円

研修先大学 (国・地域名)	カンタベリー大学 (ニュージーランド) (運営: CCEL Christchurch)
研修都市	クライストチャーチ
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	最大14名
宿泊形態	ホームステイ
研修期間 (予定)	2024年2月17日~3月17日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	618,000円~658,000円

研修先大学 (国・地域名)	F+Uランゲージアカデミーハイデルベルク (ドイツ)
研修都市	ハイデルベルク
クラスレベル	初級~上級
クラス人数	最大15名
宿泊形態	レジデンス
研修期間 (予定)	2024年2月11日~3月10日
費用 (予定) (燃油サーチャージを除く)	648,000円~688,000円



英国

イーストサセックスカレッジ

2019年度 春季プログラム参加

国際環境経済学科 R. S.

イギリスで過ごした1ヶ月間は、私にとって毎日新しい発見ばかりでした。ネイティブの先生の授業、ホストファミリーとの会話、週末のロンドン観光といった全ての経験がこれまでにない刺激であり、自分の視野を大きく広げてくれました。

このように感じる事ができた理由は、1ヶ月間楽しいことだけでなく、壁にぶつかることも多かったからだと思います。初日から1週間は授業のスピードに慣れず、先生が話していることで理解できない部分があったり、ホストファミリーに思っていることを上手く伝えられなかったりと、もどかしい思いをしました。また、休日に行ったカフェで店員さんの英語が聞き取れず、悔しいと思ったこともありました。しかし、こういった経験がもっと英語を上達させたいというモチベーションにつながり、他国の留学生と話す場面で自然と英語が出てきた時やホストマザーや先生に「良くなったね!」と褒めてもらった時など、上達を実感できた時は本当に嬉しかったです。

イーストサセックスカレッジでの授業は、レベル分けのクラスで少人数制のものが多く、常にペアやチームでディスカッションしながら進めていく形式だったので、1コマ90分の授業が本当に楽しくあっという間だったのが強く印象に残っています。また、先生は授業以外の場面でも手厚く相談に乗ってくれたり、おすすめの場所を教えてくれるなど、留学生と先生の距離が近く、毎日安心して学校に通うことができました。また、カレッジがあるルイスという所は小さな町で、景色や街並みがきれいで歩いているだけでわくわくしました。色々な場所への観光にも行きやすいので、「留学はしたいけどどこに行くか決まっていない」方にとってもおすすめしたい場所です!

1ヶ月の間に小さな壁はいくつもありませんでしたが、それ以上に得られたことが多く、充実した時間となりました。異国の地に勇気を出して行ったことが、留学後の考え方や行動の変化にもつながっています。これから留学へ行く方にもたくさんのご感想を感じて、楽しんでほしいです。



フィリピン

セブ医科大学 (CDU) 付設ESLセンター

2019年度 春季プログラム参加

経営学科 M. Y.

私はフィリピンのセブ医科大学 (CDU) 付設ESLセンターで約1ヶ月の英語研修に参加しました。CDUでは1ヶ月間の寮生活でしたが、獨協大学から参加した男子学生は私一人だったので、寮では違う大学から参加した学生2人と同室になりました。

授業は50分授業が一日8コマ、月曜日から金曜日まで週5日行われました。朝の8時から始まり17時まで授業だったので、夜と土日が自由な時間でした。授業は先生と学生の1対1で行われ、また現地の人と話す機会もたくさんあったので、授業で英語を学ぶことに加えて実際の場面で会話する力も身についたと思います。外に出ればもちろん日本語が通じない環境なので、英語で全てやり取りすることで、聞く力、話す力、コミュニケーション力などを伸ばすことができたと感じています。正直たった1ヶ月の間で英語が上達するのか不安ではありましたが、日本で英語を学ぶよりも断然成果があったと感じています。

自由時間にはタクシーやバスを利用して大きなショッピングモールや海に行くことが多かったですが、シュノーケリングやジンベエザメウォッチング、滝を見に行ったり山に登ったりとさまざまなアクティビティに参加したことが一番印象に残っています。日本にはないフィリピンならではの景色や料理、文化に触れることができ、私の人生において貴重な体験ができました。また、ともにツアーに参加した留学生とも繋がり、人脈も広がりました。

私にとって初めての海外でしたが、フィリピンの方たちはとても親切で明るく、CDU周辺は治安もよく、物価も日本の半分ほどだったので、特に困ることもなく1ヶ月無事に過ごすことができました。フィリピンは初めてでも暮らしやすい国だと思うので、ぜひ研修に参加してみてください。



Q 1. 短期協定校留学と短期認定留学の違いは何ですか？

A 1. 主な違いは本学教職員の同行有無と実施校の違いです（詳細はP.14参照）。短期協定校留学はプログラム開始時から約10日間は本学教職員が同行しますが、認定留学は日本出発時から帰国まで参加者の個人行動となります。また協定校留学は本学協定校での実施に限られますが、認定留学ではさまざまな国・地域の教育機関によるプログラムを選択することができます。ただし、どちらのプログラムにおいても予め決められた留学期間を短縮・延長することはできません。

Q 2. 参加にあたり、語学力や成績の条件、選考はありますか？

A 2. 短期協定校留学：募集人数を超過しない限り、原則的には選考はありません。
短期認定留学：ありません。ただしプログラム定員を超過した場合には、参加できないことがあります。

Q 3. 留学中はどこに滞在しますか？

A 3. 滞在先は学生寮、ホームステイ等があります。協定校留学ではプログラムごとに指定されますが、認定留学では滞在先を選択できるプログラムもあります。滞在先により食事、シャワー、洗濯等のルールが異なります。初日に各自しっかり確認しておきましょう。

Q 4. 留学中、勉強以外にできることはありますか？

A 4. プログラムにより、エクスカージョン等が組み込まれている場合と、オプションで選択可能な場合があります。現地の文化を体験するよい機会となりますので参加を検討してみてください。ただし、車やバイク運転、パラグライダー、スカイダイビングなど危険を伴う活動は禁止されており、これらの活動に伴うケガや事故は保険適用対象外となります。

Q 5. 現地での生活費用はいくら必要ですか？

A 5. 留学先やプログラムに含まれる食事の回数等によっても金額は大きく異なります。過去の参加者のアンケートを国際交流センター内で公開していますので参考にしてください。また渡航時に多額の現金を持っていくのは危険です。クレジットカード、国際キャッシュカード、VISAデビットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポートなど、複数の手段を用意しましょう。

Q 6. 初めての海外です。渡航前に知っておくべきことはありますか？

A 6. 各研修のオリエンテーションおよび危機管理セミナーで基本的事項を説明しますので必ず出席しましょう。事前に外務省海外安全情報無料配信サービス「たびレジ」に登録し、外務省の海外安全ホームページに掲載されているパンフレット『海外安全虎の巻』（PDFファイル）にも目を通しておきましょう。現地では、「ここは日本ではない！」という意識を常に持ちながら行動することが大切です。

Q 7. 留学中に病気やケガをするなど、困った時は誰に相談できますか？

A 7. 全ての参加者は、大学が指定する海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入が義務づけられています。加入時に渡される連絡カードに記載されている「海外危機管理サポートデスク」に電話（LINE無料通話にも対応）をすれば、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて、24時間365日、日本語で相談することができます。

Q 8. 留学先にはどんな通信手段を持って行けばよいですか？

A 8. 日本で普段使用している携帯電話、スマートフォンを海外でそのまま利用すると、国際ローミングサービスを利用することになり、高額な費用がかかります。海外で通話をしたい場合や無料Wi-Fiスポット以外でもインターネットを利用したい場合には、海外で使用可能なポケットWi-FiやSIMカード等を手配しておくことをおすすめします。

短期留学により修得した単位の認定について

1. 履修登録

短期協定校留学参加申込書または短期認定留学参加申込書を提出し、参加が認められた学生は、その申込書の提出をもって履修登録の手続完了とみなされます。この登録は履修登録上限には含まれません。

2. 成績評価、単位認定および振替・換算について

短期協定校留学の場合は同行教員、短期認定留学の場合は原則として所属学部・学科の教務委員が、帰国後研修先が発行した修了証と成績表をもとに評価します。

合格と評価された場合は、短期留学に参加した翌学期の単位として各研修で4単位を認定し、翌学期の成績通知表に研修参加校名とともに評価欄に「P」と記載し、通知します。

振替・換算される科目は学部・学科により異なるので、以下の学科別の単位認定方針を各自熟読し、不明点は事前に教務課各学部係で確認してください。

また、認定単位数や振替・換算科目等の単位認定方針はプログラムにより変更となる場合があるので、参加申込時に必ず確認してください。

なお、卒業予定時期に関わらず、8学期生が研修に参加した場合、単位認定の対象となりません。

3. 単位の認定上限

認定できる単位数は通算8単位までです。



ドイツ語学科

ドイツ語研修	短期協定校留学および短期認定留学は、選択科目4単位〔換算科目（【留学先名】短期留学）〕（1単位×4科目）として認定されます。
英語研修	卒業要件外科目「英語」（1単位×4科目）として認定されます。ただし研修に参加した年度に、全学共通授業科目の英語部門の科目を履修登録し、かつ単位を修得できなかった場合は、「English」として1単位×4科目の4単位を上限に認定されます。



英語学科

英語研修	研修に参加した翌学期に「Communication Skills」（2単位×2科目）の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（4単位）として認定されます。
ドイツ語研修 フランス語研修 スペイン語研修 中国語研修 韓国語研修	全学共通授業科目の選択科目（外国語部門（英語以外））「【言語名】」（4単位×1科目）として認定されます。 ただし、第二外国語としては認定されません。



フランス語学科

フランス語研修	2013年度～2019年度入学者は、卒業要件外科目「フランス語」（1単位×4科目）として認定されます。2020年度以降入学者は、学科選択科目「換算科目（短期留学）」（1単位×4科目）として認定されます。
英語研修	卒業要件外科目「英語」（1単位×4科目）として認定されます。ただし研修に参加した年度に、全学共通授業科目の英語科目を履修登録し、かつ単位を修得できなかった場合は、「English」として1単位×4科目の4単位を上限に認定されます。



交流文化学科

【英語】

英語研修	研修に参加した翌学期に「Communication Skills」(2単位×2科目)の単位として認定されます。ただし、単位認定時に「Communication Skills」の履修条件を満たしていない場合は、学科選択科目「換算科目(短期留学)」(4単位)として認定されます。
------	---

【第二外国語(英語プラス1言語)】

研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、下記科目を第二外国語(英語プラス1言語)として過去に履修登録し、単位認定時に未修得の場合は、以下に記載している順番に1単位×4科目まで振り替えます。

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
ドイツ語研修	1	ドイツ語(Ia総合1)	6	ドイツ語(Ib総合3)	11	ドイツ語(IIb総合2)
	2	ドイツ語(Ia総合2)	7	ドイツ語(IIa総合1)	12	ドイツ語(IIb総合3)
	3	ドイツ語(Ia総合3)	8	ドイツ語(IIa総合2)	13	ドイツ語(IIIa応用)
	4	ドイツ語(Ib総合1)	9	ドイツ語(IIa総合3)	14	ドイツ語(IIIb応用)
	5	ドイツ語(Ib総合2)	10	ドイツ語(IIb総合1)		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
フランス語研修	1	フランス語(Ia総合1)	6	フランス語(Ib応用)	11	フランス語(IIb総合2)
	2	フランス語(Ia総合2)	7	フランス語(IIa総合1)	12	フランス語(IIb応用)
	3	フランス語(Ia応用)	8	フランス語(IIa総合2)	13	フランス語(IIIa応用)
	4	フランス語(Ib総合1)	9	フランス語(IIa応用)	14	フランス語(IIIb応用)
	5	フランス語(Ib総合2)	10	フランス語(IIb総合1)		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
スペイン語研修	1	スペイン語(Ia総合1)	6	スペイン語(Ib会話)	11	スペイン語(IIb会話2)
	2	スペイン語(Ia総合2)	7	スペイン語(IIa会話1)	12	スペイン語(IIb総合)
	3	スペイン語(Ia会話)	8	スペイン語(IIa会話2)	13	スペイン語(IIIa応用)
	4	スペイン語(Ib総合1)	9	スペイン語(IIa総合)	14	スペイン語(IIIb応用)
	5	スペイン語(Ib総合2)	10	スペイン語(IIb会話1)		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
中国語研修	1	中国語(Ia講読・文法)	6	中国語(Ib会話2)	11	中国語(IIb会話1)
	2	中国語(Ia会話1)	7	中国語(IIa講読・文法)	12	中国語(IIb会話2)
	3	中国語(Ia会話2)	8	中国語(IIa会話1)	13	中国語(IIIa応用)
	4	中国語(Ib講読・文法)	9	中国語(IIa会話2)	14	中国語(IIIb応用)
	5	中国語(Ib会話1)	10	中国語(IIb講読・文法)		

	順番	科目名	順番	科目名	順番	科目名
韓国語研修	1	韓国語(Ia総合1)	6	韓国語(Ib応用)	11	韓国語(IIb総合2)
	2	韓国語(Ia総合2)	7	韓国語(IIa総合1)	12	韓国語(IIb応用)
	3	韓国語(Ia応用)	8	韓国語(IIa総合2)	13	韓国語(IIIa応用)
	4	韓国語(Ib総合1)	9	韓国語(IIa応用)	14	韓国語(IIIb応用)
	5	韓国語(Ib総合2)	10	韓国語(IIb総合1)		



国際教養学部

研修に参加した翌学期に卒業要件外科目として認定されます。ただし、次の条件を満たす場合は、記載している表の科目を1単位×4科目まで（ただし、英語上級、英語演習Ⅱ、上級英語演習Ⅰ、上級英語演習Ⅱ、スペイン語上級、中国語上級、韓国語上級は2単位×2科目まで）卒業要件単位として振り替えることができます。

- 学生が科目の振り替えを希望し、当該科目を未修得であること。
- 振り替えることができる科目は、研修に参加した学期までに当該学生が履修可能な科目に限る。
- 5学期に研修に参加した場合、英語上級は1科目2単位まで振り替え可とする。

英語研修	1から7学期で研修に参加	履修可能学期	科目名
		1	英語Ⅰ (IE)、(W)、(S)
		2	英語Ⅱ (IE)、(W)、(S)
		3	英語Ⅲ (IE)、(W)
		4	英語Ⅳ (IE)、(W)
		5	英語上級 英語演習Ⅱ 上級英語演習Ⅰ 上級英語演習Ⅱ

スペイン語研修	1から7学期で研修に参加	履修可能学期	科目名
		1	スペイン語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	スペイン語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	スペイン語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	スペイン語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5	スペイン語上級

中国語研修	1から7学期で研修に参加	履修可能学期	科目名
		1	中国語Ⅰ (総合1)、(総合2)、(入門)、(会話)
		2	中国語Ⅱ (総合1)、(総合2)、(基礎表現)、(会話)
		3	中国語Ⅲ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		4	中国語Ⅳ (総合)、(講読)、(会話1)、(会話2)
		5	中国語上級

韓国語研修	1から7学期で研修に参加	履修可能学期	科目名
		1	韓国語Ⅰ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		2	韓国語Ⅱ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		3	韓国語Ⅲ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		4	韓国語Ⅳ (文法・読解1)、(文法・読解2)、 (コミュニケーション1)、(コミュニケーション2)
		5	韓国語上級



経済学部

研修に参加した翌学期に、卒業要件単位として以下の通り単位認定します。

研修区分	単位認定対象科目	単位認定数
英語研修	English（全カリ選択必修科目）	1単位×4科目まで
ドイツ語研修	ドイツ語	1単位×4科目まで
フランス語研修	フランス語	1単位×4科目まで
スペイン語研修	スペイン語	1単位×4科目まで
中国語研修	中国語	1単位×4科目まで
韓国語研修	韓国語	1単位×4科目まで



法学部

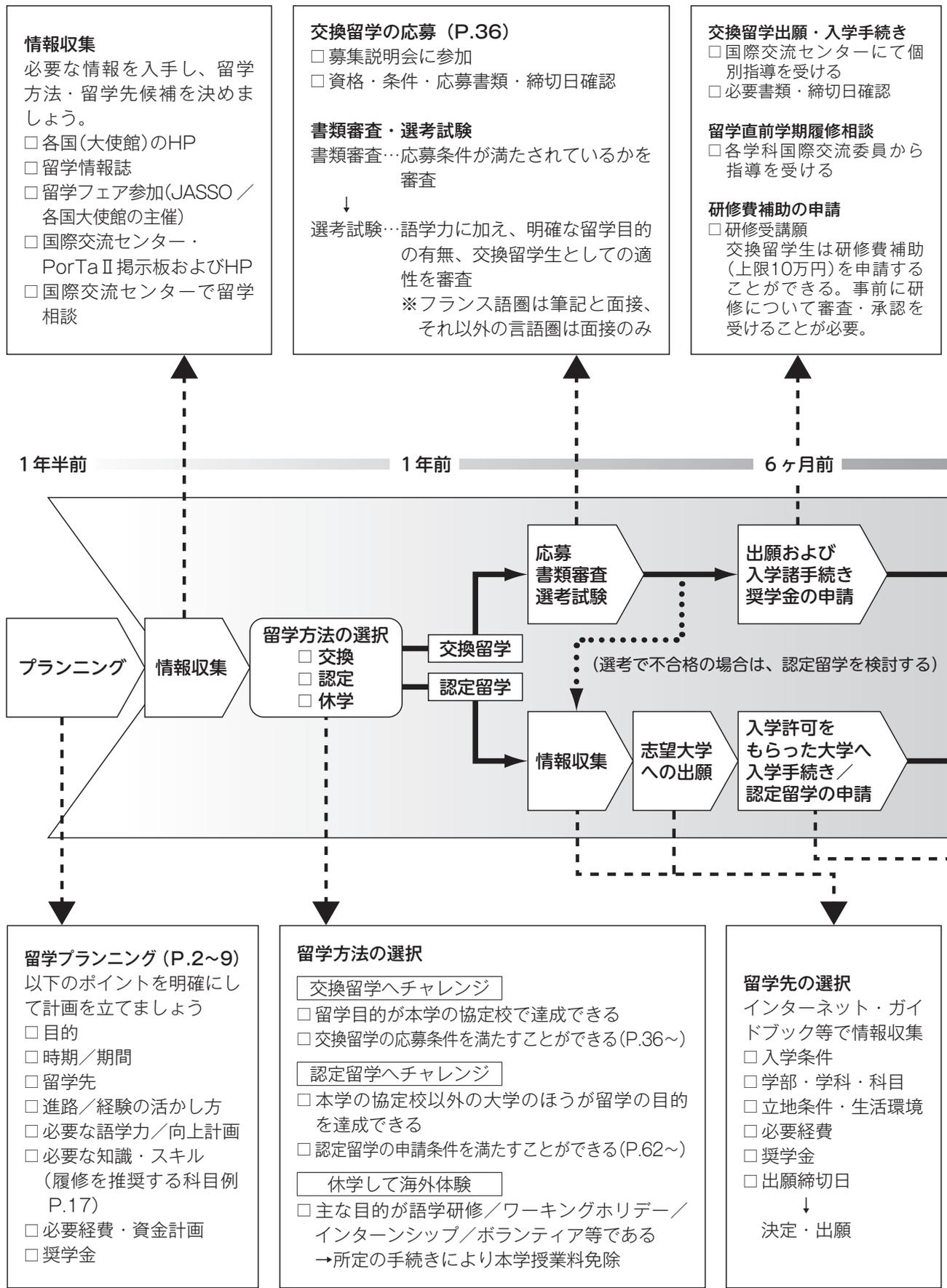
研修に参加した翌学期に、以下の通り単位認定します。ただし、翌学期に振り替える科目がない場合は、卒業要件外科目として認定します。

なお、英語研修修了者であっても、認定単位が成績通知表に記載されていない時点（認定確定前）において必修の英語科目の履修登録を削除することはできません。

研修区分	振り替え対象科目	単位認定数
ドイツ語研修	ドイツ語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
英語研修	Englishの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
フランス語研修	フランス語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
スペイン語研修	スペイン語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
中国語研修	中国語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで
韓国語研修	韓国語ⅠまたはⅡの単位として振り替え	一研修につき4単位まで

長期留学 プランニングから留学出発まで

留学制度
長期留学



留学情報サイト

- 日本学生支援機構(JASSO) 海外留学支援サイト
<https://ryugaku.jasso.go.jp/>
- ドイツ大学検索サイト
<https://www.hochschulkompass.de>
- スイス大学検索サイト
<https://www.studyprogrammes.ch/>
- アメリカ大学検索サイト
<https://educationusa.jp>
- <https://www.petersons.com/>
- <https://bigfuture.collegeboard.org/college-search>
- Study UK : Discover You
<https://study-uk.britishcouncil.org/>
- カナダ留学情報
<https://www.educanada.ca/start-commencez/index.aspx?lang=jpn>
- オーストラリア留学情報
<https://www.studyinaustralia.gov.au/japanese>
- ニュージーランド留学情報
<https://www.studywithnewzealand.govt.nz/ja>
- フランス政府留学局(Campus France) 日本支局サイト
<https://www.japon.campusfrance.org/ja>
- スペイン大学検索サイト
<http://studyinspain.info/en/estudios/universidades/>
- メキシコ大学検索サイト
<http://www.anuies.mx/anuies/instituciones-de-educacion-superior/>
- Study in China
<https://www.campuschina.org>
- Study in Taiwan
<https://www.studyintaiwan.org>
- Study in Korea
<http://www.studyinkorea.go.kr/en/main.do>

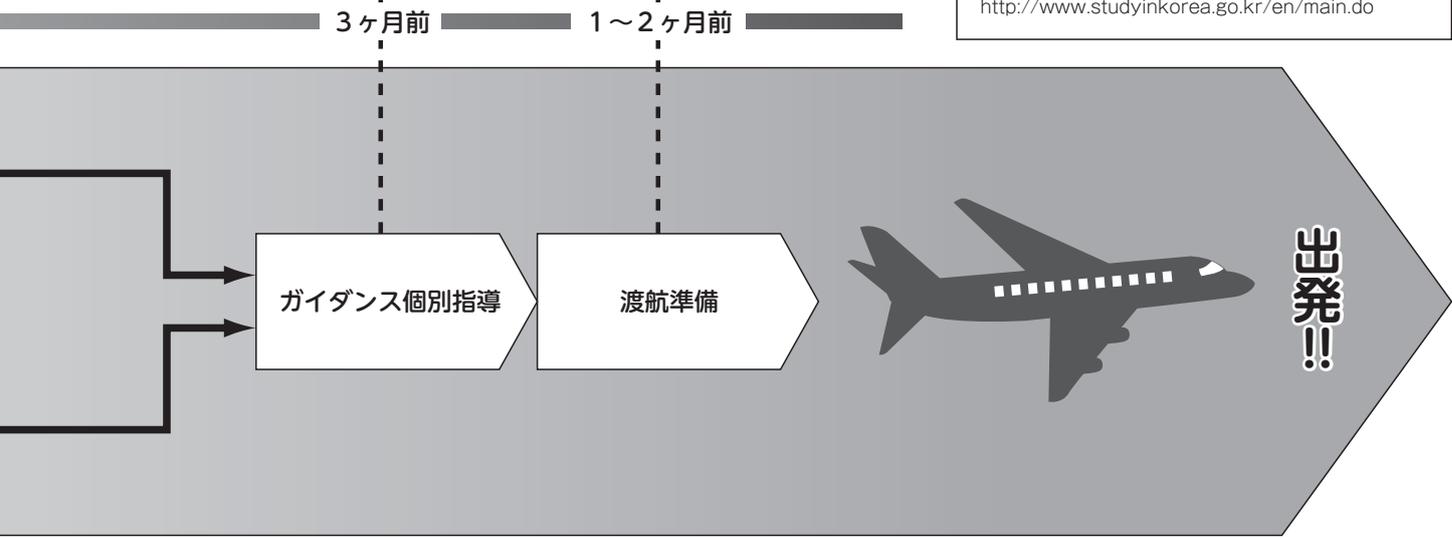
留学前に行うこと (P.72~)

- 個別ガイダンス(国際交流センター)
- 単位振替事前相談(教務課) (P.80~)
- 長期留学予定者のための就職ガイダンス(キャリアセンター)
- 危機管理セミナー(7月・1月) (出席必須)
- 奨学金各種手続き(学生課)
- 事前研修 (P.73)

渡航手続き (P.74~)

- パスポート・ビザ取得
- 渡航先の入国・行動制限措置、安全情報等の確認と準備
- 航空券予約
- 健康診断・歯科検診
- 本学指定海外旅行保険等への加入
- 出発日程をPorTa II に入力

奨学金 (P.68)



留学先大学への入学手続き

- 留学先大学から受入許可通知受領
- 入学手続き(ドイツの場合は現地で行う)
※留学しない大学へは留学辞退の手続きも忘れずに行う

本学での手続き

- 認定留学の申請(P.64)

申請期限
 秋学期からの留学… 6月末日
 春学期からの留学… 1月末日

- 獨協大学国際奨学金(認定留学生)申請(P.68)
- 留学先大学の保険資料提出(留学先大学から指定保険への加入が義務づけられた場合のみ)

本ガイド 参考ページ

主な語学試験	P.7~9
2023年度国際交流センター・年間スケジュール	P.10~11
これまでの認定留学先大学一覧	P.66~67
海外留学奨学金	P.68~71
海外渡航時に役立つサイト	P.111
留学と就職	P.112

交換留学の資格・条件

交換留学については応募時に、次の1. から5. の条件を満たしていることが必要です。

また、交換留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入学生は1学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は3学期以上）。加えて、交換留学の場合は応募時から留学直前の学期まで、本学に在学していることが求められます。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

応募時に次に掲げる各学科所定の単位を修得していること。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期		16単位以上*注	16単位以上（「フランス語Ⅰ」6単位を含む）*注	16単位以上	16単位以上（外国語科目6単位を含む）	16単位以上（英語科目3単位を含む）			16単位以上		
3学期	32単位以上（必修ドイツ語科目10単位を含む）	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上（必修ドイツ語科目15単位を含む）	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上（必修ドイツ語科目20単位を含む）	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上（必修ドイツ語科目20単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上（必修ドイツ語科目20単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上（必修ドイツ語科目20単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

*注：留学開始時期は4学期目以降とする。

2. 評定平均値（GPA）

応募までの獨協大学における修得科目の評定平均値（GPA）が**2.30以上**であること（小数点以下第3位を四捨五入*）。

評定平均値の計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績評価は必ず全部保管しておきましょう（成績証明書にはFと×の科目は記載されないの、注意してください）。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。

※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$GPA = \frac{(AAの単位数 \times 4 + Aの単位数 \times 3 + Bの単位数 \times 2 + Cの単位数 \times 1)}{\text{総登録単位数（累計）}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。

〈例〉マンチェスター大学3.0以上、ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校2.75以上等

3. 語学力

P.40~43の「2024年度交換留学募集要項」の「語学力の条件」欄を参照のこと。

4. 留学先の条件

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であること、かつ所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
言語圏	制限なし	制限なし	フランス語圏	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語 または 英語	英語	フランス語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	2学期間を原則とするが、1学期間も可										

5. 交換留学の期間

交換留学の期間は、1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われ、以下の期間となります。

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
 - 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）
- ※協定校の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する時期からの留学ができない場合もあるので注意してください。例えば、アメリカや英国の大学の多くは、春学期が1月に開始となり、本学の秋学期日程と重なるため、春学期から留学を開始することはできません。
- ※なお、留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。



1学期間の留学に関する注意事項

- ① 1学期間のみ受け入れを認めている協定校に限り応募が可能です。募集対象校は説明会等でお知らせします。
- ② 同じ大学に対し、2学期間と1学期間の両方で応募することはできません。ただし、大学が異なれば、併願は可能です。
- ③ 各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先します。

「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」とは

本学の交換留学プログラムは「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」の育成を目的としています。この交換留学プログラムが目指す「しなやかさ」とは、異質な文化や考え方を寛容に柔軟に受けとめる力であり、他者を助ける用意がある心の広さです。そして「逞しさ」とは、さまざまなバックグラウンドを持つ人々と物怖じせずにつきあうことができ、自らの主張を積極的に発信し、行動に変えることのできる力です。海外での学習を通して、この両方の力をバランスよく併せもつとともに、豊かな語学力、コミュニケーション能力、主体性、異文化理解の精神を備えた人材の育成を目指します。留学先では日本文化を発信し、日本の理解者を世界中に増やす“アンバサダー”として、留学終了後は他の学生を牽引するリーダーとして本学のグローバル化推進の原動力となる等、国内外問わずグローバルな環境下で自ら行動し活躍できる人材へと成長することを期待しています。

事前・事後研修について

交換留学生は、プログラム趣旨や留学目的を再確認し、充実した留学生活を送るための準備としての事前研修、留学後には留学で得た学びと経験を振り返るとともに、さらにそれぞれが次のステップに向け学修計画をブラッシュアップするための事後研修参加を必須とします（本ガイドP.73およびP.78参照）。



交換留学の応募方法

長期留学の資格・条件および交換留学募集要項を熟読し、自分が条件を満たしているかを確認した上で、以下「提出書類」の①～④（留学先により⑤⑥も）を揃え、応募締切日までに国際交流センターに提出してください。

応募締切日の目安はP.10の2023年度国際交流センター・年間スケジュールを参照してください。日程の詳細はPorTaⅡ掲示板［留学支援・国際交流］および国際交流センター掲示板で確認してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 交換留学応募書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績証明書または成績通知表（最新のもの、コピー可、成績通知表はA4サイズにコピーすること）
- ④必要とされる語学力証明書（有効期限内のものに限る、コピー可）
- ⑤志望動機書（所定様式。ドイツ語圏、英語圏、韓国への応募者のみ）
- ⑥留学先での履修計画（所定様式。英語圏、韓国への応募者のみ）

長期留学志願書には、演習指導教員（またはクラス担任）の署名・捺印、面談時の所見が必要です。必ず事前に指導教員に相談をし、承認を得てから応募してください。また教務課の確認印をもらった上で提出してください。

なお留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。



交換留学応募における注意点

- ①選考は、第一次の書類審査（フランス語圏は筆記試験も実施、P.56～57参照）と第二次の面接選考により行います。面接選考は主に（1）語学能力、（2）コミュニケーション能力、（3）研究計画・専門知識、（4）留学への意欲、の観点から評価します。
- ②各協定校の応募者数が募集定員を上回った場合、選考において2学期間の留学志願者を優先します。
- ③提出書類である語学力の証明書を応募締切日までに提出できるよう、語学試験の証明書が手元に届く日を確認の上、受験日を設定しましょう。
- ④交換協定校によっては、別途GPA要件を定めている場合があるので、各協定校の紹介ページで確認してください。また、GPA要件は応募書類提出時に満たしていなければなりません。
- ⑤応募書類提出後に、留学先・留学期間・留学開始時期の変更はできません。
- ⑥面接結果発表後に留学を辞退した場合は、原則として同じ派遣年度*の募集には応募できません。
- ⑦面接で不合格となった場合は、同じ派遣学期の二次・三次募集には応募できません。ただし、面接において交換留学生としての資質は有しているが派遣定員超過を理由に不合格となった場合は、再応募することができます。

※上記⑥で示す「派遣年度」とは、留学先の学事カレンダーに基づく学年度です。派遣始期が2通りある大学においても、「派遣年度」はあくまでも留学先大学の「学年度」を意味します（獨協大学の学年度は4月～翌年3月）。不明な場合は、国際交流センターで確認してください。

MEMO



A series of horizontal lines for writing, spaced evenly down the page.

2024年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集 人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
1	ドイツ	イエーナ大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
2	ドイツ	デュースブルク＝エッセン大学	○	○	4	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
3	ドイツ	デュッセルドルフ大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
4	ドイツ	ハイデルベルク大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
5	ドイツ	ハレ＝ヴィッテンベルク大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
6	ドイツ	ヒルデスハイム大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
7	ドイツ	ブレーメン専門単科大学	○	○	2*	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
8	ドイツ	ベルリン自由大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
9	ドイツ	マールブルク大学	○	○	4	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
10	ドイツ	ミュンスター大学	○	○	2	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
11	ドイツ	リューネブルク大学	○	○	2	要	免除	2024年 3月～ 2024年 9月～
12	ドイツ	レーゲンスブルク大学	○	○	3*	要	免除	2024年 4月～ 2024年10月～
13	スイス	バーゼル大学	○	○	2	要	免除	2024年 2月～ 2024年 9月～
14	アメリカ	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校	○	×	3	免除	要	2024年 8月～
15	アメリカ	カリフォルニア大学 デービス校	○	○	10	要	免除	2024年 4月～ 2024年 9月～
16	アメリカ	カリフォルニア州立大学 モントレー・ベイ校	○	×	—	免除	要	募集予定なし
17	アメリカ	サンフランシスコ州立大学	○	×	2	要	免除	2024年 8月～
18	英国	エセックス大学	○	×	7	要	免除	2024年10月～
19	英国	カーディフ大学	○	×	2	免除	要	2024年 9月～
20	英国	ニューカッスル大学	○	×	3	免除	要	2024年 9月～
21	英国	マンチェスター大学	○	×	3	免除	要	2024年 9月～
22	カナダ	フレーザーバレー大学	○	×	—	免除	要	募集予定なし
23	カナダ	ヨーク大学	○	×	2	免除	要	2024年 9月～

	語学力の条件	成績条件 (GPA)	選考方法		備考
			第一次	第二次	
	Goethe-Zertifikat B1、 TestDaF level 3以上または ドイツ語検定準1級以上	2.30	書類審査	ドイツ語と日本語による面接	
					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 5.5または TOEFL iBT® 71以上
					※教授言語が英語によるプログラムへの応募が可能 語学力の条件： IELTS 6.0または TOEFL iBT® 80以上
	IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 78以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	①IELTS 6.5以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 80以上 ②IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 530/iBT® 71以上	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	語学力条件の①は学部科目履修の場合、②は指定されたコミュニケーション関連の科目(1科目)履修が必須。
	IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 61以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.0以上	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	1学期間のみの留学は不可
	IELTS 6.0以上	3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上 (6.0も可)	3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上	3.00	書類審査	英語と日本語による面接	
	IELTS 6.5以上または TOEFL iBT® 83以上	2.30	書類審査	英語と日本語による面接	

注1) 各語学力の条件は、原則として交換留学内定後の派遣先大学への出願締切日より遡って2年以内に取得したものを有効とします。
 注2) 英語圏は協定校により上記以外にもさまざまな出願要件があるので、各協定校のページを確認した後、最新の要件を応募前に必ず国際交流センターで確認してください(例: IELTSのバンドスコア要件、学部・学科により異なる語学力条件、GPA要件、履修可能なコースなど)。

2024年度交換留学募集要項

No	国・地域名	大学・機関名	出発		募集 人数	授業料		派遣開始時期
			秋	春		派遣先	本学	
24	ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校	○	×	2	免除	要	2024年 9月～
25	オーストラリア	ウーロンゴン大学	×	○	3	要	免除	2024年 2月～
26	オーストラリア	サザンクロス大学	×	○	—	免除	要	募集予定なし
27	オーストラリア	サンシャインコースト大学	×	○	—	免除	要	募集予定なし
28	インドネシア	ビヌス大学	○	○	5	免除	要	2024年 2月～ 2024年 9月～
29	トルコ	ボアジチ大学	○	×	—	免除	要	募集予定未定
30	チェコ	マサリク大学	○	○	2	免除	要	2024年 9月～
31	フランス	西部カトリック大学	○	○	4 2	要	免除	2024年 2月～ 2024年10月～
32	フランス	パリ第1大学 パンテオン-ソルボンヌ	○	×	2	免除	要	2024年 9月～
33	フランス	フランシュ・コンテ大学	○	×	4	免除*	要	2024年 9月～
34	フランス	リュミエール・リヨン第2大学	○	×	4	要	免除	2024年 9月～
35	スペイン	バルセロナ自治大学	○	×	2	免除	要	2024年 9月～
36	スペイン	マラガ大学	○	×	2	免除	要	2024年 9月～
37	メキシコ	グアダラハラ大学	○	×	3	免除	要	2024年 8月～
38	中国	華東師範大学	○	○	1	免除*	要	2024年 2月～ 2024年 9月～
39	中国	大連理工大學	○	○	5	免除	要	2024年 2月～ 2024年 9月～
40	中国	北京師範大学	○	○	2	免除	要	2024年 2月～ 2024年 9月～
41	台湾	国立台南大学	○	○	3	免除	要	2024年 2月～ 2024年 9月～
42	台湾	東呉大学	○	○	2	免除	要	2024年 2月～ 2024年 9月～
43	韓国	仁荷（イナ）大学	○	○	3	免除	要	2024年 2月～ 2024年 8月～
44	韓国	慶熙（キョンヒ）大学	○	○	3	免除	要	2024年 2月～ 2024年 8月～
45	韓国	建国（コングク）大学	○	○	3	免除	要	2024年 2月～ 2024年 8月～
46	韓国	誠信（ソンシン）女子大学	○	○	2	免除	要	2024年 2月～ 2024年 8月～
47	韓国	大邱（テグ）カトリック大学	○	○	3	免除	要	2024年 2月～ 2024年 8月～

語学力の条件	成績条件 (GPA)	選考方法		備考
		第一次	第二次	
IELTS 6.5以上または TOEFL ITP® 500/iBT® 82以上	2.70	書類審査	英語と日本語による面接	
IELTS 6.0以上または TOEFL iBT® 79以上	2.70	書類審査	英語と日本語による面接	
IELTS 6.0以上または TOEFL ITP® 550/iBT® 79以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
IELTS 5.5以上または TOEFL iBT® 70以上	2.75	書類審査	英語と日本語による面接	
実用フランス語技能検定2級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査	フランス語と日本語による面接	
【語学留学】 実用フランス語技能検定2級程度 【学部留学】 DELFまたはTCF B2以上	2.30	書類審査 筆記試験 (注)	フランス語と日本語による面接	※語学留学の場合、語学 学校の授業料の納付が必要 (注) 語学留学のみ筆記試 験を実施
実用フランス語技能検定2級程度	2.30	書類審査 筆記試験	フランス語と日本語による面接	
DELE B1程度	2.30	書類審査	スペイン語と日本語による面接	
【語学留学】 中国語検定3級以上または HSK 3級以上 【学部留学】 HSK 5級180点以上	【語学留学】 2.30 【学部留学】 3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	※語学留学の場合、コー スによっては授業料の自 己負担あり
【語学留学】 中国語検定3級以上または HSK 3級以上 【学部留学】 HSK 5級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
HSK 5級180点以上	3.00	書類審査	中国語と日本語による面接	
中国語検定3級以上または HSK 3級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
中国語検定3級以上または HSK 3級以上	2.30	書類審査	中国語と日本語による面接	
「ハングル」能力検定試験3級ま たは韓国語能力試験 (TOPIK) 3 級程度*	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	※一部学科はTOPIK 3級 以上
「ハングル」能力検定試験3級以 上または韓国語能力試験 (TOPIK) 3級以上	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
「ハングル」能力検定試験3級ま たは韓国語能力試験 (TOPIK) 3 級程度	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	
	2.30	書類審査	韓国語と日本語による面接	

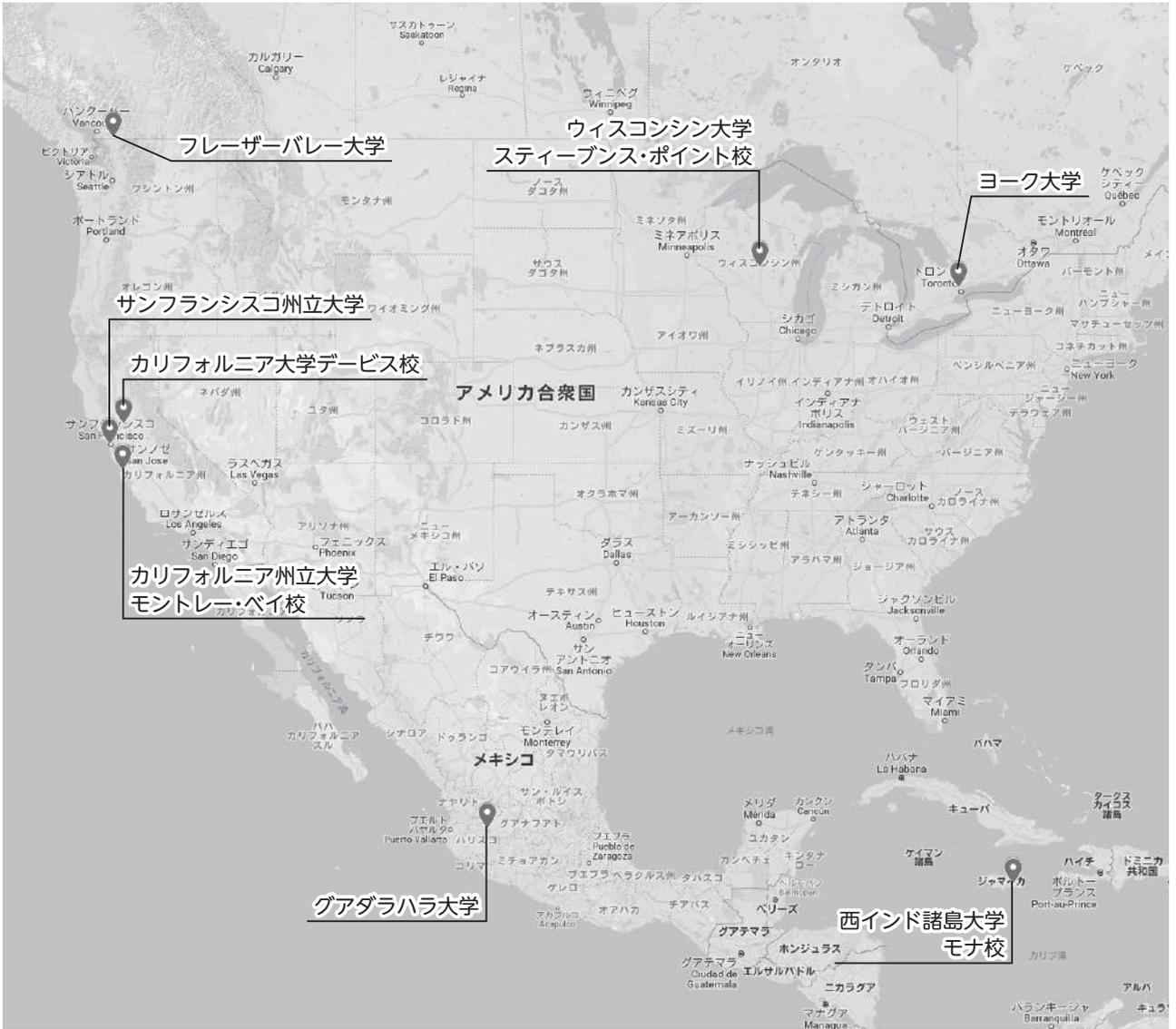
注1) 各語学力の条件は、原則として交換留学内定後の派遣先大学への出願締切日より遡って2年以内に取得したものを有効とします。
 注2) 英語圏は協定校により上記以外にもさまざまな出願要件があるので、各協定校のページを確認した後、最新の要件を応募前に必ず国際交
 流センターで確認してください(例: IELTSのバンドスコア要件、学部・学科により異なる語学力条件、GPA要件、履修可能なコース
 など)。

協定校情報

記載されている情報は2023年3月時点のものです。協定校の方針により応募条件等が変更となる場合があります、詳細かつ最新の情報は各大学のHPまたは国際交流センターで確認してください。

- ①協定校の追加、応募資格の変更、募集停止等の情報は、言語圏別の交換留学説明会でお知らせします。
- ②派遣期間は各大学の学年暦により、多少前後する場合があります。
- ③協定校により、派遣留学生の留学先における所属や履修可能な科目または条件が定められていることがあります。留学先の条件等については、各大学のHPまたは国際交流センターで確認してください。
- ④授業料のほかに留学経費として登録費などの支払いが必要な大学もあります。
- ⑤留学先国・地域の情勢により、募集の中止、または内定後であっても派遣の中止を行う場合があります。





ドイツ	大学名	イエーナ大学			
	URL	https://www.uni-jena.de/			
	大学設立年	1558年	協定締結年		2022年
	所在地	Fürstengraben 1, 07743 Jena, Deutschland			
大学紹介	1558年設立のフリードリヒ・シラー大学イエーナ（通称：イエーナ大学）は、ドイツのほぼ中央に位置するテューリンゲン州最大の総合大学である。国内有数の研究所と連携し学際的なプロジェクトに積極的に参加し、50ヶ国以上200を超える大学と協定を結び、共同研究ならびに学生交換を盛んに行っている。哲学部、社会学部など10の学部を有し、学生数は18,000名。そのうち留学生は約2,600名。				
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上 ※備考を参照のこと				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	540ユーロ (学期納付金)	約77,000円		
	寮費	3,300～4,600ユーロ	約468,000～653,000円		
	食費	2,000～3,000ユーロ	約284,000～426,000円		
	教材費	600ユーロ	約85,000円		
	その他	3,500ユーロ	約497,000円		
	合計	9,940～12,240ユーロ	約1,411,000～1,738,000円		
備考	「外国語としてのドイツ語学科」に所属。語学力がB2以上であれば、学部科目の履修が可能。B2に満たない場合は交換留学生生コース（ドイツ語・ドイツ事情）に参加。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	デュースブルク＝エッセン大学			
	URL	https://www.uni-due.de			
	大学設立年	1972年	協定締結年		1984年
	所在地	Campus Duisburg : Forsthausweg 2, 47057 Duisburg, Deutschland Campus Essen : Universitätsstr. 2, 45141 Essen, Deutschland			
大学紹介	ドイツ中西部のノルトライン＝ヴェストファーレン州の中心部、ライン川沿いのデュースブルク市と隣町エッセン市に2つのキャンパスをもつ総合大学。1991年には東アジア研究科が設立され、日本研究も充実している。2003年にデュースブルク大学とエッセン大学が統合し、デュースブルク＝エッセン大学に改められた。11学部を擁し、総学生数は約43,000名。留学生は130ヶ国から約6,600名におよぶ。隣国オランダ国境にも近く、ケルン、ボンへは鉄道で1時間圏内で交通の便も良い。				
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	670ユーロ (学期納付金)	約95,000円		
	寮費	3,600～5,400ユーロ	約511,000～767,000円		
	食費	2,000～3,000ユーロ	約284,000～426,000円		
	教材費	100～500ユーロ	約14,000～71,000円		
	その他	2,300～2,500ユーロ	約327,000～355,000円		
	合計	8,670～12,070ユーロ	約1,231,000～1,714,000円		
備考	東アジア研究所に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	デュッセルドルフ大学			
	URL	https://www.uni-duesseldorf.de/			
	大学設立年	1965年	協定締結年		2019年
	所在地	Universitätsstraße 1, 40225 Düsseldorf, Deutschland			
大学紹介	ドイツ西部に位置するノルトライン＝ヴェストファーレン州で2番目に大きい州都デュッセルドルフにある総合大学。1907年に設立された医学校を起源とする大学であり、1965年の大学設立時に医学部、数学・自然科学部、芸術人文学部の3学部が設置された。1988年に、デュッセルドルフ出身の詩人ハインリヒ・ハイネにちなんで正式名称をハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフに変更し、新たに2つの学部を増設した。ハイネの理念に基づき、大学は文化的多元主義、人種および宗教の寛容さ、並びに男女同権を強く支持している。現在、5学部に約38,000人の学生が学ぶ。芸術人文学部の現代日本研究所は、この種の研究所としては、ドイツ最大規模を誇る（学生数：約600名）。				
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	630ユーロ (学期納付金)	約90,000円		
	寮費	3,600～4,800ユーロ	約511,000～681,000円		
	食費	2,500～3,000ユーロ	約355,000～426,000円		
	教材費	600ユーロ	約85,000円		
	その他	1,700～2,200ユーロ	約241,000～312,000円		
	合計	9,030～11,230ユーロ	約1,282,000～1,594,000円		
備考	芸術人文学部内の学科に所属。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	ハイデルベルク大学			
	URL	Ruprecht-Karls-Universität Heidelberg https://www.uni-heidelberg.de			
	大学設立年	1386年	協定締結年		2011年
	所在地	Grabengasse 1, 69117 Heidelberg, Deutschland			
大学紹介	バーデン＝ヴュルテンベルク州ハイデルベルクにあるドイツ最古の大学。1386年プファルツ選帝侯ループレヒト1世により設立。宗教改革を支持するオットー・ハインリヒ選帝侯の大学改革により、名声を確立。現在530名の教授陣を含め、学者・教員数は約6,000名にもおよび。歴史上名高い哲学のフリードリヒ・ヘーゲル、社会学のマックス・ウェーバーなど著名な学者が数多く教鞭をとった。ハイデルベルクはドイツでも屈指の観光地であるため、人口約16万人の小都市でありながら、休日も店がオープンインフラ設備が充実するなど、学生が生活するのに非常に便利な街だといえる。				
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	350ユーロ(学期納付金)	約50,000円		
	寮費	3,360～6,000ユーロ	約477,000～852,000円		
	食費	1,800～2,500ユーロ	約255,000～355,000円		
	教材費	350～500ユーロ	約50,000～71,000円		
	その他	1,480～1,580ユーロ	約210,000～224,000円		
	合計	7,340～10,930ユーロ	約1,042,000～1,552,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	ハレ＝ヴィッテンベルク大学			
	URL	Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg https://www.uni-halle.de			
	大学設立年	1817年	協定締結年		2011年
	所在地	Universitätsplatz 10, 06108 Halle (Saale), Deutschland			
大学紹介	ザクセン＝アンハルト州のハレとヴィッテンベルクにある総合大学。16世紀にヴィッテンベルク大学が、17世紀にハレ大学が設立され、19世紀に両大学が統合し、ますますの発展を遂げた。宗教改革の立役者であるマルティン・ルターが神学部で教鞭をとっていたことにちなみ、1933年にはその名をマルティン・ルター大学とした(本学での通称はハレ＝ヴィッテンベルク大学とする)。9学部からなり、学生数は約21,000名にのぼる。ハレは岩塩の採掘地として有名であり、中世にはハンザ同盟の加盟都市として繁栄した。ヴィッテンベルクにあるルター記念建造物群は、ユネスコの世界遺産に登録されている。				
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	510ユーロ(学期納付金)	約73,000円		
	寮費	3,600ユーロ	約511,000円		
	食費	2,000～3,000ユーロ	約284,000～426,000円		
	教材費	1,000ユーロ	約142,000円		
	その他	3,200ユーロ	約454,000円		
	合計	10,310～11,310ユーロ	約1,464,000～1,606,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	ヒルデスハイム大学			
	URL	Stiftung Universität Hildesheim https://www.uni-hildesheim.de/			
	大学設立年	1989年	協定締結年		2017年
	所在地	Universitätsplatz 1, 31141 Hildesheim, Deutschland			
大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州に5つある財団立の大学・専門単科大学の一つ。1855年に設立されたカトリック教会の神学大学を起源とする大学で、1946年に教育専門単科大学となった。その後、1978年には教育学以外の新たな学部が創設され、1989年にヒルデスハイム大学が設立された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する根拠法令が定められたため、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。ヒルデスハイム大学は、理論のみにとどまらず、実践も学べることで知られており、文化政策研究所を所有している大学はドイツではヒルデスハイム大学のみである。4学部30以上の学科に約8,600人の学生が学ぶ。				
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	600ユーロ(学期納付金)	約85,000円		
	寮費	3,600ユーロ	約511,000円		
	食費	2,500～3,500ユーロ	約355,000～497,000円		
	教材費	300～1,000ユーロ	約43,000～142,000円		
	その他	2,340～2,700ユーロ	約332,000～383,000円		
	合計	9,340～11,400ユーロ	約1,326,000～1,618,000円		
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ドイツ	大学名	ブレーメン専門単科大学 Hochschule Bremen		
	URL	https://www.hs-bremen.de		
	大学設立年	1982年	協定締結年 2006年	
	所在地	Neustadtswall 30, 28199 Bremen, Deutschland		
大学紹介	ドイツ北西部のハンザ都市ブレーメンにあり学生数約8,700名、5学部67以上の学科から成り、専門単科大学ではドイツ最大の規模を誇る。職業経験豊富な教授陣により実践分野に重点がおかれ、職業に直結する授業には定評がある。また、交換留学生は1学期に2つの語学コースを無料で受講できる。EU、経済、ツーリズムなどに興味のある学生に最適。			
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上 ※備考を参照のこと			
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	690ユーロ (学期納付金)		約98,000円
	寮費	3,600～4,200ユーロ		約511,000～596,000円
	食費	2,500～3,500ユーロ		約355,000～497,000円
	教材費	100～500ユーロ		約14,000～71,000円
	その他	2,700ユーロ		約383,000円
	合計	9,590～11,590ユーロ		約1,361,000～1,645,000円
備考	国際経営学科に所属。学部科目の履修にはB2を強く推奨。 教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能(語学条件はP.41参照)。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。			

ドイツ	大学名	ベルリン自由大学 Freie Universität Berlin		
	URL	https://www.fu-berlin.de/		
	大学設立年	1948年	協定締結年 2013年	
	所在地	Kaiserswerther Str. 16-18, 14195 Berlin, Deutschland		
大学紹介	ドイツの首都ベルリンにある4つの大学のうち最も規模の大きい総合大学。社会科学、人文科学を中心に自然科学分野の学科も提供し、学際的な研究を特色としている。第二次世界大戦後、分割されたベルリンには東ベルリンのフンボルト大学があるのみであった。ソ連占領当局による統制への反発から、学生および教授陣により西ベルリンにおける大学設立が求められたことを受け、アメリカの支援によって1948年にベルリン自由大学が設立された。「政治的な影響から自由な学問」を目指した背景がベルリン自由大学の名前の由来となっている。12の専門分野に約33,000人の学生が学ぶ。			
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上			
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	630ユーロ (学期納付金)		約90,000円
	寮費	4,200～10,800ユーロ		約596,000～1,533,000円
	食費	3,000～4,200ユーロ		約426,000～596,000円
	教材費	100～1,000ユーロ		約14,000～142,000円
	その他	2,700ユーロ		約383,000円
	合計	10,630～19,330ユーロ		約1,509,000～2,744,000円
備考	歴史・人文科学学部内の学科に所属。ただし、他学部の科目履修も可能。 留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。			

ドイツ	大学名	マールブルク大学 Philippis-Universität Marburg		
	URL	https://www.uni-marburg.de		
	大学設立年	1527年	協定締結年 2005年	
	所在地	Biegenstr. 10, 35037 Marburg, Deutschland		
大学紹介	フィリップス大学(通称：マールブルク大学)は、ドイツのほぼ中央に位置するヘッセン州の中世のたたずまいを色濃く残す美しい大学街マールブルクにある。大学の歴史は古く、1527年に世界で初めてのプロテスタント系大学として創設された。経済学者のレプケ、作曲家のシュッツ、文学・言語学の分野ではグリム兄弟やドゥーデンなど、各方面で歴史的な著名人を数多く輩出している。現在は16学部、学生総数約22,500名の総合大学。ドイツで初めての障がい者用の寮など、設備面でも充実している。			
派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月			
成績条件	GPA 2.30以上			
語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上			
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	750ユーロ (学期納付金)		約107,000円
	寮費	3,000～4,200ユーロ		約426,000～596,000円
	食費	2,100ユーロ		約298,000円
	教材費	100～500ユーロ		約14,000～71,000円
	その他	2,700ユーロ		約383,000円
	合計	8,650～10,250ユーロ		約1,228,000～1,455,000円
備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。			

ドイツ	大学名	ミュンスター大学		
	U R L	https://www.uni-muenster.de		
ツ	大学設立年	1780年	協定締結年	2004年
	所在地	Schloßplatz 2, 48149 Münster, Deutschland		
	大学紹介	ミュンスター大学のあるミュンスター市は、ノルトライン＝ヴェストファーレン州北部に位置し、デュースブルクとブレーメンのほぼ中間にある歴史のある古都。大学は1588年に設立されたイエズス会神学校を起源とし、古い歴史を持つ。1980年には教育大学を、2004年には音楽単科大学を統合し、現在は15学部120以上の学科を持ち、教育・研究界をリードしている。学生総数は約45,000名、留学生は約3,500名。		
	派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上		
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	640ユーロ (学期納付金)	約91,000円
		寮費	4,200～5,400ユーロ	約596,000～767,000円
		食費	2,500～3,000ユーロ	約355,000～426,000円
		教材費	500～1,000ユーロ	約71,000～142,000円
		その他	2,700ユーロ	約383,000円
		合計	10,540～12,740ユーロ	約1,496,000～1,809,000円
	備考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。		

ドイツ	大学名	リュネブルク大学		
	U R L	https://www.leuphana.de/		
ツ	大学設立年	1946年	協定締結年	2019年
	所在地	Universitätsallee 1, 21335 Lüneburg, Deutschland		
	大学紹介	北ドイツのニーダーザクセン州の中心都市リュネブルクにある財団立の大学。1946年にニーダーザクセン州に8つある教員養成大学の一つとして設立され、1989年に大学として認定された。ニーダーザクセン州では2001年に財団立の大学を設立する法令が定められ、2003年に認可され財団立大学に組織変更された。2007年に現名称ロイファナ大学リュネブルク(通称：リュネブルク大学)に変更され、それに伴い新しいカリキュラムが導入された。学士課程Leuphana College、修士課程・博士課程Leuphana Graduate School、社会人コース Leuphana Professional Schoolという名称の3つの課程に分かれている。現在、4学部に約9,800人の学生が学ぶ。		
	派遣期間	夏学期：2024年3月～2024年8月 冬学期：2024年9月～2025年2月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上		
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	650ユーロ (学期納付金)	約92,000円
		寮費	3,600～5,400ユーロ	約511,000～767,000円
		食費	2,000～2,300ユーロ	約284,000～326,000円
		教材費	360～1,000ユーロ	約51,000～142,000円
		その他	2,700～3,600ユーロ	約383,000～511,000円
		合計	9,310～12,950ユーロ	約1,322,000～1,838,000円
	備考	人文科学部以外の授業については、履修制限あり。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。		

ドイツ	大学名	レーゲンスブルク大学		
	U R L	https://www.uni-regensburg.de/		
ツ	大学設立年	1962年	協定締結年	2018年
	所在地	Universitätsstraße 31, 93053 Regensburg, Deutschland		
	大学紹介	ドイツ南部バイエルン州でユネスコの世界遺産に登録されているレーゲンスブルクにある、1962年設立の総合大学。11の学部(言語学・文学・人文科学部、法学部、経済学部など)と40以上の学科を有し、学生数は約20,000名にのぼる。外国人向けのドイツ語コースが充実しており、留学生はそれぞれのレベルに合ったクラスで学部の授業と並行して無料で学ぶことができる。また、学期中に行われる語学コースでは通常の授業に加えて発音、文法、英語の授業も選択できる。		
	派遣期間	夏学期：2024年4月～2024年9月 冬学期：2024年10月～2025年3月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上 ※備考を参照のこと		
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	340ユーロ (学期納付金)	約48,000円
		寮費	3,400～4,320ユーロ	約483,000～613,000円
		食費	5,100ユーロ	約724,000円
		教材費	250～400ユーロ	約36,000～57,000円
		その他	2,700ユーロ	約383,000円
		合計	11,790～12,860ユーロ	約1,674,000～1,826,000円
	備考	語学力がB2に満たない場合は学期開始前のドイツ語集中コースに参加、それでも達しない場合はDaF科目のみ履修可能。教授言語が英語によるプログラムへの交換留学も可能(語学条件はP.41参照)。留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。		

ス イ ス	大 学 名	バーゼル大学			
	U R L	https://www.unibas.ch			
	大学設立年	1460年	協定締結年		2008年
	所 在 地	Petersplatz 1, CH-4001 Basel, Schweiz			
大 学 紹 介	バーゼル大学のあるバーゼル市は、スイス北西部、ドイツ語圏のバーゼル＝シュタット準州の州都。フランスとドイツとスイスの3国の国境が接する地点に位置し、市街地はライン川をまたぐ形で広がっている。7学部、70以上の研究機関を持つ総合大学で、学生数は約13,000名、教員数は約380名。留学生数は約3,000名におよぶ。スイス最古の大学で、哲学者のニーチェやヤスパーズなどが教鞭をとり、心理学者のユングなどが学んだ。560年を超える歴史と伝統に培われた教育・研究分野での業績をベースに、未来志向の取り組みを続け、近年はとりわけ生命科学分野や文化部門に重点が置かれている。				
派 遣 期 間	春学期：2024年2月～2024年8月 秋学期：2024年9月～2025年1月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	Goethe-Zertifikat B1以上、TestDaF level 3以上またはドイツ語検定準1級以上				
留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	1700スイスフラン (学期納付金)	約241,000円		
	寮 費	7,200～8,400スイスフラン	約1,022,000～1,193,000円		
	食 費	4,000～5,000スイスフラン	約568,000～710,000円		
	教材費	1,000～2,000スイスフラン	約142,000～284,000円		
	その他	8,000スイスフラン	約1,136,000円		
	合 計	21,900～25,100スイスフラン	約3,109,000～3,564,000円		
備 考	留学費用の「その他」には、現地健康保険料含。				

ア メ リ カ	大 学 名	ウィスコンシン大学 スティーブンス・ポイント校			
	U R L	https://www.uwsp.edu/			
	大学設立年	1894年	協定締結年		2002年
	所 在 地	1108 Fremont Street, 103 SSC, Stevens Point, WI 54481-3109, USA			
大 学 紹 介	アメリカ中西部ウィスコンシン州の自然豊かな地域にある、学生数約7,500名の州立大学。100以上の学士号プログラムを提供している。特に、生物学、コミュニケーション、美術、歴史、教育などの学科の評価が高い。学部のクラスサイズの平均は27名、学生：教師比は19：1で、教師陣と学生との距離が近い。課外活動も充実していて、学生の満足度が高い。科目選択の自由度が高く、留学生でも希望する科目を履修できることが多い。交換留学生はキャンパスにある学生寮に入居する。				
派 遣 期 間	秋学期：2024年8月～2024年12月 春学期：2025年1月～2025年5月				
成 績 条 件	GPA 2.75以上				
語 学 力 条 件	TOEFL iBT® 78以上 (17 in speaking & writing) またはIELTS 6.0以上 (minimum band score of 5.5)				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	免除	—		
	寮 費	約4,550～6,100米ドル	約592,000～793,000円		
	食 費	約3,650米ドル	約475,000円		
	教材費	約250米ドル	約32,000円		
	その他	約3,550米ドル	約461,000円		
	合 計	約12,000～13,550米ドル	約1,560,000～1,761,000円		
備 考					

ア メ リ カ	大 学 名	カリフォルニア大学 デービス校			
	U R L	https://globalstudy.ucdavis.edu			
	大学設立年	1905年	協定締結年		2012年
	所 在 地	1333 Research Park Drive, Davis, CA 95616 USA			
大 学 紹 介	カリフォルニア州北部デービス市 (サンフランシスコから車で約1時間半) にある州立大学。文系・理系ともに多彩な専攻科目と研究施設を備える大規模な総合大学で、2022-2023 U.S. News and World Reportの全米総合大学評価では38位にランキングされている。特に、農業、獣医学、生体科学、バイオテクノロジー、環境科学の分野では、全米トップの高い評価を得ている。学生数は約39,000名。留学生比率は約17%。交換留学生は、アジア、ヨーロッパ、アメリカ大陸諸国13ヶ国の45の協定校から派遣される留学生を対象とするGlobal Study Programに入学する。学期はQuarter制で、秋学期、春学期どちらも入学可能だが、1年間の留学の場合は必ず連続する3 quarters以上の留学となる。英語力に応じて履修可能な科目が異なる。				
派 遣 期 間	春学期：2024年4月～2024年6月 夏学期：2024年6月～2024年9月 秋学期：2024年9月～2024年12月 冬学期：2025年1月～2025年3月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	1) For full-time (12-13) academic units (履修科目は全て大学学部科目) TOEFL iBT® 80、ITP® 550以上またはIELTS 6.5以上 2) For 12-13 academic units including one fixed communication-related course (指定されたコミュニケーション関連の科目要履修) TOEFL iBT® 71、ITP® 530以上またはIELTS 6.0以上				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	24,250米ドル (3 quarters)	約3,153,000円		
	寮 費	9,000～12,600米ドル (留学生用の寮はないためアパートかホームステイ)	約1,170,000～1,638,000円		
	食 費	4,050米ドル	約526,000円		
	教材費	600～1,500米ドル	約78,000～195,000円		
	その他	約2,000米ドル	約260,000円		
	合 計	約39,900～44,400米ドル	約5,187,000～5,772,000円		
備 考	語学力条件の1)、2) ともに交換留学として認められる。				

アメリカ	大学名	カリフォルニア州立大学 モントレー・ベイ校			
	URL	California State University Monterey Bay			
	URL	https://csumb.edu/			
	大学設立年	1994年	協定締結年		2012年
	所在地	100 Campus Center, Seaside, CA 93955-8001 USA			
	大学紹介	カリフォルニア州立大学機構 (California State University: 1857年にカリフォルニア州立機関として設立) 23校のうちの一つ。サンフランシスコの南、モントレー・ベイを臨むシーサイド市にある。日本語&日本文化専攻を含む24の学士号修得プログラム、7つの修士号修得プログラムを提供している。学生数は約7,500名、このうち約52%の学生がキャンパス内の宿舎に暮らす。ヒスパニック系の学生も多い(約45%)。留学生比率は約3%。			
	派遣期間	秋学期: 2024年8月~2024年12月 春学期: 2025年1月~2025年5月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 500以上またはIELTS 6.0以上			
	留学費用概算(約9ヶ月)	授業料	免除		
寮費		約7,200~14,200米ドル		約936,000~1,846,000円	
食費		約2,800~4,600米ドル		約364,000~598,000円	
教材費		約500米ドル		約65,000円	
その他		約3,300米ドル		約429,000円	
合計		約13,800~22,600米ドル		約1,794,000~2,938,000円	
備考	2024年度の交換留学募集予定なし。認定留学を希望する場合は国際交流センターにお問い合わせください(授業料11,400米ドル(2023年度)を留学先に納入)。				

アメリカ	大学名	サンフランシスコ州立大学			
	URL	San Francisco State University			
	URL	https://www.sfsu.edu/			
	大学設立年	1899年	協定締結年		2013年
	所在地	1600 Holloway Ave, San Francisco, CA 94132, USA			
	大学紹介	カリフォルニア州立大学機構 (California State University: 23大学で構成) に属する総合大学 (1899年に教員養成大学として創立)。学生数は約26,000名、アジア系の学生が約30%、ヒスパニック系が約40%を占める。留学生比率は約4%。6つの学部(経営学、人文学、教育学、民族学、健康・社会科学部、理工学部)を擁し、学士号レベルで110以上、修士号レベルでも90の専攻分野を有する。民族学部は全米でもユニークな学部として有名で、アフリカ系、アジア系、メキシコ系のアメリカ文化や人種問題の研究に力を注いでいる。外国語学科には日本語専攻プログラムがある。			
	派遣期間	秋学期: 2024年8月~2024年12月 春学期: 2025年1月~2025年5月			
	成績条件	GPA 2.75以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 61、ITP® 500以上またはIELTS 6.0以上			
	留学費用概算(約9ヶ月)	授業料	約17,000米ドル		
寮費・食費		約19,000米ドル		約2,470,000円	
教材費		約1,100米ドル		約143,000円	
その他		約6,100米ドル		約793,000円	
合計		約43,200米ドル		約5,616,000円	
備考		経営学部(観光学を含む)や教育学部の科目履修は不可。			

英国	大学名	エセックス大学			
	URL	University of Essex			
	URL	https://www.essex.ac.uk/			
	大学設立年	1962年	協定締結年		1983年
	所在地	Wivenhoe Park, Colchester, CO4 3SQ UK			
	大学紹介	学生数約15,000名以上の公立大学。そのうち留学生は約5,000名。近年、政治学と社会学では英国でトップレベルにランク付けされている。加えて、国際関係、経済学、ビジネス、TESOLを含む言語学なども評価が高い分野。キャンパスはイングランド東部のコルチェスターにあり、ロンドンから電車で約1時間の距離。広いキャンパスには、カフェなどの飲食スペースやスポーツセンター、24時間開館している図書館などの施設が充実している。アカデミックな行事(講演会等)や季節のイベント(クリスマス等)も多く、授業以外で学ぶ機会も多い。			
	派遣期間	秋学期: 2024年10月~2024年12月 春学期: 2025年1月~2025年3月 夏学期: 2025年4月~2025年6月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上(※英国ビザ発給条件)			
	留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	15,630ポンド		
寮費		約3,890~9,280ポンド		約642,000~1,531,000円	
食費		約1,250~2,090ポンド		約206,000~345,000円	
教材費		約650ポンド		約107,000円	
その他		約2,990ポンド		約493,000円	
合計		約24,410~30,640ポンド		約4,027,000~5,055,000円	
備考	1学期のみの留学は不可。必ず、夏学期を含む3学期間履修すること。				

英 国	大 学 名	カーディフ大学		
	U R L	Cardiff University https://www.cardiff.ac.uk/		
	大学設立年	1883年	協定締結年	1999年
	所 在 地	Colum Road, Cathays, Cardiff, Wales, CF10 3EJ, UK		
	大 学 紹 介	学生数30,000名以上の国立大学。うち留学生は約7,000名。近年ではジャーナリズム、カルチャー研究、英語学および経営学などが高く評価されている。キャンパスはウェールズの首都カーディフにあり、ロンドンから電車で約2時間。		
	派 遣 期 間	秋学期：2024年9月～2025年1月 春学期：2025年1月～2025年6月		
	成 績 条 件	GPA 3.00以上		
	語学力条件	IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上 (英国ビザ発給条件)		
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	免除	—
		寮 費	約5,260ポンド	約868,000円
		食 費	約1,560ポンド	約257,000円
		教材費	約390ポンド	約64,000円
		その他	約2,010ポンド	約332,000円
	合 計	約9,220ポンド	約1,521,000円	
	備 考	履修制限・条件あり。外国語学部 (MLANG) に所属して、主にその中の科目を履修する。 詳細は、国際交流センターにて確認すること。		

英 国	大 学 名	ニューカッスル大学		
	U R L	Newcastle University https://www.ncl.ac.uk/		
	大学設立年	1834年	協定締結年	2009年
	所 在 地	Newcastle upon Tyne, Tyne and Wear, NE1 7RU, UK		
	大 学 紹 介	学生数約26,000名以上の公立大学で、うち留学生は約5,000名。近年タイムズ紙の英国ランキング10位に入るなど、評価が高い。キャンパスはイングランド北部のニューカッスル・アポン・タインにあり、ロンドンから電車で約3時間の距離。交換留学生の履修はFaculty of Humanities and Social Sciencesの中の科目に限定される。徒歩圏にスーパーマーケット、ショッピングモール、映画館、アジアマーケット等が揃う便利なキャンパスで、図書館は24時間開館。		
	派 遣 期 間	秋学期：2024年9月～2025年1月 春学期：2025年1月～2025年6月		
	成 績 条 件	GPA 3.00以上		
	語学力条件	1) IELTS 6.5以上 各セクション5.5以上 (英国ビザ発給条件) 2) IELTS 6.0以上 各セクション5.5以上 (1学期目は指定された科目リストから選択し、語学指導を受ける必要がある)		
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	免除	—
		寮 費	約4,150～7,750ポンド	約685,000～1,278,000円
		食 費	約1,100～2,140ポンド	約181,000～353,000円
		教材費	約110～600ポンド	約18,000～99,000円
		その他	約2,310～4,600ポンド	約381,000～759,000円
	合 計	約7,670～15,090ポンド	約1,265,000～2,489,000円	
	備 考	履修制限・条件あり。詳細は、国際交流センターにて確認すること。 1)、2) ともに交換留学として認められる。		

英 国	大 学 名	マンチェスター大学		
	U R L	The University of Manchester https://www.manchester.ac.uk/		
	大学設立年	1824年	協定締結年	2010年
	所 在 地	Oxford Road, Manchester, M13 9PL, UK		
	大 学 紹 介	学生数約40,000名以上の公立大学。そのうち留学生は約10,000名。世界中から学生が集まるため、国際色豊か。ノーベル賞受賞者を輩出し、ビジネスからサイエンスまで幅広い分野でイギリスの教育をリードしている (開発学、国際関係学などの評価が高い)。日本語学科もあり、交友関係を広げやすい。キャンパスはイングランド北西部の都市マンチェスターに位置し、中心街からバスで5～10分。ロンドンからは電車で約3時間の距離。		
	派 遣 期 間	秋学期：2024年9月～2025年1月 春学期：2025年1月～2025年6月		
	成 績 条 件	GPA 3.00以上		
	語学力条件	IELTS 6.5以上 各セクション5.5以上 (英国ビザ発給条件)		
	留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	免除	—
		寮 費	約6,100ポンド	約1,007,000円
		食 費	約2,100ポンド	約346,000円
		教材費	約300ポンド	約49,000円
		その他	約2,600ポンド	約429,000円
	合 計	約11,100ポンド	約1,831,000円	
	備 考	<ul style="list-style-type: none"> 履修を希望する分野や科目によって英語力の要件が異なるので、自身の希望する分野の語学要件を確認すること。 正規授業に加えて、英語の補講を受けなければならない場合がある。 認定留学生には、マンチェスター大学の授業料10%が免除される“Exchange Extra” が適用される場合がある。 →協定校HP参照 		

カナダ	大学名	フレーザーバレー大学 University of the Fraser Valley			
	U R L	https://www.ufv.ca/			
	大学設立年	1974年	協定締結年		2009年
	所在地	33844 King Rd, Abbotsford, BC, Canada V2S 7M8			
	大学紹介	ブリティッシュ・コロンビア州最大の都市バンクーバーから東に1時間ほどの距離にあり、周辺は湖や川など豊かな自然環境に恵まれている。学生数約15,000名の公立大学。留学生は世界70ヶ国から約1,300名が学んでいる。15の学士号課程、30以上の専攻プログラムを提供している。			
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2024年12月 春学期：2025年1月～2025年4月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 88以上 (no sub-score below 20) またはIELTS 6.5以上 (minimum band score of 6.0)			
	留学費用概算 (約8ヶ月)	授業料	免除		—
		寮費	約6,000カナダドル		約588,000円
食費		約4,000カナダドル	約392,000円		
教材費		約1,300カナダドル	約127,000円		
その他		約4,000カナダドル	約392,000円		
合計		約15,300カナダドル	約1,499,000円		
備考	2024年度の募集予定なし。				

カナダ	大学名	ヨーク大学 York University			
	U R L	https://www.yorku.ca/index.html			
	大学設立年	1959年	協定締結年		1998年
	所在地	4700 Keele Street, Toronto, ON, Canada M3J 1P3			
	大学紹介	カナダ東部のオンタリオ州トロント郊外にある、カナダで3番目に大きな州立大学で、学生数は約55,000名。さまざまな人種・民族が共存する多文化都市トロントにふさわしく、172ヶ国、10,000名以上の留学生在籍する。11の学部と25の研究センターを擁し、時代の求める革新的かつ学際的な研究に取り組んでいる。ヨーク大学のビジネススクールは特に評価が高く、エコノミスト誌によるランキングではトップの評価を得ている。			
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2024年12月 春学期：2025年1月～2025年4月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 83以上またはIELTS 6.5以上			
	留学費用概算 (約8ヶ月)	授業料	免除		—
		寮費	約6,000～9,600カナダドル		約588,000～941,000円
食費		約3,300～5,000カナダドル	約323,000～490,000円		
教材費		約1,200～1,500カナダドル	約118,000～147,000円		
その他		約3,400カナダドル	約333,000円		
合計		約13,900～19,500カナダドル	約1,362,000～1,911,000円		
備考					

ジャマイカ	大学名	西インド諸島大学 モナ校 The University of the West Indies, Mona Campus			
	U R L	https://www.mona.uwi.edu/			
	大学設立年	1948年	協定締結年		2012年
	所在地	Mona, Kingston 7, Jamaica			
	大学紹介	カリブ海に浮かぶ西インド諸島の一つ、ジャマイカの首都キングストンにある。イギリスの旧植民地で、英語を公用語とする。4つのキャンパスを有する西インド諸島大学(学生数45,000名)は、地域のニーズに応えることを大学のミッションとし、西インド諸島の経済的、文化的ポテンシャルを引き出すための研究に注力している。キングストン国際空港から車で約20分の距離にあるモナ校(学生数約20,000名)には、人文・教育、社会科学、科学・技術、工学、スポーツ、法学、医学の7つの学部があり、200以上の専攻プログラムを提供している。			
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2024年12月 春学期：2025年1月～2025年5月			
	成績条件	GPA 2.70以上			
	語学力条件	TOEFL iBT® 82、ITP® 500以上またはIELTS 6.5以上			
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	免除		—
		寮費	約2,500米ドル		約325,000円
食費		約7,200米ドル	約936,000円		
教材費		約600米ドル	約78,000円		
その他		約370米ドル	約48,000円		
合計		約10,670米ドル	約1,387,000円		
備考					

オーストラリア	大学名	ウーロンゴン大学 University of Wollongong			
	U R L	https://www.uow.edu.au/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		1996年
	所在地	Wollongong NSW 2522 Australia			
	大学紹介	ニューサウスウェールズ州ウーロンゴンにある国立総合大学。学生数は約32,000名、うち12,000名以上が留学生。主要な世界大学ランキングでは上位2%にランクインしている。ウーロンゴンは人口約30万人の海辺にある静かな街で、シドニーからは電車で約1時間半。中心部から約5km離れた所にキャンパスがあり、海岸へも2kmほど。			
派遣期間	秋学期：2024年2月～2024年6月 春学期：2024年7月～2024年11月				
成績条件	GPA 2.70以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 79以上 (minimum of 20 in writing, 18 in reading, 17 in listening, 16 in speaking) または IELTS 6.0以上 (minimum of 6.0 in reading and writing)				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	19,728豪ドル		約1,815,000円	
	寮費	約12,300～15,000豪ドル		約1,132,000～1,380,000円	
	食費	約3,200豪ドル		約294,000円	
	教材費	約200豪ドル		約18,000円	
	その他	約3,750豪ドル		約345,000円	
	合計	約39,178～41,878豪ドル		約3,604,000～3,852,000円	
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。				

オーストラリア	大学名	サザンクロス大学 Southern Cross University			
	U R L	https://scu.edu.au/			
	大学設立年	1994年	協定締結年		2014年
	所在地	Military Road, East Lismore NSW 2480			
	大学紹介	1994年設立の比較的新しい公立大学。約16,000名が学び、うち留学生は約3,000名。メイン・キャンパスはニューサウスウェールズ州リズモア。最寄の都市ブリスベンまではバスで約3時間の距離。開講科目は、アート、教育学、社会科学、ビジネス、観光学、法学、先住民研究、環境科学など。			
派遣期間	秋学期：2024年2月～2024年6月 春学期：2024年7月～2024年10月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 61以上 (no less than 17 for writing/speaking, 11 for reading/listening) またはIELTS 6.0以上 (no band less than 5.5)				
留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	免除		—	
	寮費	約7,320～8,470豪ドル		約673,000～779,000円	
	食費	約5,390～10,780豪ドル		約496,000～992,000円	
	教材費	約600豪ドル		約55,000円	
	その他	約2,520豪ドル		約232,000円	
	合計	約15,830～22,370豪ドル		約1,456,000～2,058,000円	
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。 2024年度の募集予定なし。認定留学を希望する場合は国際交流センターにお問い合わせください。 認定留学生には、400豪ドルの授業料割引あり(1学期につき4科目履修の場合)。				

オーストラリア	大学名	サンシャインコースト大学 University of the Sunshine Coast			
	U R L	https://www.usc.edu.au/			
	大学設立年	1996年	協定締結年		2004年
	所在地	Locked Bag 4, Maroochydore DC QLD 4558 Australia			
	大学紹介	クイーンズランド州の比較的新しい公立大学。学生数約13,500名のうち、67ヶ国から2,300名の留学生が学ぶ。Business and LawとScience, Health, Education and Engineeringの2学部で8学科を持つ。キャンパスはサンシャインコースト(ブリスベンから北へ100km)にある。			
派遣期間	秋学期：2024年2月～2024年6月 春学期：2024年7月～2024年11月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	TOEFL iBT® 76以上 (minimum writing score 18) またはIELTS 6.0以上 (minimum band score of 5.5)				
留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除		—	
	寮費	約3,600～11,600豪ドル		約331,000～1,067,000円	
	食費	約4,300豪ドル		約396,000円	
	教材費	約800豪ドル		約74,000円	
	その他	約5,800豪ドル		約533,000円	
	合計	約14,500～22,500豪ドル		約1,334,000～2,070,000円	
備考	南半球は、学期の呼称(季節)が北半球と反対。 2024年度の募集予定なし。				

インドネシア	大学名	ビヌス大学				
	U R L	Bina Nusantara (BINUS) University https://binus.ac.id/				
	大学設立年	1974年	協定締結年	2019年		
	所在地	Jl. K. H. Syahdan No. 9, Kemanggisian, Palmerah Jakarta 11480 Indonesia				
	大学紹介	4つのキャンパスを持つインドネシア最大規模の私立大学。ホスピタリティや情報系の授業が充実しており、日本文学の学科もある。自動車業界、情報系の日系企業へ卒業生を輩出しており、日本企業との繋がりも強い大学。「QS University Rankings: Asia 2022」では、包括性、教育、雇用、社会的責任において5つ星評価、総合点においても5つ星を得ており、アジアの大学ランキング内でも250位以内に位置している。				
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2025年2月 春学期：2025年2月～2025年7月				
	成績条件	GPA 2.75以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 79、ITP® 550以上またはIELTS 6.0以上				
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除	-		
		寮費	約2,300～2,800米ドル	約299,000～364,000円		
食費		約3,000～5,000米ドル	約390,000～650,000円			
教材費		約200米ドル	約26,000円			
その他		約2,000米ドル	約260,000円			
合計		約7,500～10,000米ドル	約975,000～1,300,000円			
備考	教授言語は英語。					

トルコ	大学名	ボアジチ大学				
	U R L	Boğaziçi University https://www.boun.edu.tr/en-US/				
	大学設立年	1971年	協定締結年	2016年		
	所在地	34342 Bebek, Istanbul, Turkey				
	大学紹介	イスタンブールにある公立大学。学生数は約17,000名(交換留学生数は約400名)。「ボアジチ」とはトルコ語でボスポラス海峡を意味する。1863年にアメリカ人ロバート・クリストファーによりリベラルアーツ教育を目的とし設立された米国高等教育機関であるロバート・カレッジを起源とする。ロバート・カレッジは1971年にトルコ政府に譲渡され、公立のボアジチ大学として創設された。6つの学群Faculty/School(人文、経済・経営、教育、工学、応用科学、外国語)を擁し、30を超えるプログラムがそれぞれ学士、修士、博士号を提供している。日本語学習者は常時150名程度在籍している。大学ランキングは国内第2位で、入学最難関の大学としてトルコ国内から最も優秀な学生を集めている。				
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2025年1月 春学期：2025年2月～2025年6月				
	成績条件	GPA 2.50以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 79以上 (minimum of 22 in writing) またはIELTS 6.5以上 (minimum of 6.0 in writing)				
	留学費用概算 (約9ヶ月)	授業料	免除	-		
		寮費	約1,800～2,250ユーロ	約256,000～320,000円		
食費		約2,250ユーロ	約320,000円			
教材費		約150～200ユーロ	約21,000～28,000円			
その他		約900ユーロ	約127,000円			
合計		約5,100～5,600ユーロ	約724,000～795,000円			
備考	教授言語は英語。 2024年度の募集予定未定。					

チェコ	大学名	マサリク大学				
	U R L	Masaryk University https://www.uma.es				
	大学設立年	1919年	協定締結年	2017年		
	所在地	Komenskeho nam. 2, 602 00 Brno, Czech Republic				
	大学紹介	チェコ共和国第2の都市ブルノに位置する国立総合大学。教養、教育学、経済・経営学、社会科学、法学、理学、医学、薬学、情報科学、スポーツ科学の10学部を擁する。学生数は約32,000名(このうち留学生数は約7,000名)。チェコ国内の総合大学では、プラハのカレル大学に次いで高い評価を得ている。チェコの公用語はチェコ語であるが、英語を教授言語とする科目が多数あり、英語圏の交換協定校として協定を締結した。				
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2025年2月 春学期：2025年2月～2025年6月				
	成績条件	GPA 2.75以上				
	語学力条件	TOEFL iBT® 70以上またはIELTS 5.5以上				
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除	-		
		寮費	約1,900米ドル	約247,000円		
食費		約2,300～2,800米ドル	約299,000～364,000円			
教材費		約110米ドル	約14,000円			
その他		約3,000米ドル	約390,000円			
合計		約7,310～7,810米ドル	約950,000～1,015,000円			
備考	秋学期、春学期どちらからでも留学可能だが、秋学期募集を行い定員枠に空きがある場合のみ春学期募集を行う。					

フ ラ ン ス	大 学 名	西部カトリック大学			
	U R L	https://www.cidef.uco.fr			
	大学設立年	1875年	協定締結年		1997年
	所 在 地	3 Place André-Leroy, BP 10808 49008 Angers, cedex 01 FRANCE			
大 学 紹 介	フランス中西部、ロワールの城が点在し、物産も豊かで美しいベイ・ド・ラ・ロワール地方の中心アンジェ市にある。1373年に創られた学校を前身とし、1875年に改めて創立された名門私立大学。学生数は約10,000名、世界中に170余りある協定校から約1,700名の交換留学生を受け入れている。本学学生が学ぶ西部カトリック大学付属国際フランス語教育センター(CIDEF)は、2学期制の通年コースと夏季コース(7月~9月)を開講。通年コースの中級以上になると選択科目として商業フランス語、歴史や文学、哲学、翻訳、観光業、ホテル業などを選択できる。DELFF・DALF・TCF・パリ商工会議所認定フランス語試験受験可能。				
派 遣 期 間	春学期: 2024年2月~2024年6月 秋学期: 2024年10月~2025年1月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる。				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	6,060ユーロ 春学期開始は6,930ユーロ	約861,000~984,000円		
	寮 費	2,700~5,600ユーロ(寮により異なる) ※ホームステイの場合: 3,150~4,650ユーロ(食事の有無により異なる)	約383,000~795,000円		
	食 費	2,000~3,000ユーロ	約284,000~426,000円		
	教材費	—	—		
	その他	3,000~4,500ユーロ	約426,000~639,000円		
	合 計	約13,760~20,030ユーロ	約1,954,000~2,844,000円		
備 考	フランス語のレベルがB2以上の場合、学部の講義に出席できる。				

フ ラ ン ス	大 学 名	パリ第1大学 パンテオン-ソルボンヌ			
	U R L	https://www.panthéonsorbonne.fr/			
	大学設立年	1971年	協定締結年		2013年
	所 在 地	12, place du Panthéon 75005 Paris, FRANCE			
大 学 紹 介	パリ大学としての起源は12世紀に遡り、ヨーロッパで最も古い国立大学の一つである。1968年に7つの大学に分かれた後、1971年、新たに第1から第13大学までの独立大学として編成された。その1番目に名を連ねるパリ第1大学(「パンテオン-ソルボンヌ」)を冠する別称を持つが、日本における通称は「パリ1」は、現在、経済・経営学、人文科学・技術、法学・政治学の3つの専門分野の傘下に14の学科および5つの研究科を有する。学生数は約40,000名。本部は学生街カルチェ・ラタン地区の中心に位置する。交換派遣は法律・政治・経営・地理・歴史分野に限定される。				
派 遣 期 間	秋学期: 2024年9月~2024年12月 春学期: 2025年1月~2025年5月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	B2 以上 (要証明書)				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	免除	—		
	寮 費	4,500~7,500ユーロ	約639,000~1,065,000円		
	食 費	2,700~4,200ユーロ	約383,000~596,000円		
	教材費	—	—		
	その他	3,500~5,000ユーロ	約497,000~710,000円		
	合 計	約10,700~16,700ユーロ	約1,519,000~2,731,000円		
備 考	専攻分野は応募前に相談のこと。				

フ ラ ン ス	大 学 名	フランシュ・コンテ大学			
	U R L	https://www.univ-fcomte.fr/			
	大学設立年	1423年	協定締結年		2018年
	所 在 地	1 Rue Claude Goudimel, 25030 Besançon, FRANCE			
大 学 紹 介	フランス東部に位置するフランシュ・コンテ地方の中心ブサンソン市にあり、中世からの伝統を誇る国立総合大学。医学、薬学、科学技術、教育、言語学など41分野の教育・研究を行っており、学生数は約23,000名である。外国人に対するフランス語教育において、フランス屈指の質の高いプログラムを提供し、毎年世界各国から3,000名以上の学生を受け入れている。				
派 遣 期 間	秋学期: 2024年9月~2024年12月 春学期: 2025年1月~2025年5月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	学部留学の場合B2以上(要証明書)。語学留学の場合、フランス語の筆記試験あり。仏検2級程度の語学力が求められる(証明書提出推奨)。				
留 学 費 用 概 算 (約9ヶ月)	授業料	学部留学の場合は免除。語学留学の場合は2,560ユーロ	約363,000円(語学学校のみ)		
	寮 費	2,250ユーロ。ホームステイの場合は7,500ユーロ程度	約319,000~1,065,000円		
	食 費	2,000~3,000ユーロ	約284,000~約426,000円		
	教材費	—	—		
	その他	3,000~4,500ユーロ	約426,000~639,000円		
	合 計	約7,250~17,560ユーロ	約1,030,000~2,494,000円		
備 考	語学留学の場合は、本学および語学学校両方に授業料を納付する必要がある。1学期目に語学留学をし、要件を満たせば、2学期目は学部留学できる。				

フランス	大学名	リュミエール・リヨン第2大学		
	U R L	Université Lumière LYON 2		
	U R L	https://cief.univ-lyon2.fr		
	大学設立年	1973年	協定締結年	2022年
	所在地	18 quai Claude Bernard, F69365 Lyon Cedex 7, FRANCE		
	大学紹介	フランス第2の都市リヨンにある国立大学。1809年創立のリヨン大学が1973年に3つの大学に分割。学問分野は人文科学、社会科学等。交換派遣は付属語学学校のみ。		
	派遣期間	秋学期：2024年9月～2024年12月 春学期：2025年1月～2025年5月		
	成績条件	GPA 2.30		
	語学力条件	DU FOUコース B1以上(要証明書)、DUEFコースは証明の必要はないが、フランス語の学内選考試験(一次筆記・二次面接)があり、仏検2級程度の語学力が求められる。		
留学費用概算(約9ヶ月)	授業料	DUEFコース：3,200ユーロ、DU FOUコース：3,750ユーロ		約454,000～533,000円
	寮費	約2,500ユーロ、ホームステイの場合は5,200～7,200ユーロ		約355,000～1,022,000円
	食費	2,000～3,000ユーロ		約284,000～約426,000円
	教材費	-		-
	その他	3,000～4,500ユーロ		約426,000～639,000円
	合計	10,700～18,450ユーロ		約1,519,000～2,620,000円
備考	DU FOUは専門フランス語コースで「メディア・コミュニケーション」「経営・経済」「芸術・言語」3分野あり。それぞれの分野の基礎知識があることが望ましい。			

スペイン	大学名	バルセロナ自治大学		
	U R L	Universitat Autònoma de Barcelona		
	U R L	https://www.uab.cat/		
	大学設立年	1968年	協定締結年	2010年
	所在地	Campus de la UAB Bellaterra, 08193 Cerdanyola del Vallès, Barcelona, SPAIN		
	大学紹介	スペイン第2の都市バルセロナ郊外に3つのキャンパスを持つバルセロナ自治大学は、比較的新しい公立大学。学生数は約35,000名で、交換留学生は約1,400名。バルセロナ市街地より約20km北に位置し、人文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、心理学、翻訳通訳学などの学部がある。交換留学生は、翻訳通訳学部にも所属し、履修科目の50%以上を翻訳通訳学部の科目から登録しなければならない。カタラーニャ語のみで開講される授業もある。		
	派遣期間	1学期：2024年9月～2025年2月 2学期：2025年2月～2025年7月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	DELE B1程度		
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	免除		-
	寮費	2,800～6,890ユーロ		約398,000～978,000円
	食費	2,500～3,500ユーロ		約355,000～497,000円
	教材費	25～100ユーロ		約3,000～14,000円
	その他	2,200～3,000ユーロ		約312,000～426,000円
	合計	7,525～13,490ユーロ		約1,068,000～1,915,000円
備考				

スペイン	大学名	マラガ大学		
	U R L	Universidad de Málaga		
	U R L	https://www.uma.es		
	大学設立年	1972年	協定締結年	2017年
	所在地	Avda. Cervantes, 2 29071 Málaga, SPAIN		
	大学紹介	マラガ大学は、スペイン南部のアンダルシア州に2つのキャンパスを持つ、比較的新しい公立大学。学生数は約34,000名で、観光学、芸術、哲学・文学、コミュニケーション学、経済経営学、教育学、法学、医学、健康科学、心理学などの学部がある。交換留学生はどの学部の科目も履修することができるが、メインの学部を決めそこから50%以上を履修しなければならない。英語で開講される授業もある。		
	派遣期間	1学期：2024年9月～2025年2月 2学期：2025年2月～2025年7月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	DELE B1程度		
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	免除		-
	寮費	4,000～9,600ユーロ		約568,000～1,363,000円
	食費	2,000～3,500ユーロ		約284,000～497,000円
	教材費	100～200ユーロ		約14,000～28,000円
	その他	2,200～3,000ユーロ		約312,000～426,000円
	合計	8,300～16,300ユーロ		約1,178,000～2,314,000円
備考				

メ キ シ コ	大 学 名	グアダハラ大学			
	U R L	Universidad de Guadalajara https://www.udg.mx/			
	大学設立年	1792年	協定締結年		2012年
	所 在 地	Av. Juárez No.976, Colonia Centro, C.P. 44100, Guadalajara, Jalisco, México			
大 学 紹 介	メキシコ中西部に位置するハリスコ州の州都グアダハラに本部を置く、国内有数の高等教育機関として知られる州立総合大学。都市部に学科別に分かれた6つのキャンパス (Centro Universitario)、郊外に地域別に分かれた9つのキャンパスを有する。総学生数は約120,000名。芸術・建築・デザイン、生物・農業、経済・経営、精密科学・工学、健康科学、社会人文学などの学部がある。				
派 遣 期 間	1 学期：2024年8月～2024年12月 2 学期：2025年1月～2025年6月				
成 績 条 件	GPA 2.30以上				
語 学 力 条 件	DELE B1程度				
留 学 費 用 概 算 (約10ヶ月)	授業料	免除		—	
	寮 費	30,000～45,000メキシコペソ ※留学生用の寮はないためアパート		約240,000～360,000円	
	食 費	20,000～40,000メキシコペソ		約160,000～320,000円	
	教材費	500～3,000メキシコペソ		約4,000～24,000円	
	その他	25,000～50,000メキシコペソ		約200,000～400,000円	
	合 計	75,500～138,000メキシコペソ		約604,000～1,104,000円	
備 考					

中 国	大 学 名	華東師範大学			
	U R L	East China Normal University https://www.ecnu.edu.cn/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		2013年
	所 在 地	中山北路キャンパス：上海市普陀区中山北路3663号 閔 行 キャンパス：上海市閔行区東川路500号			
大 学 紹 介	1951年に設立された国家教育部直属の全国重点大学の一つ。世界都市上海にありながら、緑豊かで広大なキャンパスを有し、中心部へのアクセスもよい。学生数は約39,000名、そのうち1,500名以上の留学生が学部所属の正規生として学んでいる。国際交流を重視しており、交流協定を結ぶ教育機関は300にも上る。				
派 遣 期 間	春学期：2024年2月～2024年7月 秋学期：2024年9月～2025年1月				
成 績 条 件	<語学留学>GPA 2.30以上 <学部留学>3.00以上				
語 学 力 条 件	<語学留学> 中国語検定3級以上またはHSK 3級以上 (コースによりHSK4級以上) <学部留学> HSK 5級180点以上				
留 学 費 用 概 算 (約11ヶ月)	授業料	免除 (※語学留学の場合、コースにより自己負担あり)		—	
	寮 費	13,200～46,750元		約250,000～888,000円	
	食 費	約11,000～22,000元		約209,000～418,000円	
	教材費	約200～1,000元		約4,000～19,000円	
	その他	約11,000元		約209,000円	
	合 計	約35,400～80,750元		約672,000～1,534,000円	
備 考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の2種類がある。				

中 国	大 学 名	大連理工大学			
	U R L	Dalian University of Technology https://www.dlut.edu.cn/			
	大学設立年	1949年	協定締結年		2018年
	所 在 地	大連凌水キャンパス：大連市甘井子区凌工路2号			
大 学 紹 介	大連理工大学は全国重点大学の一つで、遼寧省大連市にメインキャンパスがあり、理系学部のほか、人文社会、経済管理、外国語学部などの文系学部も擁しており、中でも国際教育学部は主に留学生を受け入れ中国語コースや漢語言本科(経済・貿易)コースが開講されている。交流協定を結ぶ教育機関は41ヶ国274校に上る。				
派 遣 期 間	春学期：2024年2月～2024年7月 秋学期：2024年9月～2025年1月				
成 績 条 件	GPA 3.00以上				
語 学 力 条 件	<語学留学> 中国語検定3級以上またはHSK 3級以上 <学部留学> HSK 5級180点以上				
留 学 費 用 概 算 (約11ヶ月)	授業料	免除		—	
	寮 費	6,600～9,900元		約125,000～188,000円	
	食 費	約11,000～22,000元		約209,000～418,000円	
	教材費	約200～500元		約4,000～9,000円	
	その他	約11,000元		約209,000円	
	合 計	約28,800～43,400元		約547,000～824,000円	
備 考	本学交換留学生は、語言生として語学留学する方法と、普通進修生として学部留学する方法の2種類がある。				

中国	大学名	北京師範大学			
	U R L	Beijing Normal University https://www.bnu.edu.cn/			
	大学設立年	1902年	協定締結年		2010年
	所在地	海淀キャンパス：北京市海淀区新街口外大街19号			
	大学紹介	北京師範大学は国家教育部直属の重点大学の一つであり、40以上の国・地域の約500の大学や研究所と交流協定を結び、そのうちアメリカ・イギリス・日本・韓国・カナダ等の50余りの大学と交換学生プログラムの協定を締結している。			
	派遣期間	春学期：2024年2月～2024年7月 秋学期：2024年9月～2025年1月			
	成績条件	GPA 3.00以上			
	語学力条件	<学部留学> HSK 5級180点以上			
	留学費用概算 (約11ヶ月)	授業料	免除		—
		寮費	19,800～31,350元		約376,000～596,000円
食費		約11,000～22,000元	約209,000～418,000円		
教材費		約500元	約9,000円		
その他		約11,000元	約209,000円		
合計		約42,300～64,850元	約803,000～1,232,000円		
備考	本学交換留学生は、「経済と工商管理学院」「法学院」「刑事法律科学研究院(大学院生のための受け入れ)」のいずれかの学院を選択し、その学院が開設する科目を履修する。				

台湾	大学名	国立台南大学			
	U R L	National University of Tainan https://www.nutn.edu.tw			
	大学設立年	1899年	協定締結年		2022年
	所在地	府城キャンパス：台南市中西区樹林街二段33号 榮譽キャンパス：台南市東区榮譽街67号			
	大学紹介	台湾西南部に位置する台南市に設置された国立大学。前身は師範学校であり、2004年に国立台南大学に改組された。師範学校からの流れをくむ教育学部のほか、人文学部、理工学部、環境生態学部、芸術学部、管理学部の計6学部を有する総合大学である。			
	派遣期間	春学期：2024年2月～2024年6月 秋学期：2024年9月～2025年1月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	中国語検定3級以上またはHSK3級以上			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除(大学附属の語学学校は自己負担)		—
		寮費	17,000～78,000ニュー台湾ドル		約71,000～327,000円
食費		約100,000ニュー台湾ドル	約420,000円		
教材費		約2,000～5,000ニュー台湾ドル	約8,000～21,000円		
その他		約50,000ニュー台湾ドル	約210,000円		
合計		約169,000～233,000ニュー台湾ドル	約709,000～978,000円		
備考	学部留学を主とするが、交換留学生向けの中国語の授業も1科目開講されており、履修が可能。その他、大学附属語学学校で開講されている中国語のコースも補助的に受講することもできる。(有料)				

台湾	大学名	東呉大学			
	U R L	Soochow University https://www.ch.scu.edu.tw/			
	大学設立年	1951年	協定締結年		2013年
	所在地	外雙溪キャンパス：台北市士林區臨溪路70號 城中キャンパス：台北市中正區貴陽街一段56號			
	大学紹介	台湾台北市にある私立の総合大学。もともとは1900年に中国蘇州に建学された、中国初の西洋式教育の大学で、1951年に台湾で再興された。人文社会学部、外国語文学部、理学部、法学部、商学部、ビッグデータ・マネジメント学部の6学部、計26学科を擁し、約180校の海外教育機関と交流協定を結んでいる。			
	派遣期間	春学期：2024年2月～2024年6月 秋学期：2024年9月～2025年1月			
	成績条件	GPA 2.30以上			
	語学力条件	中国語検定3級以上またはHSK3級以上			
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除		—
		寮費	20,400～72,000ニュー台湾ドル		約86,000～302,000円
食費		約100,000ニュー台湾ドル	約420,000円		
教材費		約2,000～5,000ニュー台湾ドル	約8,000～21,000円		
その他		約50,000ニュー台湾ドル	約210,000円		
合計		約172,400～227,000ニュー台湾ドル	約724,000～953,000円		
備考	学部留学を主とするが、留学生向けの科目(中国語の授業含む)も複数開講されており、履修が可能。				

韓国	大学名	仁荷(イナ)大学		
	U R L	Inha University		
	U R L	https://www.inha.ac.kr		
	大学設立年	1954年	協定締結年	
	所在地	100 Inha-ro, Michuhol-gu, Incheon 22212, Korea		
	大学紹介	仁川(インチョン)国際空港や7,000社を超える工業団地を擁する仁川市にある私立総合大学。ソウル中心地からは、電車やバスで1時間~1時間半の距離にある。約21,000名の学生が在籍し、世界各国からの留学生も多い。文化体験プログラムなどの国際交流にも力を入れている。		
	派遣期間	春学期: 2024年2月~2024年6月 秋学期: 2024年8月~2024年12月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度(韓国語文系、国際韓国言語文化学科に所属する場合はTOPIK 3級以上)		
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除(大学付属の語学学校は自己負担*)	—
		寮費	約2,000,000ウォン	約200,000円
		食費	約3,000,000~4,000,000ウォン	約300,000~400,000円
		教材費	約200,000ウォン	約20,000円
		その他	約3,000,000ウォン	約300,000円
		合計	約8,200,000~9,200,000ウォン	約820,000~920,000円
	備考	※語学学校の授業料は、1,370,000ウォン(約137,000円)/10週。		

韓国	大学名	慶熙(キョンヒ)大学		
	U R L	Kyung Hee University		
	U R L	https://www.khu.ac.kr/		
	大学設立年	1949年	協定締結年	
	所在地	ソウルキャンパス: 26, Kyungheedaero, Dongdaemun-gu, Seoul 02447, Korea 国際キャンパス: 1732, Deogyong-daero, Giheung-gu, Yongin-si, Gyeonggi-do 17104, Korea		
	大学紹介	幼稚園から大学院まで一貫教育を行っている名門私立総合大学で、学部留学生数は約27,000名。ソウル市北東部と京畿道龍仁市にキャンパスを置く。在学生による留学生へのトウミ(チューター)制度をいち早く取り入れた大学として有名。		
	派遣期間	春学期: 2024年2月~2024年6月 秋学期: 2024年8月~2024年12月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級以上または韓国語能力試験(TOPIK)3級以上		
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除(大学付属の語学学校は自己負担*)	—
		寮費	約2,800,000~5,100,000ウォン	約280,000~510,000円
		食費	約4,000,000~4,500,000ウォン	約400,000~450,000円
		教材費	約200,000ウォン	約20,000円
		その他	約3,000,000ウォン	約300,000円
		合計	約10,000,000~12,800,000ウォン	約1,000,000~1,280,000円
	備考	※語学学校の授業料は、ソウルキャンパス1,750,000ウォン(約175,000円)/10週、国際キャンパス1,500,000ウォン(約150,000円)/10週。		

韓国	大学名	建国(コングク)大学		
	U R L	Konkuk University		
	U R L	https://www.konkuk.ac.kr/		
	大学設立年	1959年	協定締結年	
	所在地	ソウルキャンパス: 120 Neungdong-ro, Gwangjin-gu, Seoul 05029, Korea		
	大学紹介	ソウル市東部にメインキャンパス、忠清北道忠州市に理系中心のキャンパスを置く名門私立総合大学。ソウルキャンパスは、緑に囲まれた自然豊かな環境で、ソウル中心地へのアクセスも良い。学部には約16,000名の学生が在籍する。毎夏、本学の韓国語研修を付属機関の言語教育院で実施している。		
	派遣期間	春学期: 2024年2月~2024年6月 秋学期: 2024年8月~2024年12月		
	成績条件	GPA 2.30以上		
	語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度		
	留学費用概算 (約10ヶ月)	授業料	免除(大学付属の語学学校は自己負担*)	—
		寮費	約4,500,000~5,000,000ウォン(寮の利用は1学期目のみ可。2学期目は外部住居。)	約450,000~500,000円
		食費	約4,000,000~4,500,000ウォン	約400,000~450,000円
		教材費	約200,000ウォン	約20,000円
		その他	約3,000,000ウォン	約300,000円
		合計	約11,700,000~12,700,000ウォン	約1,170,000~1,270,000円
	備考	※語学学校の授業料は、1,800,000ウォン(約180,000円)/10週。		

韓国	大学名	誠信(ソンシン)女子大学			
	U R L	Sungshin University https://www.sungshin.ac.kr/			
	大学設立年	1963年	協定締結年		2017年
	所在地	スジョンキャンパス: 2, Bomun-ro 34 da-gil, Seongbuk-gu, Seoul 02844, Korea ウンジョンキャンパス: 55, Dobong-ro 76 ga-gil, Gangbuk-gu, Seoul 01133, Korea			
大学紹介	「誠信(誠実さと信頼)」「知新(新しい知識を広く深く)」「自動(自ら動き、自らの力で)」を教育理念に、社会をリードする女性人材の育成を目指す私立総合女子大学。ソウル市北東部に位置するスジョンキャンパスとウンジョンキャンパスに合わせて約9,900名の学生が在籍する。「女性」をキーワードにした授業やメイクやファッション等に関する授業を開設しているのも特徴の一つ。				
派遣期間	春学期: 2024年2月~2024年6月 秋学期: 2024年8月~2024年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	免除		—	
	寮費	約3,900,000~6,600,000ウォン		約390,000~660,000円	
	食費	約4,000,000~4,500,000ウォン		約400,000~450,000円	
	教材費	約200,000ウォン		約20,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約300,000円	
	合計	約11,100,000~14,300,000ウォン		約1,110,000~1,430,000円	
備考					

韓国	大学名	大邱(テグ)カトリック大学			
	U R L	Catholic University of Daegu https://www.cu.ac.kr/			
	大学設立年	1914年	協定締結年		2003年
	所在地	ヒョソンキャンパス: Hayang-ro 13-13, Hayang-eup, Gyeongsan-si, Gyeongbuk 38430, Korea			
大学紹介	韓国のカトリック系大学の中で最大の規模を誇る私立総合大学。理系の3学部は大邱市内のキャンパスに、その他11学部は慶尚北道慶山市にあるヒョソンキャンパスに属している。大邱市内から電車やバスで1時間ほどの距離にあるヒョソンキャンパスには日語日文(日本語・日本文学)科もあり、日本語を学ぶ韓国学生も多い。				
派遣期間	春学期: 2024年2月~2024年6月 秋学期: 2024年8月~2024年12月				
成績条件	GPA 2.30以上				
語学力条件	「ハングル」能力検定試験3級程度または韓国語能力試験(TOPIK)3級程度				
留学費用概算(約10ヶ月)	授業料	免除(大学付属の語学学校は自己負担*)		—	
	寮費	約2,000,000ウォン		約200,000円	
	食費	約3,600,000ウォン		約360,000円	
	教材費	約200,000ウォン		約20,000円	
	その他	約3,000,000ウォン		約300,000円	
	合計	約8,800,000ウォン		約880,000円	
備考	※語学学校の授業料は、1,200,000ウォン(約120,000円)/10週。				

認定留学の資格・条件

認定留学については申請時に、次の1. から5. の条件を満たしていることが必要です。

また、認定留学は留学開始時に本学に2学期以上在学（編入学生は1学期以上在学）していることが必要です（ドイツ語、英語、フランス語学科は3学期以上）。

※大学院生の場合は資格・条件が異なるため、大学院事務室にお問い合わせください。

1. 修得単位数

申請時に次に掲げる各学科所定の単位を修得している必要があります。

学部	外国語				国際教養	経済			法		
	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際環境経済	法律	国際関係法	総合政策
1学期											
2学期											
3学期	32単位以上（必修ドイツ語科目10単位を含む）	32単位以上	32単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ」12単位を含む）	32単位以上	32単位以上（外国語科目12単位を含む）	32単位以上（英語科目6単位を含む）			32単位以上		
4学期	48単位以上（必修ドイツ語科目15単位を含む）	48単位以上	48単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」18単位を含む）	48単位以上	48単位以上（外国語科目18単位を含む）	48単位以上（英語科目8単位を含む）			48単位以上		
5学期	64単位以上（必修ドイツ語科目20単位を含む）	64単位以上	64単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位を含む）	64単位以上	64単位以上（外国語科目24単位、演習2単位を含む）	64単位以上（英語科目10単位を含む）			64単位以上		
6学期	80単位以上（必修ドイツ語科目20単位、「専門演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」2単位、「演習」2単位を含む）	80単位以上	80単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	80単位以上（英語科目10単位を含む）			80単位以上		
7学期	96単位以上（必修ドイツ語科目20単位、「専門演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」4単位を含む）	96単位以上	96単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	96単位以上（必修科目を全て修得していること）			96単位以上		
8学期	112単位以上（必修ドイツ語科目20単位、「専門演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（「フランス語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」24単位、「総合フランス語」4単位、「演習」6単位を含む）	112単位以上	112単位以上（外国語科目24単位、演習4単位を含む）	112単位以上（必修科目を全て修得していること）			112単位以上		

2. 評定平均値（GPA）

申請までの獨協大学における修得科目の評定平均値（GPA）が**2.30以上**であること（小数点以下第3位を四捨五入*）。

評定平均値の計算は次の方法で行います。自分の正確なGPAを把握するため、学期末に通知される成績評価は必ず全部保管しておきましょう（成績証明書にはFと×の科目は記載されないため、注意してください）。

教職・司書・司書教諭課程科目ならびに各学科の学則別表のうち、卒業に必要な単位に算入できないと定められている科目は計算から除きます。

※2018年度以前入学者は小数点以下第2位を四捨五入。

$$\text{GPA} = \frac{(\text{AAの単位数} \times 4 + \text{Aの単位数} \times 3 + \text{Bの単位数} \times 2 + \text{Cの単位数} \times 1)}{\text{総登録単位数（累計）}}$$

…「総登録単位数」は、Fと×の科目を含むが、Pの科目は除く。

※留学を希望する大学への出願に必要なGPA要件は、各留学先HP等で確認してください。

3. 語学力

下表は、認定留学の申請時に必要な語学力の条件です。申請日より遡って2年以内に取得した語学力の証明書コピーを提出してください。

下表の学内条件を満たしていても、留学先が個々に定める条件を満たしていないと入学許可が下りませんので、詳細は各大学（機関）にお問い合わせください。

教授言語	語 学 力 の 条 件
ドイツ語	留学先が指定する語学力を有していること (Goethe Zertifikat B1以上) 大学の留学生用語学コースまたは大学付属の語学学校の場合はGoethe Zertifikat A2以上
英語	TOEFL iBT® 61以上、TOEFL ITP® 500以上 (本学実施の団体受験のみ)、IELTS 5.5以上または実用英語技能検定準1級以上 注：国際教養学部生が申請時にIELTSスコアを提出する際は、5.0以上を目安とする。
フランス語	実用フランス語技能検定準2級以上、DELF A2以上またはTCF (TCF SOを含む) 300点以上
スペイン語	DELE A2以上またはスペイン語技能検定4級以上
中国語	中国語検定3級以上またはHSK 3級以上
韓国語	「ハングル」能力検定4級以上または韓国語能力試験 (TOPIK) 2級以上

4. 留学先の条件

①言語圏および教授言語

所属する学部学科の授業科目と関連のあるコース、学科への留学であり、所属学部学科が定める以下の条件を満たしていることが必要となります。

学部	外 国 語				国際教養	経 済			法		
学科	ドイツ語	英語	フランス語	交流文化	言語文化	経済	経営	国際 環境経済	法律	国際 関係法	総合 政策
言語圏	制限なし	制限なし	フランス語圏	制限なし	制限なし	制限なし			制限なし		
教授言語	ドイツ語または英語 ※上記3の表を参照	英語	フランス語	制限なし	英語 スペイン語 中国語 韓国語 等	制限なし			制限なし		
留学期間	1学期間または2学期間										

②認定留学における教育機関

学位（学士、修士、博士号等）の授与権を有する大学か、それと同等の高等教育機関であること。大学の場合は、原則として専門課程への入学許可を得ていること。また、教授言語をドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語とする場合のみ、下表の条件を満たしている機関でも認められます。

なお、P.66の「これまでの認定留学先大学一覧」に記載のない大学（機関）への認定留学を希望する場合は、留学先大学（機関）への**出願手続き開始前**に同大学（機関）の資料（パンフレット、コースカタログ、大学や開設科目に関する詳しい資料等）を国際交流センターに提出し、認定留学先として認められるかを必ず相談しましょう（認定留学が認められない場合もあります）。

教授言語	大学（またはそれと同等の高等教育機関）以外の場合の条件
ドイツ語	大学の留学生用語学コースまたは大学付属の語学学校
フランス語	大学付属の語学学校（単に大学と提携しているだけの場合は不可）
スペイン語	大学付属の外国人コース（この場合認定できる単位は、原則としてスペイン語およびコースの中に含まれている文化論、歴史などに限られる）。ただし、事前にコースの内容を検討した上で、判断する。 〈例〉スペインの場合：サラマンカ大学付属語学学校および国立大学の付属語学学校 メキシコの場合：メキシコ国立自治大学外国人コース (UNAM CEPE)
中国語	外国人向け高等教育施設（機関）
韓国語	大学付属の語学学校（単に大学と提携しているだけの場合は不可）

5. 認定留学の期間

認定留学は原則として1学期間または2学期間です。留学期間は本学の学期に合わせて取り扱われます。したがって、留学開始日と留学終了日を以下の要領で設定し、この期間を目安に留学を完結させてください。留学先大学・機関の学事日程と本学の学事日程にずれがある場合、希望する学期からの認定留学の申請ができない場合もあるので注意してください。(例：留学先の学期開始が1月あるいは6・7月などの場合は、本学の秋あるいは春学期日程と重なるため、認定留学の申請はできません。)

- 1学期間の留学：春学期または秋学期の1学期間（留学先での学修期間は3ヶ月以上）
- 2学期間の留学：春学期～秋学期、または秋学期～翌年春学期の2学期間（留学先での学修期間は6ヶ月以上）
所定の手続きを経て、最長4学期間まで延長することができます（詳細はP.68参照）。

※なお、留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国してください。



認定留学申請までの流れ

■ 資料請求

留学先大学を決めるには、自分の留学目的に合う大学をHP等で調べ、候補を絞りましょう。また、HPで資料や願書請求用のフォームがあれば、これを利用しましょう。近年は、HP上のオンライン申請が一般的です。

■ 志望大学への出願

出願の際は、HPや送られてきた資料などをよく読んで、書類の不備や不足がないようにしましょう。出願資格、出願締切日もよく確かめてください。また、出願書類を送る際は、提出物のコピーを取っておくほか、郵便局のEMS（国際スピード郵便）などの配達記録が残るものを利用しましょう。

留学先大学から受入れ許可の通知が届いたら、その大学の指示に従い入学手続きをします。

留学ビザが必要な場合は、該当国の大使館のHPで申請方法を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。特に留學生の出発が多い時期は込み合いますので、注意が必要です。

なお、複数の大学から許可が届いた場合は、留学しない大学には必ずその旨を連絡して下さい。今後留学する獨協生や他の日本からの留學生のためにもマナーを守りましょう。

■ 認定留学の申請

留学先から入学許可がもらえたら、獨協大学に認定留学の申請をします。申請期限までに申請をしないと、留学期間は在学期間と認められません。



認定留学の申請

認定留學生の身分で留学するには、国際交流センターに申請する時点で、本学が定めた要件をクリアしていなければなりません（要件を満たしていない場合は休学扱いとなります）。「認定留学の資格・条件」を熟読し、自分が要件を満たしているかを確認した上で、以下に記載の提出書類①～⑤を揃えて国際交流センターに提出してください。

なお留学先で健康保険加入が義務づけられている場合は、その保険の詳細（補償内容、保険料等）がわかる資料を提出してください。

提出書類

所定様式はPorTaⅡダウンロードセンター > 留学支援 > 留学関連提出書類 > 認定留学申請書類からダウンロードしてください。

- ①長期留学志願書（所定様式）
- ②誓約書（所定様式。本人および保証人の署名・捺印が必要）
- ③成績証明書または成績通知表（最新のもの、コピー可、成績通知表はA4サイズにコピーすること）
- ④必要とされる語学力証明書コピー（有効期限内のものに限る）
- ⑤留学先大学等（P.63「4. 留学先の条件」の②参照）が発行した入学許可証明書コピー

■ 認定留学の申請期限

秋学期から留学する場合…… 6月末日

春学期から留学する場合…… 1月末日

※上記の申請期限は、あくまでも認定留学生としての身分を得るための学内申請期限であり、それ以外の留学手続きにかかる期間は考慮していません。渡航のためのビザ取得等には時間を要することから、早めに国際交流センターに相談し、時間に余裕をもって希望する留学先に出願してください（特にスペインの場合は6ヶ月以上の学生ビザの取得に2ヶ月ほどかかるため、留学開始5ヶ月前の出願が目安）。

※やむを得ず期限までに申請できない可能性がある場合は、必ず事前に国際交流センターまでご相談ください。

※本学「海外危機管理マニュアル」に基づき、派遣が認められない場合があります（P.12およびP.110参照）。

■ 休学から認定留学への切り替え申請

認定留学については出発前の申請が原則ですが、例えば休学して海外で語学研修等を行っている人が、その期間中に認定留学申請に必要な要件を満たせば、学期単位で認定留学に切り替えることができます。ただし、出発前に国際交流センターおよび教務課でその旨を相談し、指導を受けていること、「危機管理セミナー」に出席していることが条件となります。

認定留学への切り替えには、前述の認定留学申請手続きが必要なほか、国際交流委員会による承認後、速やかに復学手続きを行う必要があります。復学手続きについては、大学HPまたは教務課学事係で確認してください。

認定留学先の選び方

1. 認定留学は、自分で留学先となる高等教育機関等を選択するので、対象となる機関は世界中にたくさん存在します。その中から自身に最適の留学先を見つけるためには、まず留学の目的や勉強したい分野をはっきりさせましょう。
2. 次に、留学したい国・地域を定め、どのような機関で、どんな授業が開講されているかを調べましょう。機関選択の際には、条件（立地、治安、出願条件、学費、奨学金、留学生サポート等）を書き出した一覧表を作り、比較検討してみてください。また、留学に関する情報収集には、日本にある各国大使館のHPや、日本学生支援機構の海外留学支援サイト等を活用するとよいでしょう。
3. 留学先がある程度絞れたら、出願方法を確認し、出願書類を準備します。機関により出願締切が異なりますので、注意してください。また、学内の認定留学申請期限（秋学期：6月末日、春学期：1月末日）に間に合うよう、余裕を持って出願手続きを進めてください。
4. 無事に入学許可を取得したら、国際交流センターで認定留学申請手続きをしてください。

なお、留学エージェントを通して出願することも可能です。獨協大学では、学部留学をサポートする日本スタディ・アブロード・ファンデーション（JSAF）とパートナーシップを結んでいます。学内で年に数回、JSAF担当者による留学説明会を実施していますので、関心のある方は参加してみてください。日程はPorTa II 掲示板「留学支援・国際交流」でお知らせします。

ただし、JSAFの留学プログラムは、本学の認定留学とは直接的な関係はありません。必ずしも留学エージェントを利用した留学プログラムが本学の認定留学として認められるとは限りませんので、注意してください。

》 これまでの認定留学先大学一覧 (2023年3月31日時点)

留学制度
長期留学(認定留学)

ドイツ	140	ノッティンガム大学	1	オレゴン大学	5
イエーナ大学	4	バーススパ大学	2	カリフォルニア州立大学	
ヴェルツブルク大学	3	バースユニバーシティカレッジ	1	イーストベイ校	5
オスナブリュック大学	1	マンチェスター大学	2	カリフォルニア州立大学	
ゲッティンゲン大学	1	ランカスター大学	1	サンバナディーノ校	6
ケルン大学	1	リーズ大学	6	カリフォルニア州立大学チコ校	14
ザールラント大学	3	レスター大学	1	カリフォルニア州立大学	
デュースブルク=エッセン大学	27	レスター大学大学院	1	ノースリッジ校	6
トリーア大学	26	レディング大学大学院	2	カリフォルニア州立大学フラトン校	8
ドレスデン工科大学	5	ローハンプトン大学	1	カリフォルニア州立大学フレズノ校	1
ハイデルベルク大学	3	ロンドン大学	1	カリフォルニア州立大学	
ハノーファー大学	2	ロンドン大学クイーンメアリー校	2	ヘイワード校	1
ハンブルク大学	2	ロンドン・メトロポリタン大学	2	カリフォルニア州立大学	
ヒルデスハイム大学	3			ベーカーズフィールド校	1
フライブルク大学	7	アイルランド	1	カリフォルニア州立大学	
フランクフルト大学	1	メイヌース大学	1	モントレイ・ベイ校	29
ブレーメン専門単科大学	1			カリフォルニア州立大学	
ベルリンフンボルト大学	1			ロサンゼルス校	1
ベルリン自由大学	1	アメリカ	277	カリフォルニア大学サンディエゴ校	1
ボン大学	1	アシュランド大学	2	カルヴィンカレッジ	1
マインツ大学	1	アパラチアン州立大学	5	カンザス大学	1
マールブルク大学	17	アベレットカレッジ	1	キーン大学	1
ミュンスター大学	4	アラバマ州立南アラバマ大学	1	キャロルカレッジ	1
ミュンヘン大学	3	アラバマ大学	12	キャンベルズビル大学	1
ライプツィヒ大学	2	アリゾナ大学	1	サウスイースト・ミズーリ州立大学	3
リュースブルク大学	15	イースタン・コネチカット州立大学	1	サウスフロリダ大学	1
ロストック大学	5	イースタン・ミシガン大学	1	サザンイリノイ大学	1
		イースタン・ワシントン大学	1	サンフランシスコ州立大学	4
オーストリア	7	イリノイ州立大学サウスベンド校	15	シエラネバダ大学レイクタホ校	1
ウィーン経済大学	1	イリノイ大学シカゴ校	1	シャウニー州立大学	1
ウィーン大学	6	インディアナ大学パデュー大学	1	ジャクソンビル州立大学	1
		インディアナポリス	1	ジョージワシントン大学	
		エリオット校	2	スリパリーロック大学	1
		インディアナ州立大学	2	セントジョセフカレッジ	1
		インディアナ州立大学		セントラルオクラホマ大学	1
		ブルーミントン校	1	セントラルミシガン大学	1
スイス	4	ウィスコンシン大学グリーンベイ校	5	セントラルワシントン大学	1
ジュネーヴ大学*2	1	ウィスコンシン大学		ソノマ州立大学	3
バーゼル大学	3	スティーブンスポイント校	3	タウソン大学	1
		ウィスコンシン大学		テネシー工科大学	14
		ホホワイトウォーター校	1	テネシー大学マーティン校	1
英国	48	ウィスコンシン大学マディソン校	1	トレド大学	2
イーストアングリア大学	1	ウィチタ州立大学	2	ドーンカレッジ	1
ウェールズ大学	1	ウィッテンバーグ大学	1	ニューオリンズ大学	1
エクセター大学	1	ウイノナ州立大学	1	ニュースクールフォー	
エセックス大学	9	ウィバー州立大学	1	ソシアルリサーチ	1
エセックス大学大学院	1	ウィラメット大学	1	ニューヨーク州立大学	
エディンバラ大学	2	ウェスタンオレゴン大学	4	オールド・ウェストバリー校	1
オックスフォード・ブルックス大学	2	ウェスタンカロライナ大学	1	ニューヨーク州立大学オールバニ校	1
キール大学	1	ウェスタンミシガン大学	2	ニューヨーク州立大学バッファロー校	2
グラスゴー大学	1	エヴァンスヴィル大学	3	ニューヨーク大学	1
グラスゴー・カレドニアン大学	1	エッカードカレッジ	1	ノーザン・コロラド大学	1
サリーローハンプトン大学	1	オハイオ州立大学コロンバス校	3	ノースアラバマ大学	11
サンダーランド大学	1	オハイオ大学	1	ノースイースタン大学	2
シェフィールド大学	2	オリベットナザレナ大学	1	ノースウエスタンカレッジ	1
テムズバレー大学	1	オルブライト大学	1		

留学時点の大学名称としています。統廃合・名称変更により、現在の大学名とは異なることがあります。

ノースカロライナ大学	
ウィルミントン校	1
ノックスカレッジ	1
パシフィック・ルーテラン大学	1
ハートウィックカレッジ	1
ハノーヴァーカレッジ	1
ヒューストンバプテスト大学大学院	1
フィンドレー大学	1
フェアリー・ディキンソン大学	1
ブラックヒルズ州立大学	1
ブリガムヤング大学	2
ブリガムヤング大学ハワイ校	1
ベルビューカレッジ	2
ペンシルバニア州立	
インディアナ大学	1
ボストン大学	1
ポートランド大学	1
ホートンカレッジ	1
マイアミ大学	1
マッケンドリーカレッジ	1
ミズーリ州立大学	1
ミネソタ州立大学マンケート校	1
ミネソタ大学ツインシティ校	4
メイン大学	1
メリーランド大学	
カレッジ・パーク校	1
モンタナ州立大学	2
モンタナ大学	10
ユタ大学	8
ユティカカレッジ	1
ラッセルカレッジ	1
ルイスアンドクラークカレッジ	1
ワシントン州立大学	2

カナダ 8

アルゴマ大学	1
ヴィクトリア大学	1
バンクーバーアイランド大学	1
フレーザーバレー大学	1
ブリティッシュコロンビア大学	1
マギル大学*2	1
モントリオール大学*2	1
ヨーク大学	1

オーストラリア 19

ウーロンゴン大学	5
オーストラリア国立大学	1
オーストラリアカトリック大学	1
グリフィス大学	4
サザンクロス大学	5
スウィンバーン工科大学	1
ディーキン大学	1
ラ・トロープ大学	1

ニュージーランド 2

オークランド大学	1
----------	---

カンタベリー大学	1
----------	---

エストニア 3

タリン工科大学*1	3
-----------	---

リトアニア 3

ヴィリニウス大学*1	1
ミコラス・ロメリス大学*1	2

フィンランド 2

ヘルシンキ大学*1	2
-----------	---

イタリア 2

ミラノカトリック・	
サクロクオーレ大学*1	2

フランス 199

アヴィニオン大学	2
エクス・マルセイユ大学	10
オルレアン大学	1
カン大学	5
グルノーブル第3大学	4
サヴォワ大学	14
ストラスブール大学	12
ソルボンヌ大学	9
トゥール大学	2
ナント大学	3
ニース大学	3
パリ・カトリック学院	6
パリ-デカルト大学	1
フランシュ・コンテ大学	11
ブルゴーニュ大学	20
プロヴァンス大学	3
ペルピニャン大学	3
ボルドー第3大学	1
モンペリエ第3大学	10
ラ・ロシェル大学	1
ランス大学	2
リヨンカトリック大学	34
リヨン第2大学	5
リール第3大学	4
レンヌ第2大学	3
西部カトリック大学	30

スペイン 11

アリカンテ大学	3
アルカラ大学	3
バルセロナ大学	5

メキシコ 5

グアダハラハラ大学	2
メキシコ国立自治大学	3

ブラジル 1

ミナスジェライス・カトリック大学	1
------------------	---

チリ 1

チリ大学	1
------	---

中国 59

廈門大学	1
華東師範大学	5
山西大学	1
四川大学	1
西安交通大学	3
清華大学	1
浙江大學	3
対外経済貿易大学	3
中央民族大学	3
天津理工大学	1
東華大学	1
復旦大学	7
北京大学	10
北京外国語大学	4
北京語言大学	3
北京師範大学	7
香港中文大学*1	2
遼寧師範大学	3

台湾 6

国立中山大学*1	1
国立台湾大学*1	1
東呉大学	4

韓国 10

慶熙(キョンヒ)大学	1
淑明(スンミョン)女子大学	1
西江(ソガン)大学	2
延世(ヨンセ)大学	6

*1 教授言語：英語

*2 教授言語：フランス語



留学期間の延長

長期留学生（交換・認定）は、獨協大学が許可した留学期間を含め最長4学期間まで延長することが可能です。

留学の延長を希望する場合は、所定の手続きが必要です。編入学生の留学期間は最長2学期間であるため、1学期間の認定留学生がさらに1学期間の留学を希望する場合に限り延長申請ができます。

なお、留学期間を延長した場合でも、本学の単位として認定できる単位数の上限（32単位）は変わりません。

【交換留学生】

交換留学の期間を問わず、留学延長後の身分は認定留学生となります。身分が変更となるため、長期留学志願書を提出してください。

【認定留学生】

現在留学中の大学等で留学期間の延長を希望する場合は、留学延長願を提出してください。留学先を変えて留学延長を希望する場合は、長期留学志願書を提出してください。

提出書類

- ①留学延長願または長期留学志願書・誓約書（いずれも所定様式）
- ②留学先大学等が発行した延長（入学）許可証明書
- ③本学の成績証明書（最新のもの、コピー可）
- ④留学延長を希望する大学等の資料（新たに留学を希望する大学が「これまでの認定留学先大学一覧」に記載されていない場合のみ。当初の本校における留学期間終了予定日の4ヶ月前までに資料を国際交流センターに提出すること）

留学延長願には保証人および演習指導教員（またはクラス担任）の署名・捺印、長期留学志願書には演習指導教員（またはクラス担任）の署名・捺印、誓約書には保証人の署名・捺印が必要です。海外からの書類の郵送には時間がかかるので、余裕を持って申請手続きを進めてください。

■ 延長の申請期限

当初の留学期間が春学期に終了予定（～9月23日）の場合…… **6月23日**

当初の留学期間が秋学期に終了予定（～3月31日）の場合…… **1月10日**



奨学金

■ 留学生対象奨学金（国際交流センター）

1. 「獨協大学国際奨学金」(給付型奨学金)

- 交換留学する学部生には「獨協大学国際奨学金（交換留学生）」として月額2万円×6ヶ月×1回（半年）または2回（1年間）（6月・11月に支給）が獨協大学より支給されます。なお、大学院生の場合は、2.2万円×6ヶ月×2回（1年間）が支給されます。
- 認定留学生は、一定の条件を満たしている場合、「獨協大学国際奨学金（認定留学生）」に応募することができます。選考を経て、月額2万円×6ヶ月×1回（半年）または2回（1年間）（6月・11月に支給）が獨協大学より支給されます。
- 「獨協大学国際奨学金」と修学支援新制度（給付奨学金）の併給は可能です。
- 「獨協大学国際奨学金」は、交換留学生・認定留学生ともに特に考慮すべき点がある場合は、月額4万円を給付する場合があります。

2. 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）奨学金（返還義務なし）

対象：交換留学生

海外留学支援制度（協定派遣）は、協定大学等に派遣される学生に対して、留学に係る費用の一部を奨学金として支援することにより、グローバル社会において活躍できる人材を育成するとともに、我が国の高等教育機関の国際化・国際競争力強化に資することを目的として支給される奨学金制度です。採用者は、派遣先大学において一定の単位の修得（一部の国では修了証）が求められます。JASSOから本学に対して割当があった場合、国際交流センターから対象者に通知します。該当者は、必要書類を定められた期日までに提出し、学内選考およびJASSOによる最終承認を経て、支給が決定します。採用者には派遣留学期間中、本学を通じて月額6～10万円が支給されます（派遣先の地域によって支給額が異なる）。加えて、採用者は「渡航支援金」の支給対象になり、JASSOが定める家計基準を満たす者へは16万円、一定の派遣期間を満たす者へは13万円が支給されます。

主な申請要件は次の通りです。

●成績評価係数

成績評価係数（GPA）2.30以上（3点満点。奨学金採用者選考時の前年度の成績）。本学の成績通知表に記載のGPAとは計算式が異なります。

$$\text{成績評価係数} = \frac{(\text{AA} \cdot \text{Aの単位数} \times 3) + (\text{Bの単位数} \times 2) + (\text{Cの単位数} \times 1) + (\text{F} \cdot \times \text{の単位数} \times 0)}{\text{総登録単位数}^*}$$

※総登録単位で算出するため、F・×が多いと成績評価係数は低くなります。十分に注意してください。

●家計基準

JASSOの定める基準を満たしていること。

海外留学支援制度（協定派遣）奨学金は本学に対して毎年割当があるとは限りませんので、年度により支給がない場合もあります。

なお、この奨学金と「獨協大学国際奨学金（交換留学生）」との併給はできません。

●修学支援新制度を利用している方へ

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度(給付奨学金)は同時に受給できません。詳細は「**■現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）**」(P.71ページ)をご確認のうえ、学生課に相談してください。

3. 「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」奨学金（返還義務なし）

文部科学省と支援企業による官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 新・日本代表プログラム」は、大学からの派遣留学生だけでなく、休学して海外で学習する学生も応募可能です。採用された場合、月額奨学金（JASSO第二種奨学金の家計基準を超える場合は基準金額が異なる）のほか、留学準備金、授業料（学位を取得可能な大学・大学院等で専門分野を学ぶ場合のみ）が支給される予定です。なお、この奨学金とJASSOの「海外留学支援制度（協定派遣、学部学位取得型、大学院学位取得型）」奨学金または獨協大学国際奨学金との併給はできません。詳細は、募集要項公開時にPorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」でお知らせします。

4. 海外留学奨学金（大学推薦）

大学推薦を必要とする海外留学生向けの各奨学金財団による奨学金募集は、随時PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] または出願要件を満たす対象者に個別に案内します。なお、大学推薦による奨学金に合格した場合、JASSO海外留学支援制度（協定派遣）および獨協大学国際奨学金は受給できません。

過去出願実績（参考）

奨学金名	支給内容	学内募集時期
(公財) 飯塚毅育英会 海外留学奨学生	学部生 年額60万円	6月頃
(公財) イノアック国際教育振興財団奨学金タイプB	月額 10万円	10月頃
(公財) 業務スーパージャパンドリーム財団奨学生	月額 15万円または20万円 留学一時金 15万円または20万円	12月頃・6月頃（年2回）

5. 海外留学奨学金の紹介（個人応募）

各奨学金団体が募集している奨学金の一部を紹介します（日本学生支援機構（JASSO）が発行している「海外留学奨学金パンフレット2022-2023」等より、大学在籍者に給付する奨学金を抜粋）。このほかにも外国政府、自治体、民間団体等が募集する奨学金も多数あります。詳細は必ず各団体に直接問い合わせ、最新の募集要項等入手してください。留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものが多いので、早いうちから情報を収集し万全の資金計画を立てましょう。



海外留学支援サイト <https://ryugaku.jasso.go.jp/>

実施機関	奨学金名	支給内容
外国政府等	ドイツ学術交流会（DAAD） 夏期語学講座（HSK）・春期語学講座（HFK）奨学金	HSK・HFK 1,061ユーロ、旅費補助、健康・傷害・個人賠償責任保険料
	オーストリア政府給費留学生	月額1,150ユーロ、旅費1,500ユーロを上限に実費支給、授業料免除
	高円宮記念クイーンズ大学奨学金 [カナダ]	学費、生活費、渡航費等 計38,000カナダドル
	フランス政府奨学金留学生（文系）	滞在費月額700ユーロ、一律700ユーロの手当金、社会保険料等
	メキシコ政府奨学金アカデミックプログラム留学生 https://www.gob.mx/amexcid/acciones-y-programas/becas-para-extranjeros-29785	入学金・授業料、生活費月額11,700.36ペソ、往復航空券支給等
	日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 埼玉県日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画	滞在費月額13,162.90ペソ、医療保険、往復渡航費、入学金・授業料免除
	中国政府奨学金（普通進修生）	学費免除、寮費免除、生活費月額3,000元、総合医療保険料免除
	教育省華語文奨学金（台湾への語学留学）	月額25,000元
地方自治体	埼玉県・オハイオ州スカラシップ（語学・大学留学コース）	派遣期間中の学費免除
	埼玉県・クイーンズランド州スカラシップ （大学付属英語学校派遣）	授業料免除
	埼玉県・山西大学への奨学生派遣事業 [中国] （1ヶ月・3ヶ月・6ヶ月・1年コース）	派遣期間中の授業料と寮費の免除
	「埼玉発世界行き」奨学金 一般奨学金地域活躍コース・冠奨学金	地域活躍コース20万円 ※冠奨学金は種類ごとに異なる（50万～135万円）
	戸田市海外留学奨学制度	授業料、生活費、渡航費用 最大150万円
民間団体	IELTS奨学金 British Council Japan IELTS 奨学金	30万円
	(一財) 霞山会 留学奨学金（中国・台湾）	月額14万円
	(一財) BCJ国際奨学財団 BCJ奨学金	月額10万円程度以上
	(公財) 松下幸之助記念志財団 松下幸之助国際スカラシップ	月額14万円、往復渡航費補助
	(公財) 村田海外留学奨学会 海外留学奨学金	学費、生活費、往復旅費
	(公財) ロータリー財団 ロータリー財団奨学生地区補助金 第2770地区（他地区でも募集あり）	上限20,000米ドル相当

※獨協大学PorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] にも随時奨学金情報を掲載しています。
 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、募集を中断、中止している場合があります。

■ 留学者対象奨学金（学生課）

1. JASSO第一種奨学金（海外協定派遣対象）

通常の第一種奨学金を利用していない方が「海外留学支援制度（協定派遣）」奨学金に採用決定した場合は、要件を満たせば「第一種奨学金（海外協定派遣対象）」に申し込むことができます。

2. JASSO第二種奨学金（短期留学）

通常の第二種奨学金を利用していない場合は、留学時期に応じ第二種奨学金（短期留学）に申請する機会があります。制度名に短期留学とありますが、3ヶ月以上1年以内の留学が対象です。

※注意点

上記1. および2. は定期募集に比べて申請に必要な書類が多く、また、支援期間が留学中に限られます。まずは定期募集への申請をご検討ください。

また、既にJASSOの貸与型奨学金を受給中の方は、貸与月額を引き上げる申請ができる場合があります。いずれの場合も、早めに学生課奨学係にご相談ください。

■ 現在奨学金を利用中の方への注意（学生課）

1. 修学支援新制度の扱い

海外留学支援制度(協定派遣)奨学金と修学支援新制度（給付奨学金）とは併給できません。両方の支給金額を確認のうえ、どちらを受給するかを選択してください。修学支援新制度を停止するためには書類提出が必要なので、協定派遣奨学金受給開始月の1ヶ月以上前に、学生課に来てください。

また、修学支援新制度（授業料減免）は本学に授業料を納める場合しか適用されません。

2. JASSO奨学金（修学支援新制度、貸与第一種、貸与第二種）

JASSO奨学金は、交換留学・認定留学を含む在籍期間が4年間で支援終了となります。4年生で留学を開始する場合は、留学終了後からの学納金や履修計画にもご注意ください。

3. 獨協大学学部奨学金の扱い

獨協大学学部奨学金は、留学・休学の方は受給できません。春学期に学部奨学金に採用された方が秋学期から留学する場合、秋学期分の奨学金は受け取れません。

春学期に留学していた方が秋学期から在学する（本学で講義を受ける）場合、秋学期半年分の学部奨学金を申請できます。詳細は9月に案内します。

4. 民間・自治体等奨学金の扱い

本学から推薦する民間・自治体等の奨学金を受けている場合は、事前に学生課奨学係へご相談ください。個人で直接応募した奨学金を受けている場合は、自分で支給団体に相談してください。



留学前に行うこと

長期留学生は、「留学は学生本人の自発的選択と責任において行われるべきものである」ということをしっかり理解してください。主体的に自己管理を行うとともに、渡航準備から帰国までを含む留学中の一切の行動を、学生自身の責任において進めることが求められます。本留学ガイドを熟読し、事前に十分に理解した上で、必要な手続きや行動を進めてください。

留学に関する情報は、何もせずに待っていて与えられるものではありません。受身の態度からは何も始まりません。自ら留学先大学（機関）のHPで情報収集を図るとともに、不明点は留学先の担当者に直接確認するよう心掛けてください。

1. 留学前ガイダンス

教務課で、留学内定者を対象に留学後の単位認定手続き等に関するガイダンスを行います。対象者は教務課各学部係と日程調整の上、必ずガイダンスを受けてください。

また、教職課程や司書課程履修者は、上記のガイダンスに加え、各課程の科目履修方法や実習等の手続きについて説明を受けてください。

2. 語学力の向上

留学先の語学条件を満たすことがゴールではありませんので、留学決定後も語学力の向上に努めましょう。特に学部留学では、「外国語を学ぶ」ことではなく、「自身の専門を学ぶ」ことが求められます。現地の学生とともに講義を受け、ディスカッションやグループワークに参加します。また、予復習や宿題として日々大量の教科書や資料を読みこなし、課題のレポートも作成しなければなりません。そのため、日常会話能力に加え、自分の学問分野に関する専門的な語学力が要求されます。留学先大学によっては、入学条件の語学要件のほかに、分野や科目ごとに必要な語学要件を定めている場合も少なくありません。

多くの学生は、留学先大学が求める所定の語学検定試験を受験し、その試験結果（スコアレポート）を確認していることと思います。自身の足りないスキルを留学までに確実に伸ばすことが、留学先でのさらなる成長につながります。本学では、留学前の語学力向上をサポートするための「研修費補助制度」や、授業以外に「毎日レッスン！実践英会話」（有料）を開講するなど、学ぶ意欲のある学生を支援する仕組みを提供しているので、積極的に活用しましょう。

【研修費補助（交換留学生のみ）】

交換留学生を対象に、留学準備のための研修費用を補助します。この「研修費補助」は、外国語教育団体や語学学校の授業料、テキスト代を、申請者から提出された領収書に基づき、支払った実費について10万円を上限として支給します。

研修費補助は、留学を自己都合により取り止めた場合、または学習態度および行動が交換留学生として相応しくないと判断された場合、その状況に応じて全額または一部を返還していただきます。

【オープンカレッジ「毎日レッスン！実践英会話」受講について（エクステンションセンター）】

エクステンションセンターでは、授業の合間に毎日40分英会話が学べる「毎日レッスン！実践英会話」を開講しています。この講座では、英語指導法の資格を持ち、豊富な教育経験のあるネイティブ講師が、少人数（平均8～10名）のレベル別クラスでレッスンを行います。受講日は月曜から金曜の毎日、年間100回。さらに希望者には追加料金なしで参加できるフリートークタイムも用意されていますので、海外のことやレッスンで分からなかったことなど何でも気軽に話ができます。

なお、英語圏への交換留学生は、上記の研修費補助制度を利用して受講することもできます。

開講時期：春期 5月上旬～7月中旬 秋期 9月下旬～12月中旬
 受講料：125,000円（1回40分、計100回。テキスト代込）
 初めてオープンカレッジ講座に申込の方は別途登録料2,000円が必要です。
 詳しくは、PorTaⅡ掲示板「図書館・学修支援」にてご確認ください。

3. 留学中の学習計画立案

留学開始前に、留学先大学で具体的にどのような分野（科目）を履修するか決める必要があります。留学先大学では、本学が提供している分野のみならず、その大学ならではの科目や分野も多く提供されています。自分の専門分野や興味ある分野を軸にしつつ、新たな知見を獲得するため、さまざまなことに積極的に挑戦してください。ただし、科目や分野によっては単位認定の対象とならないものもあるので、事前に教務課や指導教員との確認が必要です。

留学先大学では、十分な予備知識を持って授業に臨むことが求められます。また、出願時に提出する成績証明書（Academic Transcriptなど）に記載されている過去の学修履歴を判断し、履修の可否が決められる場合もあります。自身の学びたい分野をより深く探求するために、留学前に関連する分野や科目について自己学習を進めておきましょう。

4. 事前研修（交換留学生は参加必須）

学術交流協定を結んでいる大学へ本学学生を派遣する交換留学は「しなやかに逞しく世界と交流できる教養人」を育成することを目的としています。原則として全ての交換留学生は、派遣前に行われる事前研修と留学終了後の事後研修の参加を必須とします。認定留学生の参加も推奨します。

事前研修内容等（予定）

※各回の対象者には事前に案内します。

日時・内容・対象		秋学期留学開始者 (出発時期8月～10月)	春学期留学開始者 (出発時期2月～4月)
第1回	プログラム目的の共有、 留学研究課題の明確化	2023年5月27日（土） 13:35～16:35	2023年10月28日（土） 13:35～16:35
第2回	留学計画のブラッシュアップ	2023年7月15日（土） 13:35～15:35	2023年12月2日（土） 13:35～15:35

〔参考 事後研修内容等（予定）〕

日時・内容・対象		春学期留学終了者 (帰国時期 5月～7月)	秋学期留学終了者 (帰国時期 11月～3月)
第1回	留学の振り返り	2023年9月2日（土） 13:35～16:35	2024年2月24日（土） 13:35～16:35
第2回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2023年9月9日（土） 13:35～15:35	2024年3月2日（土） 13:35～15:35

5. 危機管理セミナー（短期・長期留学生は参加必須）

本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生は、「危機管理セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは留学前の情報収集や海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法等について説明し、留学者自身の危機管理意識を高めることを目的としています。また、本学指定の海外旅行保険についても案内します。日程等の詳細はPorTaⅡ掲示板「留学支援・国際交流」にてお知らせします。授業等のやむを得ない事由で以下の日程に参加できない場合は、事前に国際交流センターに相談してください。

実施予定

夏季： 2023年 7月5日（水）または 7月7日（金）
 春季： 2024年 1月9日（火）または 1月11日（木）



渡航手続き

1. パスポート（旅券）の取得

下表の書類を用意し、都道府県のパスポート申請窓口申請してください。旅券には10年有効と5年有効の2種類があります。民法および旅券法の改正により、2022年4月1日より18歳以上の方は、有効期間が10年のパスポートを申請することが可能になりました。申請から受領までに通常1週間程度（土・日・祝日・振替休日・年末年始を除く）かかります。手数料11,000円（5年間有効）／16,000円（10年間有効）はパスポート受取時に納めます。代理人申請や現住所と住民登録の住所が異なる場合は、各都道府県のパスポート申請窓口にお問い合わせください。なお、パスポートは本人でなければ受け取ることができません。

【必要書類】

一般旅券発給申請書	外務省ホームページからダウンロード、または都道府県のパスポート申請窓口のほか市区町村役所で配布。全国共通書式
戸籍謄（抄）本	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月以内に発行されたもの ・有効なパスポートを所有し、氏名・本籍（都道府県名）に変更がない場合は省略可 ・戸籍事務がコンピューター化された市区町村では戸籍謄（抄）本に代わって「戸籍の個人事項証明書」や「戸籍の全部事項証明書」が発行される。
住民票の写し	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月以内に発行され本籍地が記載されているもの ・住民基本台帳ネットワークシステムで確認可能な場合は、原則として不要
写真	・4.5cm×3.5cm正面无帽・無背景。6ヶ月以内に撮影されたもの
本人確認の書類	マイナンバーカード（個人番号カード）、運転免許証、または健康保険証と学生証。コピー不可
発給済みの旅券（該当者のみ）	有効なパスポートまたは期限切れのパスポート

2. 学生ビザ（査証）の取得

ビザ取得の要件・手続きは国・地域によって異なります。また変更となることも多いので、各自で最新情報を大使館等に確認してください。

【主な必要書類】

パスポート（旅券）	残存有効期間に注意
写真	サイズ・必要枚数については大使館等に確認
入学許可書	留学先大学等が発行したもの
財政証明書	金融機関による証明（ただし、国・地域により免除される場合がある）
学生査証申請書（所定用紙）	大使館または大使館HPで入手可能
その他	国・地域により必要な書類が異なるので、大使館または大使館HPで確認

3. 渡航先の入国・行動制限措置等の確認と準備

国・地域や時期により入国（入境）者に対し、新型コロナウイルス陰性証明やワクチン接種証明の提示、到着後検査や一定期間の隔離等を求めるといった状況が発生しています。渡航先の入国等に必要な書類、手続きを事前によく調べ、準備を行いましょう。各種措置は状況に応じて流動的に変更される可能性がありますので、現地の日本国大使館・領事館や各国当局のホームページ等で最新情報を入手することが大切です。

4. 航空券の購入

多くの国は片道チケットで支障なく入国できますが、国によっては、入国の際に帰国用の航空券を持っていることを求められることもあります。留学期間が1年以内であれば、帰国日を後で設定できるオープンチケット（帰国日は出発日から最長1年間）を使うのもよいでしょう。格安航空券でも問題ありませんが、出発が旅行のハイシーズンと重なる人は早めに予約しましょう。

5. 海外旅行保険の加入

海外で病気にかかったりケガをしたりした場合、治療費は非常に高額となり、かつ、皆さんの安否について大学が正確な情報を収集するのは極めて難しくなります。

そこで本学では、留学生全員（休学して留学する者、個人での語学留学等は除く）に大学指定の海外旅行保険とトータルサポートサービスへの加入を義務づけています。詳細はP.100（「危機管理・安全対策」のページ）をご覧ください。

6. 在留届の提出

外国での在留期間が3ヶ月以上にわたる日本人は、旅券法および同法施行規則により在留届を提出する必要があるため、外務省「在留届電子届出システム（ORRnet）」サイトから提出してください。また、留学先での引越や帰国など記載事項に変更が生じた場合は、必ず変更届・帰国届を提出してください。

「在留届」用紙による提出（留学先最寄りの日本大使館または領事館へ持参、FAX、郵送）も可能です。「在留届」の用紙は、国内では各都道府県のパスポート申請窓口、海外では在外公館で入手できるほか、外務省HPよりダウンロードすることもできます。

※日本国籍以外の方は、各自、留学先最寄りの自国の大使館または領事館で必要手続きを確認してください。

出典：外務省海外安全ホームページ

7. 外貨購入・送金手続

留学中の費用の持参・調達の方法としては、現金持参、クレジットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート、現地銀行口座を開設して日本から送金（銀行振込や小切手の送付）等が考えられます。ただ海外に多額の現金を持っていくことは大変危険です。また、外資系の銀行で現地に支店がある場合は渡航前に口座開設ができるため便利ですが、銀行口座開設には時間を要する場合があります。現地到着後、口座開設まで使える現金、クレジットカード、トラベルマネーカード、キャッシュパスポート等を持参することをおすすめします。

外貨現金	外国為替取扱銀行で購入できます。現金を持参する場合は、多額になりすぎないように気をつけるとともに、人目にふれる場所に置かず、スリ等の危険にも注意しましょう。
クレジットカード	身分証明にもなり便利です。ただし、紛失や使い過ぎ、カード犯罪等に十分に注意する必要があります。また、万一紛失した際に即時に利用停止手続きができるよう、カード番号やカード会社の緊急連絡先を別に控え保管しておきましょう。地域によっては利用できないカードもあるため、事前に留学先国において利用可能か調べることが重要です。
トラベルマネーカード キャッシュパスポート	事前に入金して利用するプリペイドタイプのカードで、留学先のATMで現地通貨を引き出すことができ、デビットカードとしても利用できます。入金した額だけ利用できるため、使い過ぎや紛失の際にも安心です。また、残額が少なくなったら、日本の家族等に追加で入金してもらうこともできます。
現地で口座開設 (海外送金)	留学先において口座を開設し、日本の口座から海外送金することができます。送金するルートは次のような方法があります。受取銀行への仲介手数料や口座登記料が別途かかる場合があります。 【銀行からの外国向け送金方法】 電信送金（Telegraphic Transfer） 銀行窓口での手続きのほかインターネットバンキングにより送金できる場合もあります。手数料は割高です。基本的には銀行手数料は送金人負担となります。 【ゆうちょ銀行および国際送金取扱郵便局からの外国向け送金方法】 口座あて送金／口座間送金があります。 詳細は、ゆうちょ銀行HPで確認しましょう。 ※個人番号（マイナンバー）の届出等が必要な場合があります。事前に必要書類を確認し、余裕をもって手続きを行いましょう。
海外送金サービス	Wise、PayPal、Western Unionなどのサービスを利用した海外送金も可能です。手数料、為替レート、必要な書類（マイナンバーカード等）が異なりますので、ご自身で比較検討してから決めてください。

8. 渡航日程の届け出

留学先に渡航する日程や利用する航空会社が決まり次第、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。



留学時の学納金の取り扱い

1. 長期留学中の本学への学納金（参考）

交換留学（協定校の授業料が免除の場合）

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	380,000円	380,000円	760,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	526,800円	526,000円	1,052,800円	

交換留学（協定校に授業料を納付する場合）、または認定留学の場合

内訳	春学期	秋学期	年額	
授業料	0円	0円	0円	
施設設備費	140,000円	140,000円	280,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
学生教育研究 災害傷害保険料	800円	0円	800円	毎年春学期に納入
父母の会年会費	6,000円	6,000円	12,000円	2回に分納（春学期・秋学期）
合計	146,800円	146,000円	292,800円	

上記以外に、獨協大学が指定する海外旅行保険に加入する必要があります。また、留学先でも別途保険加入を義務づけている場合があります。留学先大学が現地の保険加入を義務づけている場合、本学が指定する海外旅行保険の低補償プランを利用できることもあります。補償内容が異なりますので、詳細は35周年記念館1階にある同窓会事務室（保険手続き窓口）で十分に確認してください。

2. 本学からの学納金納付案内のスケジュールについて

留学期間中の学納金の納付は以下の通りです。不明な点は、会計課までお問い合わせください。

Web口座振替（金融機関・ゆうちょ銀行）制度による納入 （※振替日前の個別案内なし）	学期	Web画面によるオンライン手続き締切日	口座振替日
	春学期	3月20日	4月12日
秋学期	8月20日	9月12日	
銀行振込による納入	学期	振込用紙の発送予定日	納入期限
	春学期	4月1日	4月末日
	秋学期	9月1日	9月末日

※高等教育の修学支援新制度に申込をされている方は、Web口座振替をご利用いただけません。

学納金に関する詳細は、以下のHPで確認することができます。

<https://www.dokkyo.ac.jp/about/openinfo/activity2/payment.html>



留学中に行うこと

留学先に到着したら、以下の手続きを順に行ってください。

1. 在留届の提出

入国後、現地大使館または総領事館に在留届を提出してください（オンライン登録も可）。

2. 連絡先等の届け出（住所連絡・変更届）

留学先の住所、電話番号、携帯電話、Eメールアドレス、在留届登録日等を、到着後1週間以内にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。

3. 履修報告の届け出（履修報告届）

各学期の履修登録期間終了日から1週間以内にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。

4. 中間報告書を提出する（所定様式）

最初の学期終了後1ヶ月以内に、学習・生活状況について、中間報告書（所定様式）を以下の学部・学科別メーリングリスト宛にメール送信してください。中間報告書は長期留学中の学生の学習・生活状況を大学側で把握するために保管するとともに、次期留学予定の学生に公開することがあります。

【学部・学科別メーリングリスト】

（国際交流センタースタッフに加え、関連教員、教務課スタッフが情報共有できるようになっています）

ドイツ語学科学生	ryugaku1@ml.dokkyo.ac.jp
英語学科学生	ryugaku2@ml.dokkyo.ac.jp
フランス語学科学生	ryugaku3@ml.dokkyo.ac.jp
交流文化学科学生	ryugaku7@ml.dokkyo.ac.jp
言語文化学科学生	ryugaku4@ml.dokkyo.ac.jp
経済学部学生	ryugaku5@ml.dokkyo.ac.jp
法学部学生	ryugaku6@ml.dokkyo.ac.jp
大学院生	a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp

※「中間報告書」とは別に、留学中に相談事や問題がある場合は、国際交流センターにメールしてください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。個人的な相談は、直接担当者に連絡してもかまいません。

また、Zoomによる面談も実施します。

5. 帰国連絡の届け出（帰国日程届）

留学先大学の学期終了後（期末試験終了後）は速やかに（遅くとも1ヶ月以内に）帰国するスケジュールを組み、帰国予定日1ヶ月前までを目途に、PorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）で入力してください。

万が一、出発前に加入した、大学指定の海外旅行保険の期間を過ぎて帰国する場合は、保険の延長手続きが必要となります。

詳細は大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし手続きを進めてください。

国際交流 > 留学制度 > 留学予定・留学中・帰国学生へ > 留学期間の延長 > 海外旅行保険の延長手続き



留学後に行うこと

留学を終了して帰国したら、以下の手続きを順に行ってください。

1. 各種書類の提出（国際交流センター）

国際交流センター HP（留学制度＞留学予定・留学中・帰国学生へ＞帰国後の手続き）にアクセスし、帰国後1ヶ月以内*に次の書類を提出してください。以下4点の書類提出をもって留学が終了したとみなされますので、交換・認定留学生とも、必ず提出してください。*留学成果報告書を除く

留学終了届	保健センターで健康診断（復学者健診）を受け、所定の欄に確認印をもらってください。この健康診断受診は、原則として学校医（内科）の来校日となりますので、詳細や日程は保健センターに確認してください。 教務課に帰国の報告を行い、所定の欄に確認印をもらってください。 保健センター、教務課の確認印を得た上で、国際交流センターに提出してください。
留学アンケート	国際交流センター内の閲覧資料として活用します。留学を希望する学生にとって貴重な情報源となりますので、できるだけ詳しく記入してください（原則、氏名を伏せて公表）。 所定書式への入力後、メールによる提出可。
留学体験記と写真	国際交流センター内の閲覧資料および次年度発行の「獨協大学留学ガイド」に体験記を掲載します。体験記（ワード文書にて1,500文字程度）を作成し、写真数枚とともに国際交流センターにデータ送信してください（a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp）。 また、体験記の掲載にあたっては、紙面の都合により編集する場合があります。あらかじめご了解ください。 *提出原稿は、「留学ガイド」以外の獨協大学の刊行物に掲載する場合があります。
留学成果報告書	留学統計資料の一つとして大学HP等で公表します（原則、氏名は伏せて公表）。 事後研修参加後、1週間以内にP.77に記載の【学部・学科別メーリングリスト】宛に提出してください。*事後研修に参加していない認定留学生も提出は必須。

「留学終了届」「留学アンケート」はPorTaⅡダウンロードセンターよりダウンロード（留学支援＞留学関連提出書類＞留学終了時提出書類）、「留学成果報告書」は所定様式をメール添付にて配布

2. 単位認定に関する書類、資料の提出（教務課）

出発前の個人面談での指示のもと、単位の認定に関する諸手続きを確実に行ってください。

3. その他手続き（就職・奨学金・資格課程等）

就職指導、奨学金受給再開（留学による中断がある場合）、資格課程等については、関連する窓口に行き、速やかに必要な手続きを済ませてください。特に帰国後すぐに就職活動を予定している場合は、留学前・帰国後ともに、キャリアセンターでガイダンスを受けてください。

4. 事後研修（交換留学生は参加必須）

交換留学生は以下の日程で行われる事後研修に参加することが必要です。国際交流センターからの案内に従い、必ず参加してください。認定留学生も参加を強く推奨します。

事後研修内容等（予定）

日時・内容・対象		春学期留学終了者 (帰国時期 5月～7月)	秋学期留学終了者 (帰国時期 11月～3月)
第1回	留学の振り返り	2023年9月2日(土) 13:35～16:35	2024年2月24日(土) 13:35～16:35
第2回	留学後の学修計画のブラッシュアップ	2023年9月9日(土) 13:35～15:35	2024年3月2日(土) 13:35～15:35

5. 語学検定試験の受験（交換留学生は受験必須※）

留学の成果を測定するため、交換留学生には、原則として留学終了後に語学検定試験を受験することが義務づけられています。これは、言語運用能力の向上を客観的に評価し、留学を考えている学生に対してモデルケースとして示すことを目的としています。またその結果は自身の留学後の就職活動や進学準備等にも役立てることができますので、交換留学終了後、速やかに受験申込をし、受験後はスコアレポートを提出してください。

※交換留学生については下記の語学検定試験の受験料に関し、1人につき1回分の受験料を全額補助します（受験料の支払いにかかる振込手数料、交通費等は自己負担）。

【補助の対象および範囲】

- 留学前に受験したものと同一の試験を受験してください（英語については原則としてTOEIC受験とするが、海外への進学希望者に限りIELTS、TOEFL iBT® の受験も可とする）。
- 試験がレベル別の場合、留学出願時より1ランク以上上のレベルを申し込んでください。
- 留学先の留学期間終了日から起算し、6ヶ月以内に受験した語学検定試験を原則として対象とします。
ただし、6ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合、または、留学期間中に1ランク以上上の語学検定試験を受験するに足る能力を有していると自己判断し、かつ留学先での受験を希望する場合は、事前に国際交流センターに相談してください。国際交流センターが補助対象として適切と判断した場合は、受験料補助の対象とします。

対象試験

言語	試験名称	受験費用（参考）
ドイツ語	Goethe-Zertifikat	25,500円～34,500円
英語	TOEIC® *	7,810円
	IELTS™	25,380円
	TOEFL®	iBT 245 USD ITP 4,000円
フランス語	TCF	15,000円
	DELF/DALF	14,900円～26,000円
	実用フランス語技能検定試験	9,000円～13,500円
スペイン語	DELE	14,900円～20,700円
	スペイン語技能検定	8,000円～12,000円
中国語	HSK	7,920円～11,550円
	中国語検定	7,800円～11,800円
韓国語	韓国語能力試験（TOPIK II）	6,000円
	「ハングル」能力検定	6,300円～10,000円

※留学前に受験したTOEFL® またはIELTSの結果とCEFRで比較
注：上記の受験費用は、実施団体により改訂される場合があります。

【補助申請手続】

	手続内容
受験前	各自、該当試験の受験申込を行う。以下の場合は、申込前に国際交流センターに相談してください。 <ul style="list-style-type: none"> • 留学終了後6ヶ月以内に受験を希望する試験が実施されない場合 • 帰国前に留学先での受験を希望する場合
受験後	スコアレポート到着後、1ヶ月以内に以下3点を国際交流センターに提出してください。 ①「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」 ②語学検定試験受験料の領収書原本 ③試験結果のスコアコピー ※1 WEB申込等でクレジットカード払いのため領収書が発行されない場合、カード会社発行の利用明細書原本および受験者氏名、試験名、受験日、受験費用が分かる書類を提出してください。返却不可につき、必ず控えをとってください。 ※2 外貨で現金払いの場合、換算レート基準日は、領収書の発行日にかかわらず「留学後の語学検定試験受験料補助申請書」を国際交流センターが受領した日とします。 ※3 レベル別の試験の場合、万一不合格となった場合でも申請可とします。
受験料支給	原則として書類提出の翌月末までに、奨学金振込口座として指定した口座に獨協大学が振り込みます。

長期留学により修得した単位の認定について

概要	<p>「学生国外留学により修得した単位の認定に関する細則」の第6条により、交換または認定留学期間中に留学先大学等で修得した単位については、学部教授会の承認を得て、在学期間を通じて合計32単位を限度として、大学院にあっては大学院研究科委員会の承認を得て、10単位を限度として認定することができます。</p>
認定の流れ	<p>(1) 帰国後、速やかに必要書類（各学科のページ参照）を教務課各学部係へ提出します（郵送は不可）。</p> <p>(2) 提出された書類を教務課でチェックします。</p> <p>(3) 各学部・学科で審査します。</p> <p>(4) 教務委員会および各学部教授会で承認されれば単位が認定されます。</p>
認定の種類 (振替と換算)	<p>「振替」 留学先大学で修得した科目の学修時間数と学修内容を検討し、本学の開設科目の中に類似した科目がある場合は、本学の科目を修得したものと見なします。</p> <p>「換算」 留学先大学で修得した科目の内容が学修効果の上で本学の卒業に必要な単位として含めることができるが、それに類似した科目が本学に開設されていないか、あるいは類似した科目をすでに修得している場合に、その単位を選択科目の分野を修得したものと見なし認定します。</p> <p>振替と換算については、単に学生が留学先大学で修得した科目の内容ばかりでなく、既修科目や現在履修中の科目の状況等を考慮して、教務委員あるいは、演習担当教員およびクラスアドバイザーが協議のうえ、個々に判断されます。詳細は教務課各学部係窓口（大学院生は大学院事務室）で相談してください。</p>
算定基準	<p>本学学則第22条を原則とし、留学先で修得した科目の授業時間数に基づいて、本学で単位として認定します。</p> <p>なお、授業時間数については、各大学の制度とともに留学先で修得した科目の「科目内容、授業形態、難易度、成績、修得単位数等」を考慮して審査します。</p> <p>また留学中に修得した科目を本学の科目として認定できるのは、本学が留学生として認定した期間に修得した科目に限られます。</p> <p>成績証明書・通知表には留学の記録（留学年度、長期留学〔交換・認定〕、留学先大学名）と認定された科目名および評価「P」（認定）が表示されます。</p>
認定日	<p>所定の手続き・審査を経て、各学部教授会で承認された日が認定日となります。</p>
4年生への注意	<p>留学終了と同時に卒業を希望する場合、出発前の教務課ガイダンスで「希望」を伝えるとともに必要な手続きとスケジュールをよく確認してください。</p> <p>3月卒業→2月20日までに単位認定の手続きを完了させること</p> <p>9月卒業→8月20日までに単位認定の手続きを完了させること</p> <p>※教職課程および日本語教員養成プログラム履修者は、出発前に担当係で指導を受けてください。</p>
問い合わせ先	<p>単位の認定に関する問い合わせ先は、教務課各学部係です。</p> <p>外国語学部係 a-kyoumu2@stf.dokkyo.ac.jp 国際教養学部係 a-kyoumu5@stf.dokkyo.ac.jp 経済学部係 a-kyoumu3@stf.dokkyo.ac.jp 法学部係 a-kyoumu4@stf.dokkyo.ac.jp</p>



<p>ドイツ語学科で認定される科目</p>	<p>(1) 外国語科目群 (2) 演習科目群 (3) 概論・専門講義・テキスト研究科目群 * 専門演習は、留学期間に応じて最大4単位まで認定できます。 * 英語による授業（講義・演習）は最大10単位まで認定できます。 * ドイツ語圏の大学で行われる外国人留学生向けの語学コースや、大学付属の語学学校における授業で、B2レベル以上のものを受講し、成績証明書または修了書を取得した場合、外国語学科科目群のうち「初級・中級ドイツ語」および「上級ドイツ語」部門の科目（ただし交換留学・認定留学に出発する前に修得すべき必修科目10単位を除く）として認定できます。 上記については、留学期間に応じて各学期にB2レベルであれば10単位まで、C1レベル以上であれば16単位まで認定するものとします（教授言語はドイツ語に限る）。 * 科目特性表に準じますので、熟読してください。 詳細については、ガイダンスで説明します。</p>
<p>ドイツ語学科で認定されない科目</p>	<p>日本学（Japanologie）および語学としての英語の授業は、認定の対象としません。 また、以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 「交流文化論」 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目
<p>必要書類</p>	<p>(1) 「単位の認定・換算願」（教務課で配付） (2) 成績証明書（修得単位の記されたもの） (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 認定を希望する科目の講義概要（シラバスなど） • 授業のノート（ノートを清書した場合はオリジナルも提出） • 提出したレポート（口頭発表などの場合は、その原稿を提出） • 授業時に配付された資料 • 講義の時間数が確認できる資料（Vorlesungsverzeichnisあるいはそれに該当する資料）
<p>単位認定のプロセス</p>	<p>教務課で提出書類のチェック→教務委員による審査（必要に応じて面談）→ドイツ語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会</p>



外国語学部 英語学科生

留学制度
長期留学

英語学科で 認定される科目	英語を教授言語とする学部教育課程で修得した単位が認定の対象になります。 通常、英語を教授言語とする学部教育課程で履修する科目には、内容によって以下の表のような番号が振られています。その番号により本学のどの範囲の科目に認定できるかが決定します。留学先の国や大学により番号が異なりますので、留学をする前に必ず演習担当教員（またはクラスアドバイザー）と教務委員に単位認定の可能性について確認してください。		
	認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国、カナダ	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリア、カナダ
	学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語	100番台相当以上	100／1000番台相当以上
	学科専門科目 (特殊講義、文献セミナーを除く)	200番台相当以上	200／2000番台相当以上
	特殊講義、文献セミナー、 特別セミナー、演習	300番台相当以上	200／2000番台相当以上
	<p>ただし、第二外国語、演習については次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第二外国語…本学で第二外国語科目が未修得の場合のみ認定できます。 ● 演習…申請時において3年生以上を認定対象とします。留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します。 		
英語学科で 認定されない科目	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の科目 ・他学科の科目 ・外国語学部共通科目 ・「交流文化論」 ・免許課程科目 ・全学共通授業科目（第二外国語を除く） 		
必要書類	<p>(1) 「単位振替・換算願」(教務課で配付)</p> <p>(2) 成績証明書 (評価基準が記載されたものを含む) 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。</p> <p>(3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、講義概要 ・授業時間数が明記された文書 ・教科書、ノート、レポート等授業内容が確認できるもの 		
単位認定の プロセス	<p>教務課によるチェック→演習担当教員による審査*→教務委員による審査→英語学科教授会 →教務委員会→外国語学部教授会</p> <p>*演習が決定していない場合は、原則として教務委員による審査となります。</p>		



フランス語圏への留学

認定される科目	<p>(1) 単位認定対象となる留学先は、大学または大学付属の語学学校に限られます。 (2) フランスの大学も通常、1年を2学期に分けて授業を行っています（一般的には、10月～1月、2月～5月・6月）。大学の学部へ留学する場合、1学期16単位まで単位認定することができます。大学付属の語学学校の場合、各学期の初めにクラス分けのためのテストが実施され、その結果で授業を受けるクラスが決まります。単位認定を受けるためには中級以上に入らなければなりません（初級クラスの場合は、認定対象となりません）。どのレベルのクラスで授業を受けるかによって、帰国後に本学で「単位認定」を受ける際に、申請できる単位の上限も違ってきます。下記の表を参考にしてください。</p>												
	<p>留学中の獨協大学の1学期あたりに認定できる単位数の上限</p>												
	初級 (A1/A2)	認定できません											
	中級 (B1/B2)	10単位まで											
	上級 (C1/C2)	16単位まで											
<p>〈例〉1学期目中級→2学期目上級：10+16=26単位まで 1学期目初級→2学期目中級：0+10=10単位まで</p>													
<p>単位認定の一例</p>													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>留学先大学の授業科目</th> <th>獨協大学の授業科目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Compréhension et expression orales</td> <td>「総合フランス語」や「フランス語会話」</td> </tr> <tr> <td>Expression écrite</td> <td>「フランス語文章表現法」など</td> </tr> <tr> <td>Compréhension écrite</td> <td>「フランス語コミュニケーション講読」や「フランス芸術文化講読」</td> </tr> <tr> <td>Littérature</td> <td>「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」</td> </tr> <tr> <td>Economie</td> <td>「フランスの政治経済*」や「フランス現代社会講読」</td> </tr> </tbody> </table>	留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目	Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」	Expression écrite	「フランス語文章表現法」など	Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」や「フランス芸術文化講読」	Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」	Economie	「フランスの政治経済*」や「フランス現代社会講読」
留学先大学の授業科目	獨協大学の授業科目												
Compréhension et expression orales	「総合フランス語」や「フランス語会話」												
Expression écrite	「フランス語文章表現法」など												
Compréhension écrite	「フランス語コミュニケーション講読」や「フランス芸術文化講読」												
Littérature	「フランス芸術文化各論」や「フランス芸術文化講読」												
Economie	「フランスの政治経済*」や「フランス現代社会講読」												
<p>※2019年度入学者より「フランスの政治」「フランスの経済」となる</p>													
フランス語学科で認定される科目	<ul style="list-style-type: none"> • 学科基礎科目 • 学科共通科目 • 学科専門科目 • 演習 • 全学共通授業科目の英語 												
フランス語学科で認定されない科目	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他学部の科目 • 他学科の科目 • 外国語学部共通科目 • 「交流文化論」 • 免許課程科目 • 全学共通授業科目（英語は認定可能） 												
必要書類	<p>(1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付） (2) 「ディプローム (diplôme)」、「成績証明書」の原本 (3) 審査資料</p> <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のパンフレット、シラバス、講義概要 • 時間割表（授業時間数が明記されたもの） • 教科書、ノート、プリント等授業内容が確認できるもの 												
単位認定のプロセス	<p>教務課によるチェック→演習のみ演習担当教員による審査→教務委員による審査→フランス語学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会</p>												

フランス語圏以外への留学

単位認定の対象となりません。



外国語学部 交流文化学科生

留学先で修得した単位が、全て認定の対象になるわけではないので、留学の準備段階、また現地での履修登録の段階で、本学の指導教員と十分に相談をしてください。

英語圏への留学

大学で専門教育を受けることを目的とします。語学学校や大学附属の英語学校で留学生用に開設されている英語科目の単位は認定されません。

- 交流文化学科で認定される科目とその範囲
- (1) 学科基礎科目
 - (2) 学科共通科目
 - (3) 学科専門科目
 - (4) 全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門（英語以外）
（第二外国語（英語プラス1言語）として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ）
 - (5) 演習（3年生以上のみ、留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します）

なお、英語圏の大学では、履修する科目に、内容によって以下の表のような番号が振られることが一般的です。その番号により、本学ではどの範囲の科目に単位認定できるかが決まります。留学先の国や大学により科目番号の振り方が異なる場合もありますので、履修にあたっては、科目の内容を指導教員とよく相談してください。

認定可能な科目	4年制の学士課程 〈例〉アメリカ合衆国など	3年制の学士課程 〈例〉英国、オーストラリアなど
学科基礎科目、学科共通科目、 第二外国語（英語プラス1言語）*	100番台相当以上	100/1000番台相当以上
学科専門科目	200番台相当以上	200/2000番台相当以上
演習	300番台相当以上	200/2000番台相当以上

* 認定を希望する科目のレベルにより、内容から判断します。

- 交流文化学科で認定されない科目
- 以下の科目の単位としては認定できません。
- 他学部の科目
 - 他学科の科目
 - 外国語学部共通科目
 - 免許課程科目
 - 全学共通授業科目（第二外国語（英語プラス1言語）は除く）

- 必要書類
- (1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付）
 - (2) 成績証明書（評価基準が記載されたものを含む）
原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課へ相談。
 - (3) 履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの
 - (4) その他（授業内容が確認できる資料）
 - シラバス、講義概要等
 - 教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等
 履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。

単位認定のプロセス

教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会

英語圏以外への留学	
<p>大学で専門教育を受けること、また、大学および大学と同等の単位認定資格を持つ高等教育機関で語学教育を受けることを目的とします。</p>	
<p>交流文化学科で認定される科目とその範囲</p>	<p>(1) 学科基礎科目 (2) 学科共通科目 (3) 学科専門科目 (4) 全学共通授業科目 外国語科目群外国語部門（英語以外） （第二外国語（英語プラス1言語）として履修している言語で、単位が未修得の科目のみ） (5) 演習（3年生以上のみ、留学期間が半年で最大2単位、1年以上で最大4単位までを認定します）</p>
<p>交流文化学科で認定されない科目</p>	<p>以下の科目の単位としては認定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他学部の科目 ・他学科の科目 ・外国語学部共通科目 ・免許課程科目 ・全学共通授業科目（外国語科目群外国語部門（英語以外）は除く）
<p>必要書類</p>	<p>(1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付） (2) 成績証明書（評価基準が記載されたものを含む） 原則として原本とするが、原本を提出することができない場合は教務課に相談。 (3) 履修科目の時間数および単位数を証明する文書またはそれにかわるもの (4) その他（授業内容が確認できる資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス、講義概要等 ・教科書、ノート、レポート、授業での発表原稿、ポートフォリオ等 <p>履修と学習の状況をあわせて確認するため、直筆ノートやPCによるメモ、配布資料への書き込みなどがわかる資料を留学中にしっかり保存し、できるだけ提出してください。</p>
<p>単位認定のプロセス</p>	<p>教務課によるチェック→指導教員による審査→教務委員による審査→交流文化学科教授会→教務委員会→外国語学部教授会</p>



英語・スペイン語・中国語・韓国語圏への留学	
概要	<ul style="list-style-type: none"> □ 長期留学の単位認定は、所定の手続に従って標記言語圏にある大学および英語圏を除く大学附属の語学学校に留学し、単位を修得した場合に限り取り扱います。 □ 単位認定を希望する学生は帰国後、所定の手続に従い教務課に申請してください。 □ 単位認定の種類は「振替」または「換算」のいずれかです。所定の手続きを経て、適当と認められた場合に認定を行います。 □ 認定できる単位の数には上限があります。
振替	<ul style="list-style-type: none"> □ 国際教養学部では、留学先大学等で修得した単位について、その科目が「学科基盤科目」、「外国語科目」、「各研究科目」のいずれかの部門に属する科目、または「演習」に類似し、かつ本学で単位未修得の場合、これらの科目への振替を受け付けます。 □ 他方、「卒業研究」、「卒業論文」、「全学共通授業科目」、「他学部開設科目」、および「免許課程科目（教科法を含む）」への振替は受け付けません。これらの科目は本学で履修のうえ、単位を修得してください。 □ 国際教養学部教授会が単位の振替を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「振替科目名」と「P」が記載されます。
換算	<ul style="list-style-type: none"> □ 国際教養学部では、振替の対象とならない単位について換算を受け付けます。 □ ただし、外国語科目（英語およびスペイン語・中国語・韓国語）で必修科目または選択必修科目に相当する単位の換算は受け付けません。 □ 国際教養学部教授会が単位の換算を認定したときは、本学の成績証明書の科目欄に「換算科目」と「P」が記載されます。
必要書類	<ul style="list-style-type: none"> □ (1) 「単位振替・換算願」（教務課で配付） □ (2) 「成績証明書」の原本 □ (3) 審査資料 <ul style="list-style-type: none"> • 留学先のパンフレット、シラバス・講義概要（授業内容のわかるもの） • 時間割表（授業時間数が明記されたもの）、学事日程表 • 教科書、ノート、プリント、レポート等授業内容が確認できるもの
単位認定のプロセス	<ul style="list-style-type: none"> □ 教務課によるチェック→教務委員および関係する科目担当の教員による審査→教務委員会→学部教授会

英語・スペイン語・中国語・韓国語圏以外への留学
<p>留学を希望する場合は、あらかじめ演習指導教員および教務課に相談してください。</p>



経済学部生

経済学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

認定される科目	学部基礎科目（2018年度以前に入学した者は「学部共通科目」） 学科基礎科目 学科専門科目 全学共通授業科目 演習										
認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 ・教職関連科目（2018年度以前に入学した者は「関連専門科目」）部門にある科目 ・他学部の科目 ・免許課程科目										
出発前	<p>留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課経済学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙1枚、様式自由）。</p> <p>(1) 学部学科、学年、学籍番号、氏名 (2) 留学先大学、留学期間、留学の種類（交換・認定の別） (3) 単位認定希望の有無 (4) 留学出発予定日、獨協大学で履修を再開する年月日 (5) 単位認定を希望する場合、以下の事項（単位認定しない場合は不要）</p> <p>①留学先での専攻・コース名等 ②留学中の連絡先（確実に連絡の取れるメールアドレスおよび日本の連絡先） ③留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">外国での履修予定科目 (原文のまま)</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 20%;">総授業時間数 分×回=分</th> <th style="width: 20%;">獨協大学での 振替希望科目</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>212 International Economics</td> <td>8</td> <td>60分×48回=2880分</td> <td>国際経済学 a 国際経済学 b</td> <td>2 2</td> </tr> </tbody> </table>	外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位	212 International Economics	8	60分×48回=2880分	国際経済学 a 国際経済学 b	2 2
外国での履修予定科目 (原文のまま)	単 位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単 位							
212 International Economics	8	60分×48回=2880分	国際経済学 a 国際経済学 b	2 2							
留学中	<p>単位認定を希望する場合、留学先大学の履修登録が決定した後に、あらためて上記(5)①②③等を教務課経済学部係へ速やかにメール報告してください。 教務課経済学部係：a-kyoumu3@stf.dokkyo.ac.jp</p> <p>出発前の提出内容と変更がない場合も報告してください。なお、帰国後の単位認定審査（面接・書類審査）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。 なお、単位認定を希望しない場合、留学中の報告は不要です。</p>										
帰国後	<p>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて教務課経済学部係に提出し、単位認定申請手続きを行ってください（単位認定を希望しない場合は不要）。</p> <p>(1) 「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課経済学部係で配付） (2) 「成績証明書」（原本） ※評価基準が記載されたもの (3) 審査資料 ①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料 ②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの (審査時に追加資料の提出を求める場合があります)</p>										
単位認定のプロセス	<p>(1) 教務課で提出書類のチェック→教務主任、学科長、学部長による審査（必要に応じて面接） ※審査により、単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します（授業内容・時間数により認められない場合があります）。</p> <p>(2) 審査の結果、教務主任により単位認定申請が認められた場合、教務委員会→経済学部教授会の順で承認</p>										



法学部生

法学部の学生は、留学先の言語圏にかかわらず、次の通り認定されます。

留学制度
長期留学

法学部で認定される科目	法学部専門科目に振り替えられる科目														
法学部で認定されない科目	以下の科目の単位としては認定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 学則別表の「関連」部門にある科目（2018年度以前入学者） • 全学共通授業科目 • 他学部の科目 • 免許課程科目 														
出発前	<p>留学が決定した場合、単位認定希望の有無にかかわらず、必ず事前に教務課法学部係窓口へ来課し、次の事項を書面で報告してください（A4用紙1枚、様式自由）。</p> <p>(1) 学部学科、学年、学籍番号、氏名 (2) 留学先大学、留学期間、留学の種類（交換・認定の別） (3) 単位認定希望の有無 (4) 留学出発予定日、獨協大学で履修を再開する年月日 (5) 単位認定を希望する場合、以下事項の予定（単位認定しない場合は不要）</p> <p>①留学先での専攻・コース名等 ②留学時の連絡先（確実に連絡の取れるメールアドレス、日本の連絡先） ③留学先での履修予定科目、単位数、総授業時間数と獨協大学で振替を希望する科目名と単位数（表形式、下記例参照）</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>外国での履修予定科目 (原文のまま)</th> <th>単位</th> <th>総授業時間数 分×回=分</th> <th>獨協大学での 振替希望科目</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GV214 International Relations</td> <td>8</td> <td>60分×48回=2880分</td> <td>国際関係史 a 国際関係史 b</td> <td>2 2</td> </tr> </tbody> </table>					外国での履修予定科目 (原文のまま)	単位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単位	GV214 International Relations	8	60分×48回=2880分	国際関係史 a 国際関係史 b	2 2
外国での履修予定科目 (原文のまま)	単位	総授業時間数 分×回=分	獨協大学での 振替希望科目	単位											
GV214 International Relations	8	60分×48回=2880分	国際関係史 a 国際関係史 b	2 2											
留学中	<p>単位認定を希望する場合、留学先大学の履修登録が決定した後に、あらためて上記（5）①②③等を教務課法学部係へ速やかにメール報告してください。 教務課法学部係：a-kyoumu4@stf.dokkyo.ac.jp</p> <p>出発前の提出内容と変更がない場合も報告してください。また、帰国後の単位認定審査（面接・書類審査）に備えて、必要書類の収集・保管を心がけてください。 なお、単位認定を希望しない場合、留学中の報告は不要です。</p>														
帰国後	<p>単位認定を希望する場合、帰国後速やかに以下の必要書類を揃えて教務課法学部係に提出し、単位認定申請手続きを行ってください（単位認定を希望しない場合は不要）。</p> <p>(1) 「留学により修得した単位の認定・振替願」（教務課で配付） (2) 「成績証明書」（原本） ※評価基準が記載されたもの (3) 審査資料 ①シラバス、講義概要、授業時間割表、授業時間数が明記された資料 ②教科書、ノート、レポートほか、授業内容が確認できるもの （審査時に追加資料の提出を求める場合があります）</p>														
単位認定のプロセス	<p>(1) 帰国後、教務課で提出書類のチェック→学部長・学科長・教務主任による審査（書類審査、必要に応じて面接も実施） ※審査により、単位認定・振替を希望する各科目の認定・振替可否を決定します（授業内容・時間数等により認められない場合があります）。</p> <p>(2) 審査により単位認定申請が認められた場合、教務委員会→法学部教授会の順で承認</p>														

これまで受けた問合せの中で特に多いものを、Q&Aの形でまとめました。



単位の認定

- Q1. 留学中に修得した単位は32単位までしか獨協大学での単位として認められないそうですが、それは留学中にそれ以上の単位を履修することができないということですか？**
- A1. 学部生については32単位まで、大学院生については10単位まで、本学の単位として認定することができます。留学先の許可があれば、何科目（単位）でも履修できますが、本学では上限を超える単位の認定はできません。なお、在留資格の関係上、学期ごとに最低履修科目（単位）数が定められている場合があるので注意してください。
- Q2. 昨年度、休学して外国の大学で勉強し、単位を修得することができました。今からでもこれを獨協大学の単位として認めてもらえますか？**
- A2. 休学して留学した場合は認められません。単位の認定は交換・認定留学生として認められた場合に限りられます。本学を休学して渡航した後、大学への入学資格を得ることができた場合は、身分の変更（休学から認定留学）を申請することができます。しかし、この場合でも、遡っての身分変更はできません。休学から認定留学への変更を申請する場合は、申請期限に間に合わせるために早急に国際交流センターと連絡をとり、その指示に従ってください。（出発前に国際交流センターおよび教務課で相談をし指導を受けていること、「危機管理セミナー」に出席していることが申請の条件となります。）
- ※休学から認定留学への切り替え申請については、P.65を参照。
- Q3. 1年間留学して、4年間で卒業できますか？**
- A3. 交換・認定留学では、海外の大学での修得単位のうち32単位を上限として卒業要件単位へ振替・換算することができます。したがって4年間で卒業することも可能ですが、振替・換算される単位数や卒業要件の関係で、卒業まで4年以上かかる場合もあります。卒業までの履修スケジュールについては、教務課各学部係によく相談してください。



履修と卒業

- Q1. 教職課程を履修していますが、教育実習はどのように行えばよいですか？**
- A1. 教育実習を行うには、実施前年度に教育実習校の開拓が必要です。また教育実習実施までに実習要件科目等^{*}の要件を満たさなければなりません。
- ※英語学科、交流文化学科、言語文化学科（実習教科：英語）の学生は教育実習前年度末までに英語資格要件の証明書の提出が求められます。
- 中学校の教育職員免許状取得には、教育実習のほかに介護等体験が義務づけられています。実施前年度の秋学期に申し込み、特別支援学校および社会福祉施設で指定の日（合計7日間）に体験します。
- 上記のとおり、留学時期によって、各種手続きに支障がないよう計画する必要があります。
- 留学を検討する段階から必ず教務課免許課程係に相談してください。
- Q2. 3学年の秋学期から留学して4学年の春学期終了後に帰国する場合、卒業見込証明書は発行してもらえるのでしょうか？**
- A2. 「卒業見込証明書」は、留学終了届を国際交流センターに提出し、所定の要件を満たせば発行できます。詳細については、教務課各学部係にお問い合わせください。



留学中の学生生活

Q1. 留学継続が困難になり帰国しなければならない場合、どのような扱いになりますか？

- A1. 留学期間の途中で留学を中止して帰国する場合、留学を中止した理由や帰国の時期によって扱いが異なりますので、帰国しなければならない場合は速やかに国際交流センターに連絡し、指示を受けてください。学業不振やカルチャーショック等は改善される可能性もあります。どうしても帰国しなければならない状況に陥る前に、困ったことがある場合はできるだけ早く国際交流センターに相談してください。
- なお、交換留学生や認定留学生対象の奨学金、研修費補助の給付を受けていた場合、原則として全額返還していただきます。

Q2. 外国の大学の学期制について教えてください。

- A2. 以下に主要国の学期制度について簡単に説明します。詳細は留学を希望する大学のパンフレット等で確認してください。

ドイツ オーストリア スイス	2学期制です。ドイツの場合、冬学期は10月～3月、夏学期は4月～9月、オーストリアの場合、冬学期は10月～1月、夏学期は3月～6月となります。ドイツの専門大学やスイスの場合、各学期は1、2ヶ月早く始まり、1、2ヶ月早く終わります。多くの科目が学期ごとに開設されていることから、冬学期または夏学期から1年間という単位で留学することができます。
英国	2学期制は、9月～12月、1月～6月、3学期制は9月～12月、1月～3月、4月～6月に分かれます。
アメリカ	一般に9月から翌年5月までの9ヶ月間が1学年（academic year）となります。6月～8月は夏休みまたは夏学期（summer session / school）です。その1学年（9ヶ月間）を2期に分けるのがセメスター（semester）制で、1年間（12ヶ月間）を夏学期を含む4期に分けるのがクォーター（quarter）制です。1セメスターは17～18週間（秋：8月下旬～12月中旬、春：1月中旬～5月中旬）、1クォーターは11～13週間（秋：9月下旬～12月中旬、冬：1月上旬～3月中旬、春：3月下旬・4月上旬～6月中旬）です。他にも大学独自の学期制度を設けている場合があります。
オーストラリア ニュージーランド	多くは2学期制。第1学期は2月下旬～6月末、第2学期は7月末～11月末です。 ※北半球と季節が逆
カナダ	2学期制を採用している大学が多いです。9月初旬から翌年4月までが1学年となっています。
フランス	一般に約4ヶ月からなる2学期で1学年度が構成されています。第1学期は9月・10月初旬から12月下旬・翌年1月下旬まで、第2学期は1月中旬・2月初旬から5月下旬・6月中旬まで。3学期制の場合は、学校によって異なります。
スペイン	2学期制が多く、秋学期は9月～2月、春学期は2月～7月です。
メキシコ	2学期制が多く、第1学期は8月～12月、第2学期は1月～6月です。
中国、台湾	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月・7月です。語学コースなどでは、4学期制を採用している大学もあります。
韓国	2学期制です。第1学期は3月～6月、第2学期は8月～12月です。
インドネシア	2学期制が多く、第1学期は9月～12月・1月、第2学期は2月～6月・7月です。
チェコ	2学期制です。第1学期は9月～1月、第2学期は2月～6月です。

Q3. 私はこれまで海外経験が一度もありません。海外のトラブルにはどんなことに気をつければよいですか？

A3. よくあるトラブルとしては、次のようなものがあります。

【パスポートの紛失】

海外では命の次に大切なものはパスポートだと言われています。旅券番号と発行年月日のページのコピーを必ず持参しましょう。特に短期留学の場合は、紛失すると翌日から団体行動が取れなくなりますので、十分注意してください。紛失に気づいたら、直ちに最寄りの在外公館で再発給の手続きを取ってください。

パスポートは即時発給ができません。発給までに2週間程度を要します。なお、帰国のための渡航書を受給するには、一般旅券発給申請書の代わりに渡航書発給申請書および日程等が確認できる書類等の提出が必要です。パスポート再発行の手続き方法については、外務省HPで確認してください。

【クレジットカードの紛失】

あらかじめクレジットカード会社の連絡先、カード番号等を控えておきましょう。紛失の際は不正利用を防止するために、一刻も早く連絡してください。

【スマートフォンの紛失・盗難】

特に電子決済機能を利用している場合は、二次被害のリスクが高くなります。決済機能の利用を停止するための連絡先やクレジットカード会社の連絡先などは、スマートフォン内に保存するのではなく、別の場所に控えておくことが大切です。またスマートフォンのメモ機能にIDやパスワードなどの情報を保存していると不正利用される可能性が高くなるので、注意が必要です。

【現金の紛失】

まず戻ってくることはないと思われませんが、最寄りの警察に届けてください。

※その他の注意点については、P.105の「渡航先での注意事項」を必ず参照すること。

Q4. 留学中に休暇を利用して国外に旅行したいと考えています。手続きや注意すべきことを教えてください。

A4. まず、再入国に必要な手続きを、留学先大学の担当者に必ず確認してください。例えばアメリカの場合、滞在許可の有効期限内であっても、再入国の際に留学先大学が発行した書類の提示が必要となります。

また、日本人が短期の観光を目的とした入国をするのに、査証（ビザ）を必要とする国としない国があります。必要とする場合は、査証取得のための申請をしなければなりません。出発前にインターネットなどで情報を集めましょう。

地域によっては単独旅行を控えたほうがよい場合もあります。最近のテロ等の治安情勢を踏まえ、常に最新の「海外安全情報」を入手し、たびレジに登録するとともに身の安全に注意した行動をとるようにしましょう。

なお、留学前・留学中・帰国途中に第三国に渡航する場合や長期間連絡先を変更する場合は、必ず事前にPorTaⅡ（留学支援 > 海外渡航情報入力）に入力して、報告してください。保険加入の際は、帰国途中の旅
行期間もカバーするよう、加入期間を設定してください。

※詳しくは、P.102の「海外旅行保険の加入（必須）」を参照してください。

【コロナ禍での留学生活】

ヒルデスハイム大学から留学開始前の日本でのワクチン接種を推奨されるなど、コロナ感染症の影響による、さまざまな制限のある留学がスタートしました。留学生向けのオリエンテーションもオンラインで開催され、ワクチンのデジタル証明書がなければ、大学のカフェテリアも使用できない状況でした。通常は対面のはずの授業が、突然オンライン授業に変更されることもあり、留学生向けのドイツ語の授業や講義は全てオンラインによる開講となりました。また感染者の急増により、生活ルールもいさなり変わることも多々ありました。ワクチンを接種していたとしても、当日の抗原検査の陰性証明書がなければ、カフェテリアすら利用できない期間もありました。その中で3回目のワクチンをドイツで接種し、その1ヶ月後にコロナ感染症に感染し10日間隔離するなど、2022年3月末頃まではコロナ感染症に振り回される日常でした。



【大学・授業】

私は、文化政策（Kulturpolitik）学科の授業を主に受講していました。冬学期は、ゼミの授業だけは対面で行われており、「文化教育の基礎」と「文化マネージメント」のゼミを履修していました。講師として招かれた文化施設や音楽学校の関係者からお話を聞いたり、教授から毎週配布される資料を各担当者がまとめて発表し、それに対してディスカッションを行いました。最初の頃は、授業についていくのがやっとで、ディスカッションに参加するのが大変でした。しかし同じゼミの学生にノートを見せてもらうなど、助けてもらったおかげで、私の担当回では上手くプレゼンテーションを行うことができました。

【街の様子・生活について】

ヒルデスハイムはニーダーザクセン州にある小さな街で、日本人だけでなくアジア人を見かけることすら、ほとんどありませんでした。ドイツ語を学ぶのには、とても適している場所だと感じました。また冬学期は大学近くの寮、春学期はドイツ人3人とシェアハウス(WG)で生活をしました。4月以降は、コロナ感染症による行動制限も大幅に緩和され、休みの日には友人とSemesterticket（交通機関無料のカード）を利用して、近くの街を散策しました。大学の言語パートナー制度を利用して、現地の学生と日本語とドイツ語を教え合うことも行っていました。

【留学を終えて】

コロナの影響で、冬学期は多くのことが制限され、人とかかわることすら難しいこともありました。しかし、それを理由にドイツ語を使う機会を逃してはいけないと思い、ドイツ人と一緒に暮らしたり、春休みには現地の語学学校に通いました。また、ヒルデスハイム大学の学修のかたわら2022年5月から3ヶ月間、日本語教師として現地の語学学校で日本語の授業を担当する機会を得ることができました。これらの行動を取ったおかげで、たくさんの人と出会い、毎日ドイツ語に触れることができました。そしてドイツ語を通して、多様な価値観、文化を知ることができました。環境や状況にどうしようもなく振り回されることはあるけれど、自分の力でプラスに改善することは可能で、自分の行動に責任を持つことの大切さを、留学を通して学びました。

【アドバイス】

長期留学をしてみたいけれど、語学力や金銭面などさまざまな理由で、行こうか迷っている人も多いと思います。私も実際にこの2つの理由に加え、コロナの影響でそもそも長期留学が実現できるかとても不安でした。しかし諦めずに、たくさんの人の力を借りて、留学を実現させ、最後には納得できる長期留学ができました。長期留学の最初の目的が、ドイツ語を上達させたいや、外国で生活してみたいなどでも良いと思います。ドイツに留学しようという目標があるなら、諦めずにぜひ挑戦してみてください。

アメリカ

ウィスコンシン大学スティーブンス・ポイント校

交流文化学科 S. A.

留学期間：2021年9月～2022年5月

【授業について】

主に人種やエスニシティに関する授業を履修し、さまざまな文化的背景を持った学生や他の留学生と意見交換を行うことができ、興味深い新たな視点を得ることができました。日本でも人種や社会の多様性に関する授業を受けてきましたが、人種格差が表面化し、大きな社会問題となっているアメリカで、それを学ぶことができた意義は大きかったと思います。授業中に活発に発言する学生が多く、ディスカッションやプレゼンテーションの機会を通して、前のめりな学習姿勢にとっても刺激を受けました。また、授業以外の時間でもオフィスアワーに教授を訪れて質問をすると、毎回親身に教えて下さり、学生と教授の距離がかなり近いと感じました。特に最初の頃は、ディスカッションで話の内容を理解して発言したり、多くのレポートに取り組んだりすることに苦労しました。しかし、私の意図を辛抱強く理解しようとしてくれる人や、アドバイスをしてくれる優しい人たちがばかりだったため、なんとか乗り越えることができました。



【生活について】

フランスからの留学生と親しくしていたのですが、彼女のアメリカ人ルームメイトの自宅に私も何度か誘ってもらい、サンクスギビング、クリスマス、イースターといった行事を実際に体験することができました。クリスマスの時にはツリーの近くに大量のプレゼントが並べられていて、日本のクリスマス風景とは少し異なっており、その文化の違いに興味深く感じました。また、長期休みには同じ留学生の友人とニューヨークやボストンに旅行へ行き、同じアメリカでも都会的な雰囲気を楽しむことができました。特に、自由の女神やブロードウェイのミュージカルを見たことが思い出に残っています。帰国前の最後の思い出作りとして、アメリカ人の友だちの家族と本格的なキャンプに行きました。ベッドやバスルーム、キッチンが備えられている大型のキャンピングカーで出かけ、キャンプファイヤーやカヤックをして楽しみました。大自然に触れながら、アメリカでしかできない経験をする事ができたのは、私にとって財産であると感じています。

【留学を終えて】

私にとってこの留学は、全て楽しいことばかりではありませんでしたが、自分を成長させてくれた、かけがえのない経験であったと思います。中でも、一番向上させることができたのはコミュニケーション能力です。最初は間違いを恐れたり、文法的な正しさに囚われすぎたりしたことで、授業でのディスカッションに入っていけなかったり、普段の会話で全く発言できなかったりという日々が続きました。しかし、同じ留学生の友人が自信を持って英語で話す姿を見て、たとえ少し間違った英語でも相手が意味を汲み取ってくれるのだから、正しさよりも相手に伝えたいという気持ちのほうが重要であると考えようになりました。それからは、食事の時に必ず一回は話題を振るというミッションを自分に課したり、相手の話に対するリアクションを増やす努力をしたりしたことで、会話を楽しむことができるようになりました。コミュニケーションには、単に語学力だけではなく、心がけや相手の話に興味を持つ姿勢、質問をする能力なども関わっていることに気づくことができました。

これから留学する皆さんには、失敗を恐れることなく、自信を持って留学先でさまざまなことに挑戦してほしいと思っています。留学先においても、誰とも接することなく一人であることは可能です。しかし、私自身の経験から、何度も壁に当たりながらも積極的に人と交流するチャンスを自分から掴むことが大切だと感じています。私は、日本語のTAをしたり、留学生の集まりや社会問題の解決に取り組む学生団体に所属したりして、なるべく会話をする機会を確保するようにしていました。留学先では、日本ではできないたくさんの経験をして、自身の世界を広げることが可能です！

フランス

西部カトリック大学

フランス語学科 M. H.

留学期間：2021年9月～2022年6月

【大学や街の様子】

私はアンジェにある西部カトリック大学のCIDEFという学校に2021年9月末から2022年6月初めまで通っていました。

大学はとてもきれいで、先生の教え方もすばらしくて、勉強のモチベーションアップにつながりました。ただ、留学生とフランス人学生が授業を受ける建物が別なので、フランス人と交流する機会が少なく感じました。しかし、留学生はたくさんの国から来ているので、語学以外にも異文化理解力が深まったと思います。

アンジェはとても住みやすく、不便を感じることはありませんでした。お店もたくさんあり、交通の面でもTGVの駅も行きやすく、トラム、バスも充実しています。街の人々も本当に優しいです。唯一不便を感じたのは、日曜日にほとんどのお店が閉まってしまうことです。



【授業】

私は秋学期がA2、春学期がB1.2のクラスでした。A2の時は授業の選択肢が少なかったのですが、Grammaireの授業を選択しました。書く、読む、聞く、話すといった基本的にはベースづくりを主とする授業が多く、先生もゆっくり丁寧に授業を行ってくれました。大変だったのは、春学期のB1.2のクラスです。B2寄りなので、2クラス分レベルが上がったことになり、この大幅なレベルアップと語彙の増加に正直最初は追いつくことができませんでした。このレベルになると美術や文学などの授業が選択でき、幅広く学ぶ楽しさを実感できると思います。試験については、学期内に各授業2、3回小さなテストがあり、各学期最後の1週間は毎日テストがありました。1教科2～3時間のテストがあり、スピーキングに関しては先生対学生が2対1で15分ほどのテストがあります。

【生活や寮について】

秋学期はホームステイ、春学期は寮に住んでいました。ホームステイでは週に3回の夕食、毎日の朝食をホストマザーと一緒に食べていました。また洗濯や部屋の掃除も全てしてもらえたので、不便なく過ごすことができました。寮では平日は朝夕の2食が提供され、夕食はとてもおいしかったです。ただ、洗濯機が2つほどしかなく毎週取り合い状態でした。またシャワーは位置が固定されていたので洗うのが大変でした。個人的には寮のほうが苦労が多かかと思いましたが、週末は友人たちと食事に出かけたりしました。素敵な庭園がたくさんあるので、時間を見つけては気分転換に行っていました。

【留学を終えて】

留学前と後で変わったことは圧倒的に会話力が上がったことです。はじめは、聞く力、話す力がほかの人たちより劣っていました。なので、フランス人の友人や自分より語学レベルの高い友人たちとたくさん会話をし、苦手な分野を克服できるよう努力しました。

留学してよかったことは自分のフランス語に自信を持てるようになったことです。これは自分の目標でもあったので、この留学でその目標をある程度達成できたと思っています。だんだん自信を持ち始めたころにB1.2というレベルの高いクラスに入り、またそれを知ったたくさんの友だちが、私をモチベーションにして勉強をさらに頑張ってくれるようになったのは本当にうれしかったです。ただ反省点は、留学前にもっと勉強して少しでも語彙を増やしておけば、最初の頃の授業であまり苦労しなくてすんだのかなと思います。

【アドバイス】

留学の準備期間中になるべく語彙を増やしておくことが大事だと思います。また聞く力もつけておくことも大切です。いざフランスに行くと、本当にフランス語しかない世界に入るので、準備をしていないと何も理解できず、どこにも行けなくなってしまいます。フランスでの最初の数日間の私はまさにその状態で、耳がフランス語を拒むこともありました。留学中は自分よりフランス語が話せる留学生の友だちや、先生、フランス人の友だちとたくさん会話をし、より多くのフランス語を体で吸収することが、一番早くフランス語を伸ばせる方法だと思います。そうすることで聞く力もつけることができます。留学は本当にあっという間なので後悔することのないよう頑張ってください。

メキシコ

グアダラハラ大学

言語文化学科 W. S.

留学期間：2021年8月～2022年6月

私はメキシコのグアダラハラ大学に2学期間の交換留学をしました。コロナ禍ということもあり、1学期目は日本にいながらオンラインで人類学系の授業を履修し、メキシコの歴史や先住民について学びました。2学期目は対面での留学生受け入れが再開したので、メキシコに渡航して授業を受けました。食文化、食問題に関して興味があるため、その分野について学べる観光学部の世界無形文化遺産についての授業と、美食文化についての授業を履修しました。専門の授業の他に留学生向けのスペイン語の授業も履修しました。新型コロナウイルス感染症の影響で、現地でも対面形式で行われたのは美食文化の授業のみで、他の2つの授業はオンラインでした。外国語でのオンライン授業の受講は難しいことばかりでしたが、わからない単語が出てきた時に教授がチャット機能を使ってスベルを送ってくれたり、クラスメイトに教えてもらったりして、授業についていけるよう努めました。多くの授業がオンラインでしたがキャンパスにも通いたかったため、クラブ活動に参加したり、現地の学生が受講する日本語クラスの授業の手伝いもしました。日本語クラスでは、日本語について質問をされた際にうまく回答することができないことが何度かあり、海外の人に日本語をもっとわかりやすく教えられるようになりたいと、新たな興味が湧いてきました。



現地では、韓国人留学生1人、メキシコ人の社会人女性の計6人でシェアハウスで生活していました。メキシコ人のルームメイトは本当に心優しく親切で、私たち留学生を気にかけてくれました。私が入居してすぐに体調不良で苦しんでいたときは病院に連れて行ってくれたり、「テキーラ村に連れて行こう!」と連れ出してくれたり、美味しいメキシコ料理やメキシコのお菓子を作ってくれたりしました。ルームメイトの1人がよく言っていた「私たちはもう家族なんだから」という言葉が、メキシコらしくて心が温かくなりました。

スペイン語力を伸ばすためには、とにかく会話することを意識しました。友人と授業の後にその日あった出来事など、他愛のない会話をしていました。話を聞いてもらう中で何か間違えたときはすぐに指摘してもらうようにし、軽くメモをとるなど工夫をしました。ほぼ毎日これ続けていたので話すスピードが速くなったように思います。とにかく現地では会話することが大事だと思います。メキシコの人々はとても人柄が温かくて、友だちになるためには1秒あれば十分と言っても過言ではないほど親しみやすいです。「Mi casa es tu casa (私の家はあなたの家=自分の家のようにくつろいでくださいという意味)」という言葉がメキシコにあるように、人をもてなすことが大好きです。この温かいメキシコ人のもてなしに何度も助けられました。

海外の生活では日本で当たり前のことが通用せず、カルチャーショックに直面することもあります。スーパーではある店員がイヤホンで音楽を聴きながら、またある店員は他の従業員とお喋りをしながらレジ打ちをしていました。最初は少し理解しがたかったですが、これはメキシコの文化なので、せっかちな性格の私でも「まあ、そっか」と思えるようになりました。メキシコの友人に私は何度も「すぐ謝ったりしないでもっと強くなるとだめだよ、自分の意見をしっかり言わないとだめだよ」と言われました。例えば遊びに誘われて本心はあまり行きたくないと思ったなら、相手のことを考えて無理する必要はないということです。このような経験から、良くも悪くも少し凶々しくなったかなと思います。メキシコに留学して確かに自分自身が変わったと感じています。

現地での留学生活は約半年間と短かったですが、大変濃い時間を過ごすことができました。

【留学までの道のり】

私は2020年2月から留学開始予定で、直前まで渡航準備をしていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により留学先大学の受入れが停止となり、渡航することができなくなってしまいました。事態が収束次第、渡航して留学しようと考えていましたが、感染症の蔓延は収まらず、最終的には日本にいながら1年間のオンライン留学となりました。

【授業について】

私は中国語を学習する語学クラスに入りました。授業は週に5日、90分の必修の授業が1日あたり2、3コマありました。学期途中から選択授業も開講されたので、ボリュームがあり、満足感のあるスケジュールだったと思います。また、先生方はクラスのレベルによって、話すスピードを変えたり、聞き取れる単語を選んだりくださったおかげで、自身の中国語のレベルを段階的に伸ばすことができました。先生方はみなさんととても明るく、優しく指導してくださいました。そのためオンラインという、対面より距離のある受講でしたが、クラスの雰囲気はとてもよかったです。

【自身の学習成果の実感】

留学当初は、読むことはできるが聞き取れない、話せないという状況で、自己紹介をするのもやっとというレベルでした。1年間の学習を終えて、現在は聞くことや書くことに関しては問題はなくなったと実感しています。ただ、話すことに関してはまだ十分とは言えず、自身の今後の課題です。

【オンライン留学の感想】

オンライン留学は留学開始前の想像と実際とではギャップがあり、難しさもありましたが、メリットもありました。

一つ目は時差の問題です。クラスメイトにはヨーロッパや南米から参加している学生もおり、授業は午後始まり22時までの時間帯でした。普段と異なる生活リズムでしたが、午前中の時間を大切に、自習時間や気分をリフレッシュする時間を確保しました。

二つ目はオンラインならではのクラスメイトとの交流です。お互い外国語である中国語での会話に加え、オンラインでの交流となるので、はじめは難しく感じました。しかしオンライン留学における大変さや孤独を本当に分かち合えるのは、同じ体験をしているクラスメイトだけだったので、授業以外でもWeChat(中国のチャットアプリ)を使い、頻繁に連絡を取り合うまでになりました。

三つ目は就職活動との両立です。私は、オンライン留学をしながら就職活動をしていました。企業に提出する資料の作成や、説明会の参加、面接などで授業に参加できない日もありましたが、授業の録画を時間のある時に受講できるので、この点はオンライン留学の大きな利点だったと思っています。

四つ目は留学費用です。渡航しない分、費用はとても抑えることができました。もともと中国留学にかかる費用は少なくすむのですが、オンライン留学だとより少ない費用となりました。

総じて思い描いていた留学とは異なる留学生活でした。中国語のレベルを向上するという目標はある程度達成できましたが、中国の生活様式を知る機会は限られました。しかし、留学を通じて得たものは多く、たとえオンライン形式であっても留学を選択して良かったと思っています。

【今後について】

私は7月に交換留学を終了し、9月に獨協大学を卒業しましたが、卒業後改めて大連理工大学のオンラインコースに個人申請をして、引き続き勉強を続けています。交換留学の学修により語学力が上達したので、今は語学だけでなく、経済や異文化コミュニケーションなどの専門的な授業も履修しています。スピーキングの向上も引き続き目標としています。

【これから留学を考えている方へ】

留学を迷っているなら、私は留学することをすすめます。留学は語学を上達させるためにこつこつ学習する忍耐力を養うことができ、普段出会うことのできない人と出会え、自身の考え方や将来の選択肢を広げる良い機会となります。

最後に、クラスメイトの中には、大学生ももちろんいましたが、大学を卒業した人、仕事をしながら学習している人、子育てをしながら学習している人などもたくさんいました。さまざまな理由で留学するか悩んでいる方には、留学にはさまざまな形式、さまざまなタイミングがあることもお伝えしたいです。

韓国

仁荷（イナ）大学

言語文化学科 K. A.

留学期間：2022年2月～2022年12月

私は3年次に韓国の仁荷大学に留学しました。仁荷大学は仁川（インチョン）市にある大学で、場所がソウルでないことから街もごった返してはなく、静かな雰囲気が好きでした。ソウルに行きたい時は電車とバスを使って1時間ほどで行ける距離にあったので特に不便だと感じることはありませんでした。学校の裏には飲食店やスーパーもたくさんあり、よく友だちと授業後にご飯を食べたり、カフェで話をしたり、買い物をしに行っていました。



仁荷大学では韓国言語文化学科に所属していたので同学科の授業を多く履修しました。この学科は留学生専用の学科で、日本人は私を含めて3人だけで、ベトナムと中国からの留学生がとても多く大半を占めていました。授業はTOPIC対策の授業から韓国古典、韓国語の発音、韓国語文法、韓国ドラマから見る韓国文化などさまざまなジャンルのものを選択しました。先生方はとても優しく、接しやすい方々ばかりでした。韓国語が母語でない学生しかいなかったため、グループ活動では互いの言いたいことがなかなか伝わらず、思ったように課題が進まなくて大変な時もありましたが、その分終わった時の達成感を味わうことができました。また、グループ内での学生間の距離も縮まり友だちもたくさん作ることができました。

留学中は寮に住んでいました。私の暮らした第2生活館では交換留学生は同じ出身国の人同士で部屋を割り当てられる決まりだったようです。4人部屋でしたが、前期は日本人3人、後期は日本人2人で部屋を使いました。トイレ・シャワーは階で共用だったので最初は抵抗がありましたが、1ヶ月もすると慣れました。寮の中にはコインランドリー、コンビニ、食堂もありとても便利だと感じました。

週末は友だちとソウルに行ったり、カフェに行って勉強して過ごすことが多かったです。韓国にはカフェがとても多く、また学校内には自習室が各棟にあったり、図書館の自習室が24時間利用できたりと、勉強する環境がとてもよく整っていました。前期は大学が紹介してくれたバディが電車やバスの乗り方を教えてくれると共にソウルのあちこちを案内してくれました。特に楽しかったのは一緒にチマチョゴリを着て景福宮に行ったことです。景福宮は韓国ドラマで何度も見ていたので、実際に見ることができてとても感動しました。また、近くに安国駅があるのですがここには有名なカフェがたくさんあり、カフェを3つも巡りました。

韓国ではカードで支払うことが多いと思いき現金をあまり持って行かなかったのですが、実際には寮のコインランドリーを使う時やT-MONEY（日本でいうSuica）にチャージする時、また友だちと割り勘などする際にも現金が必要でした。私は途中で現金が足りなくなり送金してもらったのですが、手数料が高くてついでに現金もある程度は持って行った方が良かったと思いました。

留学を終えて私は以前よりも積極的な性格になれたと感じました。留学前はとても内気で友だち作りはもちろん授業中にも発言を全くしませんでした。留学中は韓国に来て勉強する機会を与えてもらったからには、それを無駄にせずやれることは何でもやろうと決め、グループ活動で積極的にメンバーに話しかけ課題がスムーズに進むように意見を出したり、授業中もなるべく発言するよう心掛けたりしていました。おかげでベトナム人や中国人の友だちが増え、週末と一緒にソウルに行ったり授業後に昼ご飯を食べに行ったりすることもできました。

反省点はやはり学科に留学生しかいなかったため韓国人の友だちがあまりできなかった点です。知り合う機会が少なく韓国人の友だちはバディと偶然話しかけてくれた日本語を勉強していた学生数人だけだったのが心残りとなりました。

将来は、韓国語を使って貿易事務に関係する職に就きたいと考えています。韓国では主に日常生活で使う韓国語が上達したので、これからは仕事で使われるようなもっと専門的な韓国語やビジネスで使う韓国語も習得していきたいです。

長期留学体験記【認定留学】英語圏

アメリカ

カリフォルニア州立大学フラトン校

言語文化学科 F.H.

留学期間：2022年8月～2022年12月

アメリカ到着後は、何もかもが新しく感じられ、全てに心を躍らせていました。広い道路に大きな家、見るもの全てを写真に撮っていました。

カリフォルニア州立大学フラトン校（CSUF）はオレンジ郡フラトン市にあり、治安が良い所でした。夏は少し暑すぎるとは感じましたが、バスを使った登校は苦ではありませんでした。しかし、学期が始まって最初の週は辛いスタートとなりました。

夏学期は、一つの科目が1日3時間、3日間連続授業という特殊な形で、私は2科目を履修したので1日6時間も授業を受けていました。2科目とも留学生は私ひとりという状況で、一つの授業は毎日発表する時間があり、別の授業は先生がドイツ語訛りで、その話すスピードも授業の進度も高速で、留学生の私にとっては辛く過酷なものでした。しかも、この期間はオフキャンパスに住んでいたために、現地学生のバディーもなく、何事もひとりで対処するしかありませんでした。さらに私を悩ませたのは、友だち作りの難しさでした。他の留学生もバディーもいない、イベントも何もない夏学期に、シャイな私はどうしたらいいのか、毎日泣いて祖母に電話をしていました。祖母に後悔しないように自分の殻を破りなさいと言われた私は、意を決して、クラスの隣の席の子にメッセージを送りました。これは留学中で自分を褒めてやりたい行動の一つで、自身が大きく変わった瞬間だったと思います。

その行動のおかげで、彼女と友だちになることができました。他のクラスでも友人ができ、週末にはビーチを制覇したり、LAに行ったりしました。夏の終わりには友だちのラスベガス誕生日旅行にも行きました。授業においても、追いつくために毎回授業を録音して聞き直したり、積極的に教授にアドバイスを求めるなど努力を続けました。この辛かった体験のおかげで、私は英語を聞き取る力、理解する力、そして自分の意見を発信する力を短期間で手に入れることができました。

秋学期になりキャンパスは賑やかになりました。Student Centerや図書館では勉強したり談笑したりする学生たちの姿がたくさん見られました。夏の静けさとは対照的で、外では学生の笑い声、話し声が響いていました。CSUFは落ち着きもあいなながら明るい雰囲気のある大学という印象で、過ごしやすい環境でした。CSUFで特に私が好きだったのはヒスパニックや先住民のイベントです。毎週水曜日はメキシカンマーケットがあり、タコスやホットドッグはメキシコ人が認めるほどの絶品でした。

授業にも夏学期よりは慣れて、私はラティーノ・ラティーナの授業と移民の授業を主に履修しましたが、とても興味深く楽しんで受けることができるようになりました。チカーノ・チカーナの授業もとても面白くやりがいがありました。これらの授業は課題で読む記事の内容が難しく、また提出するレポートの数も多くて、期末試験の時期は友人と図書館で徹夜で勉強していましたが、思ったように良い成績はとれませんでした。しかし、これまで学ぶことのなかった内容に触れることができ、それはここに来なければ学べなかったことだったと強く思います。先生やクラスメイトも、私がこうしたマイノリティの分野に興味があると話すと、さらに詳しく説明してくれたり見るべきドラマや音楽などを教えてくれたので、私も文化をより深く理解することができました。

また友人関係も大きく変わりました。秋学期には留学生のコミュニティーやイベントがあったため、さまざまな国からきた多様なバックグラウンドを持つ人々に出会い、たくさんの思い出が作れました。アメリカ、韓国、メキシコ、オランダ、フランスなど、国籍に関係なく友だちになりました。冬休みに彼らと行ったサンディエゴ、サンフランシスコ、ユタ州、アリゾナ州、そしてニューヨーク州などへの旅行はどれもとても刺激的で楽しく、未知の世界に飛び込む感覚を味わうことができました。留学先でベストフレンドと呼べる関係を築けた私は幸運であり、そしてそれは夏学期の初めに、最初の第一歩を勇気をもって踏み出したからだと思っています。

この留学を通して後悔はほとんどありません。いつも後悔ばかりしてきた私ですが、この留学に関してはやってよかったことばかりです。もちろん楽しいことばかりではなく、辛かったこともトラブルで泣いたこともありました。しかし、それをかき消すほど素晴らしい経験ができ、成長することができたと思います。後悔しないよう行動することは留学において最も重要なことであり、祖母からもらった最も素晴らしいアドバイスでした。



長期留学体験記【認定留学】フランス語圏

フランス

フランシュ・コンテ大学

フランス語学科 S. R.
留学期間：2022年9月～2022年12月

【街の様子】

ブザンソンは山と川に囲まれた自然豊かな街です。白い石造りの街並みが広がり、自然との調和がとても美しく、都会育ちの私にはとても新鮮でした。治安も良く、街の人も優しく、不慣れなフランス語で話しかけると「CLAの学生なの？頑張ってるね」と答えてくれました。ただ小さな街なので、慣れてくると退屈だと感じることもありました。店は平日も7時には閉まり、日曜日はほとんどがお休みです。



【授業】

1クラス10人で構成されており、週に12コマの授業があり、うち2コマは選択制でした。授業は全て双方向で、ひとつとして座って話を聞くだけの授業はありませんでした。先生が頻繁に質問をして、学生は質問に答えるだけでなく疑問点やわからないところはすぐに質問し、どの授業も活発な雰囲気でした。私は一番下のB1クラスでしたが、それでも難しく、ついていくのが大変でした。成績は中間試験と期末試験の2回で評価されました。

【生活について】

大学に日本人は多くありませんが、アジアから来ている学生が多い印象です。私のクラスは韓国、台湾、香港、イランの学生と日本人は私1人でした。大学の交換留学生が多く、初日から同じ大学同士のグループができていたので、入っていけるか心配でしたが、すぐに打ち解けることができました。クラスメートとは仲良くなり、一緒にパーティーに行ったり、観光に出かけたりしました。たった4ヶ月という短い時間だったのに、こんなにも離れがたい友人ができるとは思っていませんでした。今でも友人たちとは連絡を取っていて、近いうちに彼らの母国に行ってみたいと思っています。

【留学を終えて】

今までフランス語学科の授業で学んできたことを活かすことができました。フランス語だけではなく、社会制度や美術、文学に関してもそうです。美術作品を見て「あの先生が話されていたことだ」と確認することができ、ニュースを見ても「授業で学んだ社会制度が裏側にあるからこうなのだ」と理解することができました。それを知らずに行っていたら「フランスはきれいな、便利な」だけで終わっていたと思います。フランス社会や文化の知識を持って留学できたことは大きなアドバンテージになりました。授業で学んだことを実際にフランスに行き確認することができました。

また留学に行き自分に対する考え方が変わりました。今までやりたいことがあっても「自分にはできない」と考えがちでした。しかし、やりたくなくても自信がなくても生きていくためにはやるしかないことがたくさんあり、やらざるを得ない状況になると意外とできるもので、「とりあえずやってみよう」という考えに変わりました。

内定もらった企業に就職をする予定ですが、いずれは海外、特にフランスにかかわる仕事がしたいと思っているので、働きながらフランス語を続け、どうすれば実現できるか考えていきたいです。

1学期間の留学はとても短く、せっかくフランス語が話せるようになり、友人たちとも仲良くなれた段階で帰らなければならず、残念でした。

【アドバイス】

留学は早めに計画することをおすすめします。入学当時から漠然と留学に憧れを抱いてはいましたが、部活をやり遂げたいという気持ちや金銭面、学力に自信もなく、なかなか決断することができませんでした。4年生の5月になり、パスポートもない状態でぎりぎりのタイミングで、秋学期からの認定留学を決めたため、それからは留学準備に追われる生活となりました。就職活動と並行するのは本当に辛かったです。また申込みが遅かったので寮は埋まっている、飛行機は取れない、バカンスで先方と連絡が取れない、ビザが届かないといった問題もありました。寮や航空券の選択肢がなくなると、金銭面での負担も大きくなります。精神的にも肉体的にも辛く、もっと計画的に準備するべきだったと悔やまれました。

留学で得られるものは語学力だけでなく、自信、友人、経験などたくさんあります。留学に行くか悩んでいる人がいたら、ぜひ勇気を出して踏み出して欲しいと思います。



危機管理・安全対策

Risk Management and Security Measures

安全な海外留学のために



安全のためのガイドライン

世界各地では紛争、襲撃事件、テロ、暴動や内乱、大規模な災害などが発生しています。また新型コロナウイルス感染症は、2022年においてもその収束を見ることはありませんでした。私たちは流動的な状況への対応を日々迫られています。海外渡航にあたっては基本的な安全管理・危機管理対策に加え、感染症対策や関連措置への対応等の備えが求められています。そのためには渡航者である学生自身による状況確認と判断力、情報収集力や危機管理能力を高めることが必要です。渡航後、常にその国や地域の最新情報入手に努めることはもちろんですが、渡航前から目的地について調査したり、オリエンテーション等に参加し危機管理に対する意識を高めるとともに、起こりうるリスクを可能な限り想定し準備をしておくことが大事です。



渡航と安全対策

日本は世界でも特に治安の良い国です。そのため、日本にいる時と同じ安全意識を持ったまま渡航することは非常に危険です。さらに、渡航先で問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自己責任において対処しなければなりません。そのため、個人でできる予防策を講じておく必要があります。

獨協大学では、短期・長期とも留学の決まった学生に、学内で実施する「危機管理セミナー」への参加を義務づけています。これにとどまらず、渡航前に「外務省海外安全ホームページ」「世界の医療事情（外務省・在外公館医務官情報）」等のサイトにアクセスし、常に最新の情報を入手するように心がけましょう。また渡航を予定している国・地域の政府観光局や、旅行会社の仲介で留学する場合はそうした業者も貴重な情報収集源となります。外務省海外安全ホームページのメールサービスを利用すれば関心のある地域について発出された最新の情報をメールで受け取ることもできます。また在留届の提出（P.77）が不要な3ヶ月未満の渡航を予定している場合は、いざという時に在外公館などから緊急時情報提供を受けられる海外旅行登録システム「たびレジ」に必ず登録しましょう。「たびレジ」には本人以外のメールアドレスも登録することができます。家族の方とも情報を共有しておきましょう。

また、本学では、大学から派遣する長期・短期留学生に対し、本学指定の海外旅行保険への加入を義務づけています。病気になったり、不慮の事故に遭遇した場合はもちろんですが、派遣先大学や他人の物品を破損した場合等の賠償問題に対応するためにも、保険加入は必須です。

なお、P.111に「海外渡航時に役立つサイト」を掲載していますので、渡航を計画している方は各自確認してください。このほかにも、危機管理についての注意をP.102～に掲載していますので、必ず目を通しておきましょう。
※長期留学（交換・認定）、短期留学（協定校・認定）、および休学して留学する場合も含め、本学は在籍学生の渡航中の車やバイク等の運転を禁止しています。

■外務省海外安全ホームページで、以下の情報を出発前に確認しましょう。

- 外務省海外安全ホームページ
- たびレジ
- 「海外安全虎の巻」
- 「海外旅行のテロ・誘拐対策」
- 「海外安全劇場 海外へ渡航するあなたへ～外務省からのお知らせ（動画）」
- 「海外で困ったら 大使館・総領事館でできること（パンフレット・アニメーション資料）」



普段から心がけたい危機管理の心がまえ

危機管理は重大な事故や犯罪に巻き込まれることを防ぐためだけでなく、日常のちょっとしたことで起こるトラブルや不都合を未然に防いだり、拡大させないためにも大切です。快適な留学生活を送るためには日常での安全への気配りが常に大切です。

出発前	<ul style="list-style-type: none"> ・パスポートの残存有効期間を確認する ・パスポートの迅速な再発行のため写真やコピーを準備しておく ・国際キャッシュカードやトラベルマネーカード、キャッシュパスポート等の準備をする ・滞在先の文化、風俗、気候等の事情を調べておく ・常備薬の準備／特別に処方された薬を持っていく際は英語で書かれた処方箋を作ってもらおう ・海外旅行保険に加入する（留学期間と、留学に付随する旅行期間の全てをカバーするもの） ・持参するクレジットカード等の番号や発行会社、発行連絡先を確認しメモしておく ・出国や渡航先入国に関する制限がないか情報収集
留学中	<ul style="list-style-type: none"> ・心身両面における健康に留意する（無理をしないように） ・体調不良を感じたら、早めに医者にかかるなど対処する（緊急連絡に備えてモバイルバッテリー／充電器を持参すると良い） ・現地の交通手段・交通事情について確認する ・文化の違い、言葉の問題等で起こるコミュニケーションのトラブルに注意する ・話し相手に対して意思表示をはっきりする ・想定されるトラブル対応会話を準備する（とっさの一言が言えるように） ・クレームを言うべきときはきちんと伝え、納得のいく回答や対応を求める ・カルチャーショックは軽いうちに解決を図る ・毎日使う財布には必要最低限の現金と使用予定のクレジットカードのみを入れ、余分なお金や使わないクレジットカード等は別の場所に保管する ・レシートの金額や釣り銭はどんな場面でもきちんと確認する ・買い物時のレシート、カード使用時の控えを管理する ・留守宅には定期的に連絡をする ・飲酒が認められる年齢は国によって違うため、事前に調べ、必ず遵守する ・夜の公園、地下の薄暗いカフェなどには近づかない、1人で行動しない ・ブランド物はなるべく身につけない ・携帯電話やスマートフォンとは別に、家族や緊急連絡先の情報を紙にメモし保管する ・現地の報道に注意し、デモ・集会・テロ等を見たら速やかにその場を離れる ・現地で発せられている規制や制限を把握し、遵守する
帰国時 帰国後	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物の重量オーバー、日本への持ち込み禁止物等に気をつける ・麻薬等のいわゆる「運び屋」とならないよう、知人に荷物の運搬を頼まれても断る ・帰国時に検査証明提出や自主隔離などの制限がないか確認する ・クレジットカードの利用明細をチェックする ・体調不良時には早めに医者にかかる

危機管理セミナー

獨協大学では、本学の留学制度を利用して短期・長期留学する学生に、学内で実施する「危機管理セミナー」への参加を義務づけています。このセミナーでは、海外で注意すべき点、トラブル発生時の対処方法について説明し、学生の危機管理意識を高めることを目的としています。本学の制度を利用せずに海外に渡航する学生にも参加をおすすめしています。

2023年度は、以下の日程で実施する予定ですが、最新の情報はPorTaⅡ 掲示板 [留学支援・国際交流] で確認してください。

夏季：2023年7月 5日(水) または7月 7日(金) (予定)

春季：2024年1月 9日(火) または1月11日(木) (予定)



学生・家族（保証人）の責任

海外滞在中に問題が生じた場合や予期しないトラブルに巻き込まれた場合は、自分の判断で対応しなければなりません。海外滞在中の事故やトラブルには、本学がコントロールできない種類のものが多いということも認識してください。「自分の身は自分で守る」という自己責任の意識を常に持つことが大切です。

留学で渡航する学生が事故や事件に巻き込まれた場合、本学は学生の安全確保や救援に最大限の努力をします。速やかに連絡が取れるよう、学生は滞在中の所在地を明確にし、電話番号やメールアドレスなどの連絡先を忘れずに本学に届け出るとともに、変更があった場合も必ず連絡してください。

また、渡航する学生のご家族や保証人等には、学生が無事に出発し無事に帰国できるように協力する責任があります。学生と一緒に留学先の国や地域の治安や生活環境を確認し、文化・風習などを調べることをおすすめします。また、留学前には留学に対応できる健康状態にあるかを確認し、留学中は定期的に連絡をとるようにして現地生活の様子を把握し、問題や心身不調の早期発見に心がけてください。



出発前にすべきこと

1. 海外旅行保険の加入（必須）

留学中は、自然災害被災をはじめとして、感染症罹患、交通事故といったトラブルに巻き込まれる可能性が常にあります。特に、海外で病気にかかったり、ケガをした場合、その治療費は非常に高額であり、かつ、皆さんの状況について大学が正確な情報を即座に収集することは極めて難しいのが実情です。

そこで、海外での危機管理体制強化の一環として、本学から留学に派遣する学生には、大学指定の海外旅行保険およびトータルサポートサービスへの加入を、留学の必須条件としています。この保険は包括契約であることから、学生の皆さんが個人で加入する場合よりも割安な保険料で加入することができます。トータルサポートサービスは、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて24時間365日、日本語で相談できるサービスで、学生本人だけでなく、ご家族からの相談にも対応します。

なお、長期留学の場合、上記海外旅行保険とは別に留学ビザ取得の要件として保険加入が求められる国があります。また留学先大学でも現地の保険への加入を指示される場合があります。この場合、留学先国・大学の指示に従って加入することになりますが、本学で加入した保険の内容を証明する書類（英文の付保証明書）を提示すれば、現地での保険加入が免除（または一部免除）されることもありますので、事前にしっかり調べて準備してください。また、英文の付保証明書は渡航の際は必ず携行してください。

2. 健康管理等

■ 健康診断

留学先の機関によっては健康診断書の提出を求められることがあります。また書類の提出を求められない場合でも、自分の健康状態を把握するために、出発前には健康診断を受けましょう。

本学で毎年4月に行われる定期健康診断の受診は最低限必要ですが、足りない項目については、医療機関等で追加検査を受けてください。また、健診や追加検査後に再検査や受診をすすめられた時には、必ず受診してください。特に持病がある場合は、事前に国際交流センターにもその旨を知らせてください。

国によっては医療過誤の際の損害賠償が厳しいなどの理由から、医療情報が不明確な患者に対して医師が十分な処置を行ってこない場合があります。そのような時に英文診断書や処方箋があると現地の医師にも患者の症状や処置方法・処方薬がわかるので、スムーズに治療を受けることができます。特に健康に不安のある人、アレルギーや持病がある人、服用している薬がある人などは英文診断書等を持参しましょう。かかりつけの病院で英文診断書等を出してもらえない場合、日本旅行医学会等のHPから英文診断書を発行してくれる医師や病院を確認し、発行してもらいましょう。

■ 歯科検診

留学が決まったら早めに歯科検診を受けましょう。海外では歯科医に行きたくても何ヶ月も診察の予約が取れなかったり、実際に治療を受けた後、高額な費用を請求されることがあります。また、長期留学の場合、大学指定の海外旅行保険で治療費の8割が補償されます（低補償プランを除く）が、一旦自分で立替払いをする必要があります（帰国後に請求）。必要な治療は必ず日本で終わらせてから渡航してください。

■ 予防接種

海外渡航時の予防接種には、入国時に法的に要求されるものと、入学の条件として留学先大学等から要求されるものがあります。これらの予防接種を受けないと留学や旅行が不可能となりますので、詳しくは渡航先国の大使館や最寄りの検疫所、留学先大学などに確認してください。

・法的に要求される場合

特定の国（主にアフリカの熱帯地域や南アメリカの熱帯地域）では、入国の際に黄熱病予防接種証明書を提示しないと入国できません。またこれらの国からインドや東南アジアの国へ入国する際や、帰国時の乗り換えの際などに必要になる場合もあります。予防接種は予約制で、実施機関が限られています。厚生労働省検疫所HPで早めに確認しておきましょう。

・留学先の大学等から要求される場合

必要な予防接種の種類は留学先により異なりますので、早めに詳細を確認しましょう。数回（2～3回）接種が必要なものもあるので、できるだけ出発の6ヶ月以上前には医療機関または本学保健センターに相談してください。

また特に要求がなくても、破傷風や風疹等は何の国へ行くにも予防接種がすすめられていますし、はしかの抗体検査・予防接種も受けておくことをおすすめします。渡航先によってはA型・B型肝炎、狂犬病等の予防接種も要求される場合があるので、早めに自分の留学先の国と教育機関の規定を確認しましょう。

■ 持病・常用薬

・現在服用中の薬がある場合

持病のため普段から薬を服用している人、治療中や経過観察中の人は、その病気の経過や治療法、服用中の薬剤等に関して、主治医に診断書を書いてもらいましょう。できれば渡航先の国の言語で書いてもらうことが望ましいのですが、難しい場合は英文診断書でも役に立ちます。

また、薬を使用している場合は、現地ですぐに適切な医療機関が見つからない場合も考えて、2～3ヶ月分の薬を持参することをおすすめします。ただし、海外へ大量の医薬品を持ち出すときは、検疫等で問題が起こらないように必ず英文診断書を携行しましょう。

・常用薬

海外では医師の処方箋がないと薬が買えないことがありますし、一般の薬局で売っている薬も日本で入手できるものとは異なる場合があるため、特に自分がよく使う薬は持参しましょう。乗り物酔い止め、頭痛・生理痛薬、腹痛・下痢止めや胃腸薬、風邪薬などは、普段自分が使っているものを持っていくと安心です。

日本から医薬品を送ってもらう場合は、国・地域によって発送に関する条件が異なりますので、出発前に必ず確認しておきましょう。

■ 体調管理

出発直前に友人等との壮行会を行い、体調を崩し出発を延期するケースが散見されます。出発前はそうしたリスクも考えて準備、行動してください。



1. 緊急時の連絡と対策

渡航中、思わぬ事件や事故に遭遇した時や自然災害等で生命が危険にさらされた場合には、直ちに救助や救援を求めましょう。このような場合に備えて、滞在国や滞在中の地域の警察や消防署、日本大使館・領事館の連絡先を必ずメモしておいてください。

また、本学指定のトータルサポートサービス加入時にお渡しする「海外留学生トータルサポートサービス」カードを常時携帯し、緊急事態発生の際はすぐに連絡してください。

2. 留学中の健康管理について

留学中の健康管理のために、自分のペースをつかんで、規則正しい生活を心がけましょう。特に食事は、栄養のバランスや食べる量など、自分で管理するしかありません。好きなものだけを好きなだけ食べて、体重は10キロも増加したのに栄養失調になった人や、ストレスから拒食症・過食症になってしまう人もいます。健康であることが充実した留学生活にもつながります。また海外では食べ物や水を介した消化器系の感染症や動物や蚊・ダニなどが媒介する感染症も発生しています。時差や気候、環境の変化からくるストレスにより免疫力が低下すると、これらの感染症にかかりやすくなります。季節性のインフルエンザ・ノロウイルスなどの感染症対策同様にうがいや手洗いを励行し、食事管理（生水や氷を避け、十分に火が通った安心・安全なものを食べる）や適切な自衛（虫よけの利用、着衣の工夫、感染症発生時には人ごみに近寄らない等）を心がけましょう。またアレルギーが重症化する場合もあるため、動物やペットへのむやみな接触も避けましょう。

体調不良を感じたら早めに医師やカウンセラーに相談してください。本学の指定するトータルサポートサービス加入時にカードをお渡しする「海外留学生トータルサポートサービス」でも、看護師、医師が日本語で各種相談に応じます（専門医による電話相談サービスは事前予約が必要です）。加えて、現地の病院の紹介も行っています。



渡航先での注意事項

滞在地では、その国の法の遵守は当然ながら、「目立たない」「行動を予知されない」「用心を怠らない」という“安全の三原則”を守りましょう。それが自分の身を守る安全対策につながります。

現地での行動について不安がある場合は、一人で判断せずに留学先の責任者やアドバイザー、短期留学の場合は同行教職員やホストファミリーなどに相談するようにしてください。

安全の原則 ①：目立たない
<ul style="list-style-type: none"> • 華美な身なり、目立つ格好はしない • 公共の場で大声で話をしたり、大笑いしたりしない • ウロウロ、キョロキョロしない
安全の原則 ②：行動を予知されない
<ul style="list-style-type: none"> • 自分の行動予定をむやみに他人に話さない • 行動のパターン化（移動ルートや時間などの固定化）を避ける
安全の原則 ③：用心を怠らない
<ul style="list-style-type: none"> • 親しげに近づいてくる人物を無条件に信用しない、スキを見せない • 電車や車、カフェの座席に荷物を置いたまま席を離れない • 自分の名前や住所をむやみに知らせない • 見知らぬ人からすすめられたものを安易に口にしない（パーティ等での麻薬への誘いにも注意） • 知り合って間もない異性からの誘いには要注意（特に夜の誘い） • ホームステイ先等でセクハラ等に遭わないように注意する • 夜の公園、危険な場所、雰囲気の悪い場所へは近づかない • 人けのないところを歩くのは昼間でも避ける、特に夜間の単独行動は避ける • 万一に備え、自分の旅行日程・連絡先を家族・知人に残す • ATMを利用するときは周りに注意し、道路に露出したATMはできるだけ使わない • 釣り銭などの受領時、お金を財布にきちんとしまってから次の行動に移る • 多額の現金は持ち歩かず貴重品は安全な場所に預け、パスポートはコピーを携行する • ファスナー等で閉まらず簡単に開いてしまうバッグは使わず、ショルダーバッグは斜め掛け、リュックサックは前に抱える

■貴重品の取扱い

現金、クレジットカード、パスポート、デジタルカメラ、スマートフォン、パソコンなどの貴重品が盗難に遭う被害が多数報告されています。外出先はもちろん、残念ながらホームステイ先や寮においても実際に起こっています。共同生活の中で物が紛失すると、同居人を疑わざるを得ない状況になり、お互いに非常に嫌な思いをします。そんな状況を作り出さないためにも、すぐに戻るからと安心せず、外出時には必ず部屋の鍵だけでなく、スーツケース等の鍵もかける、貴重品は目につくところに置かない、留学先大学のガイドラインに従って防止策をとるなど、十分注意してください。

■麻薬・覚醒剤・危険ドラッグ

麻薬や覚醒剤等に関する取り締まりや罰則は世界中で厳しさを増しています。麻薬関連の犯罪で科される刑罰は、日本とは比べものにならないほど重いもので、国によっては極刑に処せられることもあります。いかなる種類の麻薬でも、所持、譲渡、売買、製造、輸出入など全て厳重に禁止されています。一方、非医療用大麻（嗜好用マリファナ）についてはカナダやアメリカの一部の州において購入や所持等がすでに合法化されています。また、チョコレートやクッキーなどの菓子、飲料など「大麻入り食品」も市場に出回っているため、手軽に入手できます。しかし、日本では大麻取締法において、大麻の所持・譲受（購入を含む）等については違法とされ、合法地域での行為も処罰の対象となります。大麻を吸うと視覚・聴覚の変化や情緒不安定、集中力の低下や思考の変化等が現れ、長く続けると幻覚・妄想や暴力的な行動等、精神的に異常をきたしたり、知的機能の低下等を招くことがあります。また「危険ドラッグ」には、液体、粉末、葉片、気体とさまざまな形状のものがあり、「お香」「アロマリキッド」「合法ハーブ」「タイヤ充填用（自転車）」等と称して販売されているものもあります。その成分には、麻薬や覚醒剤等と同様の成分が含まれており、人体にとって大変有害です。これを使用すると、意識障害、おう吐、痙攣、呼吸困難等の症状を引き起こし、死に至るケースもあります。大学の寮やパーティなどで学生が遊び半分にマリファナなどをすすめてくることもあるかもしれませんが、毅然とした態度で断りましょう。そのような場に居合わせてしまった場合は、その場からできるだけ早く立ち去ることが大切です。軽い気持ちで手を出し、一生を棒に振るような結果を招かないようにしてください。

また、自らは意識しなくても、土産を手渡されたり、小荷物を託されたりする形で、不本意に麻薬を所持させられてしまうこともあります。中身のわからないものには最大の注意を払う、無用心に引き受けない、ということを忘れないでください。実際に他大学の学生が麻薬の運び屋として、逮捕された例があります。

■各種ハラスメント

文化の異なる社会においては、ジェンダーや性的行為、教員と学生の関係に文化的な差異があったり、制度や法律的な扱いが異なることもあります。ハラスメントに関する知識や現地の文化を知ることは重要です。知らないで被害を受けやすいだけでなく、思いがけず加害者になってしまう危険性すらあります。

キャンパスや寮、ホームステイ先、地域コミュニティなど場所はどこであれ、留学先において、もしセクシュアル・ハラスメントやアカデミック・ハラスメント、あるいは何らかの差別的な扱いを受けたと感じたら、すぐに大学のカウンセリング・センターやインターナショナル・オフィスの留学生担当者に相談しましょう。教職員が同行する短期留学の場合は、まず同行の教職員に相談してください。プライバシーは確実に守られますので、心配は不要です。

文化によってジェンダー問題の扱われ方は大きく異なります。特に外国人の場合、人種が異なるというだけで目立ちますし、言葉が十分に話せなければ、騙される危険性も残念ながら高いと言えるでしょう。男女間においても、デート時の暗黙のルールが日本とは違っていたり、あなたの行動があなたの意図したものとは違う解釈をされてしまう危険性もあります。曖昧な態度を続けると、YESと誤解されてしまうことがありますので、嫌だと感じたら、はっきりとNOと言う態度をとることが大切です。

安心して過ごせる環境を確保することはあなたの権利であり、充実した留学生活を送るための大切な課題です。

■セーフセックス

性行動においても安全や健康に留意しましょう。コンドームの使用や禁欲的な生活は、性感染症、HIV感染等を防ぐだけでなく、望まない妊娠を避ける有効な手段となります。また海外で注意すべきなのは、文化によって性に対する考え方やモラルが異なることです。イスラム教国や仏教国等ではあからさまな性がタブー視される傾向にあり、日本とは状況がかなり異なることを認識してください。

■カルチャーショック

ある程度の期間外国で暮らしていると、程度の差はあれ必ずカルチャーショックを体験します。カルチャーショックとは、異なった文化や環境の中で、今まで自分の国や文化の中で培ってきたものが通用しなくなり、精神的な打撃を受けることです。例えば、見るもの聞くもの全てが新鮮な時期を過ぎると、だんだん周囲に疑問や反発を感じたり、敵意を抱いたりするようになります。

疲労・倦怠感、ホームシック、イライラ、うつ、食欲不振、不眠、欲求の増加、高揚感などの症状はカルチャーショック時によく見られます。

こういった症状に気づいたら、あまり深く考え込まずに身近な友人に話してみたり、気分転換に自分の好きなことや趣味に没頭してみましょう。また、日記を書いてみることは、混乱し、舞い上がっている自分を客観視できる良い対処法です。それでも症状が軽くない場合には早めに留学アドバイザーやカウンセラーなどに相談しましょう。

「せっかく留学をしているのだから日本人の友だちはいらない！」という人がいますが、つらい状況の時に微妙な心境を理解してくれるのは、やはり同じ文化・生活習慣の中で育ってきた日本人です。完全に日本人のネットワークを遮断するのではなく、困った時には助け合える良い関係を築いておきましょう。

■差別・偏見、異文化間のトラブル

留学先の国や地域で、差別や偏見を受けることは、多かれ少なかれあります。また同時に、自分の中にある差別や偏見といった意識に気がつくかもしれません。世界は実に多種多様な人々で構成されているという当然のことを、肌で感じるはずですが。価値観、考え方はもちろん、文化的背景の異なる人々にも出会うでしょう。その時大切なのは、自文化と他文化を構成するアイデンティティを意識・尊重し、人間としての尊厳をもって自らも行動し、相手にも接するということです。留学先の国の人々が、日本人をどのようなイメージで捉えているのかを知っておくことも、助けになるかもしれません。

外国人とのコミュニケーションでは、国民性による表情やジェスチャーの違いが思わぬ誤解を生むこともあります。言葉によるコミュニケーションがスムーズにいかない場合、表情やジェスチャーといった別の情報源から相手のメッセージを曲解してしまう危険度が増します。誤解が一旦生じてしまうと不信感が募り、修復不可能な状況に陥ってしまうことも珍しくありません。相手から「こんなひどいことを言われた」「こんなひどい態度を取られた」と感じた時は、素直に相手に疑問をぶつけてください。それにより、お互いの誤解はほぼ解けるでしょう。

日本人は“察する”文化の中で育っていますが、外国では言葉として“発する”ことが重要です。「郷に入っては郷に従え」で現地に溶けこむよう努めましょう。

コロナ禍が始まって以降、特にアメリカなどではアジア系住民に対する嫌がらせや暴力行為が増えています。攻撃を受けた場合は、逃げる、周囲に助けを求めるなど、被害を最小限に抑えるよう行動してください。また人けの少ない場所や乗り物、夜間の一人歩きを避けるなど、自分の身は自分で守ることが大切です。

■宗教・民族

日本では宗教に無関心な人が多いため、他国の宗教に対しても無頓着になりがちです。しかし、海外には信仰心の篤い人が多くおり、私たちの何気ない言動が相手を傷つけ、誤解や食い違いを生むこともありえます。偏見や差別などは、その多くが宗教や民族感情に根ざしており、無知や無理解がトラブルの引き金になります。渡航先の国の宗教や慣習を調べるのはもちろんですが、国際人として他国の人の宗教や文化に対する尊敬の念を忘れないよう行動しましょう。

また、記念日や祝祭日などは、その起源が宗教や歴史的な事件に関連していることが多々あります。国によっては、その前後に過激集団間の紛争や宗教的な対立が起こりやすくなる場合がありますので、留学先の国の記念日や祝祭日、安息日などについても外務省HP等で下調べをしておきましょう。

提出書類等に宗教を記入する欄がある場合、特に信仰している宗教がなければ空欄にしておきましょう。「信仰している宗教はない」という意味で「NO」と記入すると、国によっては「宗教を否定している＝無政府主義者である」とみなされ危険人物扱いを受ける場合がありますので注意してください。

■ マイノリティ

日本で体験することはほとんどないでしょうが、海外で生活を始めた途端、自分がその社会ではマイノリティ（社会的少数者・社会的弱者）であることに気づかされます。特にアジア系の居住者が少ない国や地域では、時には周囲から好奇の目で見られたり、物珍しい存在としての扱いを受けたりするかもしれません。そのため人間関係がうまく築けなかったり、存在を無視されて誤解が生じたりと、不快な気持ちを味わうこともあるかもしれませんが、ほとんどは悪意のないものです。自分の国と文化に誇りをもって毅然とした態度で臨みましょう。

■ 法律・条例

改めて言うまでもなく、留学先の国や地域は日本とは異なる法律や条例で統治され、社会的秩序が保たれています。その際気をつけたいのは、法律もまたその国の文化によって規定されているため、日本国内では当たり前で合法的な言動が、海外では非合法となる場合もあるということです。例えば、日本では20歳になると飲酒ができますが、アメリカでは21歳で、しかも州により詳細は異なります。日本の常識は海外の常識ではありません。

その国の法律や条例についての基本的な知識を得るといのは、実は大変重要なことなのです。メディアで問題視された日本人学生の世界遺産の建造物への落書きなども、こうした自覚に欠けた軽率な行為と言えます。

事故や事件を引き起こしたり巻き込まれたりしたとき、鍵を握るのは現地の法律です。万一、現地の法律や条例を犯してしまい、現地警察に逮捕・連行されるような事態に陥った時は、速やかに日本大使館や領事館と連絡を取り、弁護士を紹介してもらうなど法的な対応や適切な助言を得ることが大切です。ただし、在外公館ができることは国によってはかなり限定される場合もあります。

また、留学先機関の学則や懲罰規程なども日本の大学とは異なります。自分の留学先の規程には必ず目を通しましょう。

■ 逮捕・誤認逮捕

海外滞在中に警察に連行されたり逮捕されたりした時は、弁護人や通訳の要請を最優先に行いましょう。最初に、在留邦人の安全を主要任務としている大使館・領事館等の在外公館への連絡を要請し、領事等との面会を求め、家族・大学等への連絡支援を依頼しましょう。また、万が一差別的・非人道的な扱いを受けた時は、関係当局に改善の要求をしなくてはなりません。

■ 銃とキャンパス内の安全対策

日本でもしばしば報道されているように、北米諸国では一般市民が銃を所持する割合が高く、特にアメリカでは銃関連の犯罪が多発しています。日本とは異なり、銃犯罪は身近な問題になりえるということを認識しましょう。

危機意識の持ち方は大学生活においても同様です。アメリカの大学の多くは銃規制に関する方針（Firearms Policy）を設けていますが、許可制や登録制により大学構内に銃を持ち込むことが可能な大学も少なくありません。アメリカの大学のHPには、University PoliceやSecurity Office等の部署が独自のページを設けていて、キャンパスやその周辺の治安の確認や、犯罪関連の情報収集ができるようになっています。必ず目を通して、万が一学内で銃犯罪が起こった時にはどのように対応すればよいのか、確認しておくことが大切です。

アメリカの場合、ほとんどの大学では24時間体制の警備を行っていますので、何かあった時に助けを求められるように、場所や連絡先を確認しておきましょう。また、授業が始まると夜遅くまで図書館で勉強することもあるでしょうが、夜間の移動等には、Campus EscortやSafe Walk等のサービスがある場合、活用するようにしましょう。

■ 性暴力

統計調査等で、欧米諸国の大学のキャンパスやキャンパス周辺で性暴力に関する事件が予想以上に多いことが報告されています。このような強姦や性暴力といった痛ましい事件は、特にパーティやデートなどで飲酒した後に発生しやすいようです。望まないときにはNO!ときっぱりとした意思表示をすること。それが被害を防ぐ第一の対策です。

アメリカやカナダの大学では、University PoliceやSecurity Officerなどが24時間体制で警備を行っていますし、いざという時に助けを求められる緊急電話（Emergency Phone）が大学構内に設置されていますので、必ず場所を確認しておきましょう。被害を防ぎ自分の身を守るためには、これら緊急時のサポート制度や対策を最大限活用することが大切です。

■ Date Rape Drugに要注意！

近年、海外で多発して社会問題になっている事件のひとつに、Date Rape Drugという薬物をアルコールやジュースに混入し、昏睡状態に陥らせて暴行におよぶというものがあります。自分の身を守るのは自分自身であることを十分認識し、対策を講じてください。信用できない人とは飲食をともにしない、信頼の置ける友人と席をともにする、他人から飲み物をもらわない、店で注文した飲み物は自分でグラスを受け取る、グラスに飲み物が入っている間は席を外さない、などを心がけましょう。

■ 政治関連

政治問題や社会制度等について議論や意見を交わすことは、語学力はもとより情報収集力や思考能力を伸ばす上でも格好の学習機会といえます。しかし、過度の議論や過激な応酬に発展しそうな場合にはクールダウンが必要です。国によっては、熱がこもりすぎてデモや暴動が発生してしまうことも全くないとはいえません。デモや情宣活動など過激な政治行動に不用意に参加したり、興味本位で近づいたりしないようにしましょう。歴史や領土等に関わる微妙な問題について、迂闊に人を刺激するような言動は慎むのが賢明です。

■ テロ被害に遭わないために

近年、欧米やアジアを含む世界各国でテロ事件が多発しています。特に最近の傾向として、ソフトターゲット（民間人）に対するテロが増加しています。外務省「海外安全ホームページ」等で現地情報を確認し、「狙われやすい人、場所、日時」の情報を収集し、危険回避に努めてください。最終的には、個人による「予防」と「対処」が不可欠です。

・事前対策

- ①人混みを避ける（観光地、宗教施設、ホテルロビーなど）。目立つ服装を避ける。
- ②イヤホン等で外部の音を遮断しない。
- ③レストラン等では、出入口付近やガラス面の近くを避け、入口を見通せる奥の壁際か柱の近くに席をとる。

・もしテロに遭遇した場合 →発生から10分が勝負

- ①爆発音・銃撃音が聞こえたら、直ちに伏せる。
- ②頑丈な物陰に隠れる。
- ③できるだけ速やかに現場から離れ、近寄らない。
- ④避難する時間がない時は、隠れる。
- ⑤群衆パニックに巻き込まれない。冷静に。
- ⑥安全な場所に移動できたら、体に異常がないかを確認。

【爆発テロの場合】

- ①カバン等で頭部を保護し、姿勢を低くして現場を離れる。
- ②複数の爆発物が仕掛けられている可能性に注意。

【銃撃事件の場合】

- ①低い姿勢で、ジグザグに逃げる。
- ②不用意に動く狙われるので、目立たない、叫ばない。
- ③落ち着いたら、スマートフォン、携帯電話の電源を切る。

安全な場所に移動できたら、速やかに自宅および本学国際交流センターに状況報告をお願いします。事態の重大性によっては、留学の中止、帰国等の措置をとりますので、大学の指示に従ってください。

■ 自然災害

自然災害には、地震、津波、噴火、暴風雨、洪水、ハリケーン、竜巻、異常気象（猛暑、豪雨、豪雪）などがあります。特に地震や竜巻等、予測が難しい自然災害では、一瞬の判断の誤りが確実に生命に関わります。留学先の国や地域でどのような種類の自然災害が起きやすいか、いざという時はどうしたらよいのかを入念に調べておき、事前の心構えを忘れないようにしましょう。暴風雨など、事前にある程度の予報が出るものに対しては、対処の仕方を周りに確認しておくことで安心です。また、災害発生後は衛生状態が悪くなることが考えられるので、健康状態に留意してください。

■被害に遭ってしまったら

強盗や引ったくりに出くわした際に抵抗すると、命を失う危険もあります。むやみに抵抗しないでください。被害に遭ったら直ちに警察に届けましょう。後日、海外旅行保険の保険金請求に必要となるため、現地の警察から Damage Report / Police Report（被害届／事故調書）等を必ずもらっておいてください。

思わぬ後遺障害を防ぎ、保険金を請求する時のためにも、軽いケガだと思っても必ず病院へ行き、診断書を出してもらってください。

被害に遭うと、気が動転して後の対処を怠ってしまうことがあります。警察への届け出、保険金請求の準備、パスポートや航空券などが盗まれた場合の再発行手続き、クレジットカード等が盗まれた場合のカード会社への連絡等、対応を迅速かつ適切に行ってください。

なお、本学指定のトータルサポートサービス加入時にお渡しするカードの「海外留学生トータルサポートサービス」に電話すれば、必要な手続きについて日本語で説明を受けられます（24時間365日対応）。

■最悪の事態への対応

海外滞在中に死亡例が発生する可能性も全くないとは言いきれません。万が一、このような緊急事態が発生した場合、本学では第一報を入手し次第、緊急対策本部を設け、事実や身元の確認および事故処理等に最大限の努力を注ぎます。

このような場合、本学では第一に在外公館の支援のもと、ご家族や関係者との連絡、遺体の荼毘あるいは日本への搬送等に関する手続き等、事故対応に最善を尽くします。

■メディアへの対応

獨協大学の学生が、本学が企画する留学で海外滞在中に事件・事故等に遭遇し、メディアからの取材を受ける場合は、基本的には本学の緊急対策本部が対応窓口となります。取材については、個人情報の取り扱いや提供情報の内容を詳細に確認した上で、本学が慎重かつ適切に対応します。

本学の危機管理について

本学では、学生・教職員の海外派遣に際し、大学として安全配慮義務を全うするとともに、万が一緊急事態が発生した場合、危機発生時に迅速かつ適切に対応するため、「海外危機対応マニュアル」を制定しています。危機発生時は、同マニュアルに基づき、関係各省庁とも連携し危機管理対応を行います。大学HPに掲載していますので、以下の順にアクセスし、出発前に一読ください。



HOME > 国際交流 > 留学関連情報 > 危機管理 > 海外における危機管理対応について > 危機管理対応マニュアル

海外渡航時に役立つサイト

海外安全	外務省	ホームページ		海外安全ホームページ	
			https://www.mofa.go.jp/mofaj/index.html		https://www.anzen.mofa.go.jp
		渡航3ヶ月未満の方 たびレジ (海外安全情報無料配信サービス)	渡航3ヶ月以上の方 ORRネット (オンライン在留届)	海外安全アプリダウンロード	
				for iPhone	for Android
					
	NHKワールド・ラジオ日本	海外安全情報 短波放送の受信方法・周波数		https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/anzen https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/radio/howto/	
健康・衛生	WHO	世界保健機関		https://www.who.int/	
	厚生労働省	新型コロナウイルス感染症について		https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html	
		検疫所FORTH 海外で健康に過ごすために		https://www.forth.go.jp	
	外務省	世界の医療事情		https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/	
日本国 在外公館 および 窓口機関	ドイツ	在ドイツ日本国大使館		https://www.de.emb-japan.go.jp	
	アメリカ	在アメリカ合衆国日本国大使館		https://www.us.emb-japan.go.jp	
	英国	在英国日本国大使館		https://www.uk.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html	
	カナダ	在カナダ日本国大使館		https://www.ca.emb-japan.go.jp	
	ジャマイカ	在ジャマイカ日本国大使館		https://www.jamaica.emb-japan.go.jp	
	オーストラリア	在オーストラリア日本国大使館		https://www.au.emb-japan.go.jp	
	インドネシア	在インドネシア日本国大使館		https://www.id.emb-japan.go.jp	
	トルコ	在トルコ日本国大使館		https://www.tr.emb-japan.go.jp	
	チェコ	在チェコ共和国日本国大使館		https://www.cz.emb-japan.go.jp	
	フランス	在仏日本国大使館		https://www.fr.emb-japan.go.jp	
	スペイン	在スペイン日本国大使館		https://www.es.emb-japan.go.jp	
	メキシコ	在メキシコ日本国大使館		https://www.mx.emb-japan.go.jp	
	中国	在中国日本国大使館		https://www.cn.emb-japan.go.jp	
	台湾	(公財) 日本台湾交流協会		https://www.koryu.or.jp	
韓国	在大韓民国日本国大使館		https://www.kr.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/		
国・地域別 観光サイト	ドイツ	ドイツ観光局		https://www.germany.travel/jp	
	アメリカ	GoUSA		https://www.gousa.jp	
	英国	英国政府観光庁		https://www.visitbritain.com/jp	
	カナダ	カナダ観光局		https://jp-keepexploring.canada.travel	
	ジャマイカ	Visit Jamaica		https://www.visitjamaica.com	
	オーストラリア	オーストラリア政府観光局		https://www.australia.com/ja-jp	
	インドネシア	Visit Indonesia		https://www.visitindonesia.jp	
	トルコ	トルコ大使館 文化広報参事官室		https://goturkiye.com	
	チェコ	チェコ政府観光局		https://www.visitczechrepublic.com/ja-JP	
	フランス	フランス観光開発機構		https://jp.france.fr	
	スペイン	スペイン政府観光局		https://www.spain.info	
	メキシコ	メキシコ政府観光局		https://www.visitmexico.com	
	中国	中国駐大阪観光代表処		http://www.cnta-osaka.jp	
	台湾	台湾観光協会		https://jp.taiwan.net.tw	
韓国	韓国観光公社		http://japanese.visitkorea.or.kr		



就職活動

<キャリアセンター>

Job Hunting

留学と就職



就職活動のグローバル化

グローバル化がますます加速するなか、企業は生き残りを賭け、海外経験豊かな学生の採用を重視し始めています。海外で事業展開している日本企業のなかには、国内の人材だけではなく、海外拠点での現地採用や、海外の大学に留学中の学生に内定を出すなどの「グローバル採用」を行う企業が増えています。

海外に市場を持つか否かにかかわらず、国籍を問わず優秀な人材を採用したい、外国人を採用することで社内を活性化させたいという目的でグローバル採用を実施する企業も増えています。企業だけでなく公共団体等にも、同様の動きは広がっています。今や外国人の学生も日本人にまじって就職活動をするなど、“就職活動のグローバル化”は、すでに当たり前になっているのです。グローバル人材とは、単に外国語のスキルをもつだけではなく、世界の激しい変化にも対応できる「しなやかさと逞しさ」をもち、それらをビジネスの現場で発揮できる人材をさします。海外留学は、グローバル人材になるための“はじめの一歩”だと言えるでしょう。留学先では、日本とは異なる社会の在り方や文化の違いを、自分の目で確かめ、考え、貪欲に吸収してください。そして、留学先で得た知識や出会いを通じて、自分の将来を考え、どうすれば社会に貢献できるかを、じっくり考えてください。



留学経験を就職活動に生かすために

「留学すると就職活動に不利ですか?」という質問をよく受けます。確かに、留学中は企業訪問や会社説明会に直接出席できない等の地理的な問題はありますが、海外でもグローバル採用の説明会が開催されていたり、WEBでの説明会や選考を実施する企業も増えています。また、帰国時期がエントリー時期に間に合わなくても、留学先でインターネットを駆使して情報を収集し、企業にアプローチする学生もいます。一方、就職活動にとらわれず、留學生生活を優先させる学生もいます。いずれも、自分が留学で得たものを採用担当者にしっかり説明できるようになってほしいと思います。ただ海外にいたというだけでは、就職に有利にはなりません。留学して自分がどう変わり、成長したのかを客観的に見つめ直す視点をもってください。

2024年4月採用(現大学4年生)は、会社説明会等の広報活動開始時期が3年生の3月1日以降、選考活動(面接など)が4年生の6月1日以降とされていますが、実際は早期化(3年春ごろ~)しています。留学を思い立ったら早い段階からキャリアセンターにも相談し、就職に関する状況を理解した上で留学計画を立てましょう。



キャリアセンターによる「長期留学予定者のための就職ガイダンス」

キャリアセンターでは、留学が決まった学生を主対象とする「長期留学予定者のための就職ガイダンス」を開催(7月)し、出発前の注意事項、留学中にすべきこと等を説明しています。また、留学中でもPorTaⅡを活用して就職活動の準備が可能です。PorTaⅡで進路希望登録を行い、適宜キャリアセンターからの情報を掲示板[キャリア・就職支援]で収集してください。大学に届く求人情報もPorTaⅡの(キャリア支援 > 求人照会)から確認できます。現在、オンラインでのWEB相談も受け付けていますので、不安なことがあれば予約してご利用ください。大学のキャリアセンターに送られてくる求人票は、獨協大生を積極的に採用しようとする企業からの求人ですが、帰国留學生の採用を別枠で、あるいは通年で実施する企業が増えています。帰国留學生の就職活動のチャンスは広がっています。

皆さんが充実した留學生を送り、その経験を自分のキャリアに活かすことができるよう、キャリアセンターは国際交流センターとともにサポートいたします。

〔キャリアセンターメールアドレス〕shuushoku@stf.dokkyo.ac.jp

長期留学した学生の主な進路一覧

長期留学した学生の主な進路一覧（過去5年）

留学年度	ドイツ語圏	英語圏	フランス語圏	中国語圏/韓国語圏/スペイン語圏 ★は韓国語圏 ☆はスペイン語圏
2021年度		(公財) 日本英語検定協会		アサヒホールディングス株式会社 日鉄物流(株)☆
2020年度	富士フィルムロジスティクス(株)	日本通運(株)	(株)三井不動産ホテルマネジメント	(株)アダストリア★ 地方公務員（茨城県・市町村）★
2019年度	(株)ムラキ プリマハム(株) (株)日立ビルシステム 日本アイ・ピー・エム(株) 西濃シェンカー(株) 日本ロジステックホールディングス(株) (株)コンピュータマインド社 学校法人帝京大学	ティー・エス・ビー(株) 日本アイ・ピー・エム(株) 千代田インテグレ(株) (株)イシダ (株)NTTドコモ (株)エスプール・ロジスティクス 日本ヒューレット・パッカード (同) (株)サイバーエージェント アマゾンジャパン (同) (株)すららネット (株)イーオン	中外製薬(株) 三喜商事(株) (株)セブン-イレブン・ジャパン	東京東信用金庫★ (株)星野リゾート・マネジメント☆ (株)LAVA International★
2018年度	日本ステリ(株) 明治安田生命保険相互会社 KOA(株) CVCF(株) (株)SPILYTUS ANAエアポートサービス(株) (株)プリシード・システムズ (一社) 国際交流サービス協会	学校法人獨協学園獨協大学 KDDI(株) ソフトバンク(株) アクサ生命保険(株) 一村産業(株) 中学校教員（埼玉県） アンカー・ジャパン(株) (株)ディ・エフ・エフ (株)イツセイミヤケ (株)コメリ (株)近鉄エクスプレス 東日本旅客鉄道(株) 西濃シェンカー(株) フェデラルエクスプレスジャパン合同会社 (株)ホンダトレーディング 楽天(株) 愛媛県人事委員会 (株)国際サービス・エージェンシー (株)ZIPAIR Tokyo (株)日立製作所 日本アイ・ピー・エム(株) 日立グローバルライフソリューションズ(株) スガツネ工業(株) FICT(株) 三菱鉛筆(株) 防衛省	(株)精クリエイティブ 地方公務員（埼玉県・市町村） エノテカ(株) 日本航空(株)	(株)近鉄・都ホテルズ☆ グランドニッコー東京台場 伊藤忠ロジスティクス(株)★ 佐川グローバルロジスティクス(株)★ 大王海運(株) グレイステクノロジー(株)☆ クオールホールディングス(株)★
2017年度	(株)泰連商会 東京海上日動火災保険(株) 日本精工(株) アイリスオーヤマ(株) 日本航空(株) (株)翻訳センター アイブロスベクト・ジャパン(株) メトロキャッシュアンドキャリアージャパン(株)	(株)千葉銀行 (株)近鉄エクスプレス (株)星野リゾート (株)プリンスホテル (株)リクルートホールディングス (株)セブン-イレブン・ジャパン シャープ(株) 日本通運(株) マンダリン・オリエンタル東京(株) 東京都人事委員会 三井物産グローバルロジスティクス(株) Crestec USA, INC. ミネベアミツミ(株) 森・濱田松本法律事務所 (株)TASAKI (株)森ビルホスピタリティコーポレーション	(株)IDOM (株)桃谷順天館 (株)アクト・インフォメーション・サービス	(株)ディスコ★ 野村證券(株)★ 商船三井ロジスティクス(株)★ ANA成田エアポートサービス(株)★ 郵船コーディアルサービス(株)☆ 三菱商事建材(株)☆ ハンファQセルズジャパン(株)★ 東洋水産(株)☆ 名鉄観光サービス(株)☆ 空港施設(株)☆ 旭ダイヤモンド工業(株)☆

「留学年度別」のデータのため、卒業年度に達していない学生の進路情報は含まれません。

言語文化学科 2023年3月卒業 R. N.

留 学 先：エセックス大学（英国）

留学期間：2021年9月～2022年7月（交換留学）

就 職 先：公益財団法人 日本英語検定協会

【はじめに】

私は、4年生の時に就職活動を中断して、交換留学を決意しました。その理由は、大学を4年間で卒業することよりも、学びたい学問があること、また1年程度であれば、それほど大きな不利益にはならないだろうと判断したからです。留学中は、就職活動を再開したものの、時差ややりたい仕事が決まらなかったので再び中断し、学びたかった言語学と現地での生活を満喫するため、自由気ままな日々を送りました。したがって、帰国後、私の就職活動は本格的に始まりました。

【留学前・留学中にしておくべきこと】

留学前は、とにかくさまざまな業界について調べ、どのような仕事があるのか知ることや留学経験者枠で就職活動ができることを知る程度で十分です。例えば、Career Forumや帰国GO.comなどが挙げられます。では、なぜその程度で十分なのか。それは、卒論のテーマと同じで、留学してから自身のやりたいことなど簡単に変わってしまうからです。留学とは良くも悪くも自身の価値観を大きく変えるきっかけとなります。したがって、留学後に自らがリフレッシュされた状態あるいは自身の価値観を再確認した状態から就職活動を始めることが望ましいと思います。

では、留学中に考えておくべきこととは何か。それは、留学中に培った経験や知識、価値観や考え方を言語化できるようにすることです。留学中は、常に新しいことを体験するので、全ての体験・経験を記憶しておくことは難しいです。また、エントリーシート作成には、内容をわかりやすく明確に言語化することが求められるので、簡単なメモでもいいので、文字にして残しておくことを強くおすすめします。

そして、もう一つ重要なことは、自身の性格や行動原理を理解することです。私の場合、知りたいと思ったことはとことん調べ、聞きたいと思ったことは躊躇せず他人に聞く性格のため、自分には研究職が向いているとわかりました。同じように、だれにも何か行動を起こす時には理由があるはずで、それを見失うことなく、自分の個性として大事にしてほしいと思います。それが、自分の将来の選択にも繋がるからです。

【留学後の就職活動について】

留学終了後の7月から就職活動を始めた私は、「海外と関わる仕事」や「将来的に海外で働ける仕事」を軸に、IT業界、メーカー、商社、物流等を幅広く志望していました。しかし、そうした業界は自分にあまり合っていなかったのか、10月までに内定を得ることができませんでした。そこで、自分が今一番やりたいことは何かを考えた結果、「海外大学院に進学して言語学の分野を更に深めたい」という考えに至りました。そう考えた背景には、留学中に会った人々からの強い影響がありました。そして私は、人々が第二言語を学ぶ理由と日本人の英語に対する苦手意識や修得が難しい理由について知りたいとずっと考えていたのです。その結果自ずと、私の就職活動の軸は、「研究活動と類似する職」に絞られました。

そして、11月から就職活動を再開した私は、キャリアセンターに募集が来ていた「日本英語検定協会」に応募することにしました。私の卒論のテーマと類似していたことも幸いして、志望動機も納得いくものが書けました。また、キャリアセンターの方が面接対策やエントリーシート添削に協力してくださったので、12月に内定をもらうことができました。

最後に、キャリアセンターは積極的に利用することをおすすめします。自分の就職活動の軸に迷いが生じた時は、助けになってくれるからです。

【最後に】

留学は専門知識や新しい価値観を得るきっかけになります。また、自身を成長させる起爆剤にもなり得ます。しかし、それは決して就職活動を有利に進めるファクターにはなりません。実際に留学をしてみると分かりますが、日本人の留学生は珍しくありません。だからこそ、自分だけの強みや留学目的、将来やりたいことを明確にすることが重要です。これらがあるだけで、自分だけの道を確立することができるのです。もちろん、留学中に目的が明確になることになってもそれは構いません。とにかくこれが自分の道だと言える留学にしてほしいと思います。

もう一つ、何年生であろうと、留学中は就職活動に振り回されることなく、全力で現地の生活を楽しみましょう。それが有意義かつ悔いのない留学生活につながるからです。

以上が、私からの報告です。これから留学を志望する全ての人にエールを送ります。

交流文化学科 2023年3月卒業 H. C.

留 学 先：マラガ大学（スペイン）

留学期間：2021年9月～2022年2月

就 職 先：日鉄物流株式会社

【留学の計画】

もともとは2年次秋学期から3年次春学期の2学期間の留学を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で留学開始が延期になってしまいました。奨学金、ゼミ、就職活動などのさまざまな要因を考慮し、留学期間を3年次秋学期のみに短縮しました。

【留学前の就職活動】

留学前はオンラインの説明会に参加しただけで、インターンシップ等には参加しませんでした。気になる分野・業界を絞ることもなく、就職活動サイトに掲載されている企業の中でなんとなく惹かれた会社の説明会に参加しました。そのため、就職活動に対してはあまり意識のないまま留学を開始しました。半年間の留学であったこともあり、とにかく「留学を楽しもう」という気持ちでした。

【留学中】

留学前に説明会に参加した企業で、留学中に選考が始まっていたところがありました。「この説明会に参加し、企業の概要を知ることが選考ステップの0段階である」といった企業も多かったため、時差や大学の授業のスケジュールも考慮しながら、参加できるものにはできるだけ参加しました。

留学先でのキャリアフォーラムの参加や、現地での就職活動はしませんでした。その理由は、自分のスペイン語力がそれほど高くなかったことに加え、スペインの若者の就職難の事実を知っていたからです。日本のシステムとは異なり、大学を卒業すればすぐに就職できるのではなく、仕事に必要な一定のスキルを持つことが条件であるため、日本人の新卒学生がスペインで就職するのは難しいようです。

【留学後】

2月の終わりに帰国し、3月に入ってすぐに本格的に就職活動をスタートさせ、5月初めには就職活動を終わることができました。留学中に自分と向き合う時間が多く、自分の価値観を明確にすることができたので、留学前にざっくりみていた企業の中で、自分の価値観に合う企業を選ぶのは簡単であったように感じました。

エントリーシートを提出したのは約10社で、そのうちの8社は面接に進みました。エントリーシートには、留学のことを書いたのはもちろんですが、留学の事実だけを書くのではなく、留学によって見えた「自分とは」について書きました。面接官のなかには、留学経験のある学生が語学力や留学経験があることだけをアピールするだけで、中身がないことが多いと感じる方もいるようです。ですから、アピールの仕方を工夫する必要があります。面接では、「留学を決断した理由、語学留学にしなかった理由、準備の過程や留学中で大変だったことを一つずつ述べて下さい」というような質問をされました。そこで、誇張したり、綺麗事ばかりを並べるのではなく、素直に「自分」を出した方が、企業とのミスマッチも無くなると思いました。

【最後に】

留学前にあまり業界を絞りすぎない方がいいと思います。理由は二つあります。一つめは、留学中に自分の将来像が変わることが多いからです。そのため、選択肢を多く持っていた方が、帰国後の就職活動が楽になると思います。二つめは、仕事内容と同じくらい社風や、自分の望むキャリアプランと会社のシステムの整合性も重要だと思うからです。このことは、私が就職活動をする中で強く実感したことです。興味のある仕事でも、社風が合わない会社で働くのはしんどいと言っている社員の方もいましたし、新卒よりも中途採用の方が待遇の良い場合もあります。ですから、広い視野を持って自分に合う企業を見つけてみてください。他の学生との進捗の差から焦ってしまうこともあると思いますが、大丈夫です。留学で強くなった自分を信じてください。応援しています。



留学統計資料 (過去5年)

Statistical Data

※2019～2022年度については留学の中止・延期が発生しています（詳細はP12参照）。

■交換留学生数

国・地域名	留学先大学	2018		2019		2020		2021		2022		過去5年間合計		大学別計	国・地域別計	
		春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期			
ドイツ	デュースブルク=エッセン大学			2	1(1)						2	2	3(1)	5(1)	39(6)	
	デュッセルドルフ大学	/				1						1		1		
	ハイデルベルク大学	1	1	1						1	1	3	2	5		
	ハレ=ヴィッテンベルク大学	1	1									1	1	2		
	ヒルデスハイム大学		1	1	1(1)			1	1			2	3(1)	5(1)		
	ブレーメン専門単科大学	1			1(1)			1		1	1	1	3(1)	4(1)		
	ベルリン自由大学		2		2(1)					1	1	1	5(1)	6(1)		
	マールブルク大学	1	1	2								3	1	4		
	ミュンスター大学		2										2	2		
	リューネブルク大学	/			1(1)		1(1)						2(2)	2(2)		
レーゲンスブルク大学			1					1	1		2	1	3			
スイス	バーゼル大学			1	1							1	1	2	2	
アメリカ	ウイスコンシン大学ステイブンス・ポイント校		1		1				2		2		6	6	16(1)	
	カリフォルニア大学デービス校	2	1	1	3(1)				1			3	5(1)	8(1)		
	カリフォルニア州立大学モントレー・ベイ校		2										2	2		
	サンフランシスコ州立大学													0		
英国	エセックス大学		3		1				1				5	5	17	
	カーディフ大学		1										1	1		
	ニューカッスル大学		2		1				1		3		7	7		
	マンチェスター大学		1		1						2		4	4		
カナダ	ヨーク大学										1		1	1	1	
ジャマイカ	西インド諸島大学モナ校													0	0	
オーストラリア	ウーロンゴン大学			1						1		2		2	3	
	サザンクロス大学	1										1		1		
チェコ	マサリク大学		2		2				2				6	6	6	
フランス	西部カトリック大学	3	3	1		2	1(1)		1	5(2)	3(1)	11(2)	8(2)	19(4)	23(5)	
	フランシュ・コンテ大学	/			2(1)						2		4(1)	4(1)		
スペイン	バルセロナ自治大学		2		2(2)				1	1	2	1	7(2)	8(2)	17(5)	
	マラガ大学		2		2(2)				3(1)		2		9(3)	9(3)		
メキシコ	グアダラハラ大学		2		3(2)				1		3		9(2)	9(2)	9(2)	
中国	華東師範大学		1		1(1)								2(1)	2(1)	4(2)	
	大連理工大学	/							1				2(1)	2(1)		
	北京師範大学													0		
台湾	東呉大学	1	1		1						2	1	4	5	5	
韓国	仁荷(イナ)大学				1(1)		1			2	2	1	4(1)	3	7(1)	28(4)
	慶熙(キョンヒ)大学				1					4			5	5		
	建国(コングク)大学	1	1	2	1(1)	2(1)			1	2	1(1)	7(1)	4(2)	11(3)		
	大邱(テグ)カトリック大学										1		1	1		
	延世(ヨンセ)大学	1		1		1			1		/	3	1	4		
小計		13	33	16(1)	28(15)	7(1)	2(2)	1	21(1)	18(2)	31(3)	55(4)	115(21)	170 (25)		
合計		46		44 (16)		9 (3)		22 (1)		49 (5)		170 (25)				

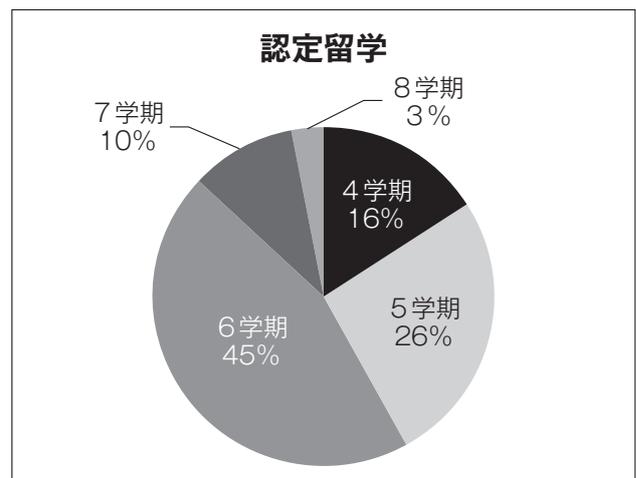
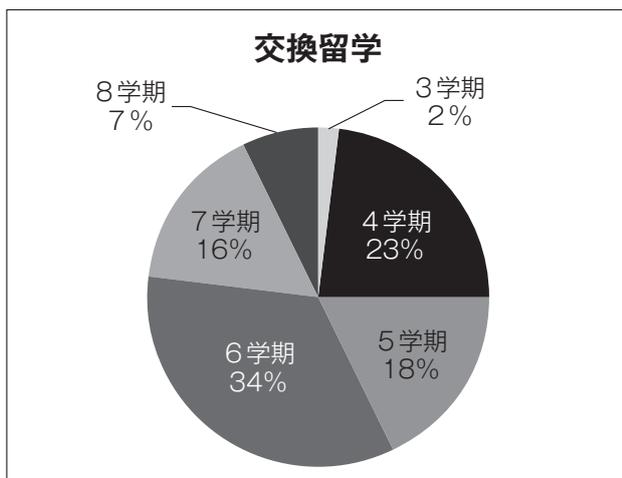
() 内は留学期間が半年の学生の内数

■ 認定留學生数

国・地域名	2018		2019		2020		2021		2022		過去5年間合計		合計	
	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春	秋	春学期	秋学期		
ドイツ	1		2	2 (1)							3	2 (1)	5 (1)	
アメリカ	3	22 (6)		7 (3)	1 (1)					11 (3)	4 (1)	40 (12)	44 (13)	
英国	2 (2)	1									2 (2)	1	3 (2)	
カナダ													0	
オーストラリア	3 (1)	1 (1)	2	1 (1)		1 (1)					5 (1)	3 (3)	8 (4)	
ニュージーランド	2 (1)										2 (1)		2 (1)	
アイルランド													0	
エストニア	1 (1)			1 (1)							1 (1)	1 (1)	2 (2)	
リトアニア			1 (1)	2 (2)							1 (1)	2 (2)	3 (3)	
フィンランド				1								1	1	
イタリア			2 (1)								2 (1)		2 (1)	
フランス		2 (1)	1 (1)	5 (4)	1 (1)	1 (1)				1 (1)	2 (2)	9 (7)	11 (9)	
スペイン		1										1	1	
メキシコ													0	
チリ													0	
中国		2 (1)	1 (1)	1 (1)							1 (1)	3 (2)	4 (3)	
台湾				1						1		2	2	
韓国		1 (1)	1								1	1 (1)	2 (1)	
小計	12 (5)	30 (10)	10 (4)	21 (13)	2 (2)	2 (2)				13 (4)	24 (11)	66 (29)	90 (40)	
合計	42 (15)		31 (17)		4 (4)		新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止		新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止		新型コロナウイルス感染症のため、派遣中止		13 (4)	90 (40)

() 内は留学期間が半年の学生の内数

■ 長期留学開始学期 (2019年度参考)



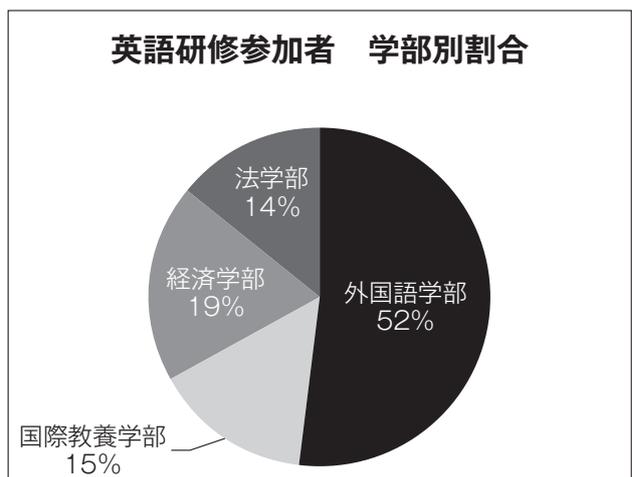
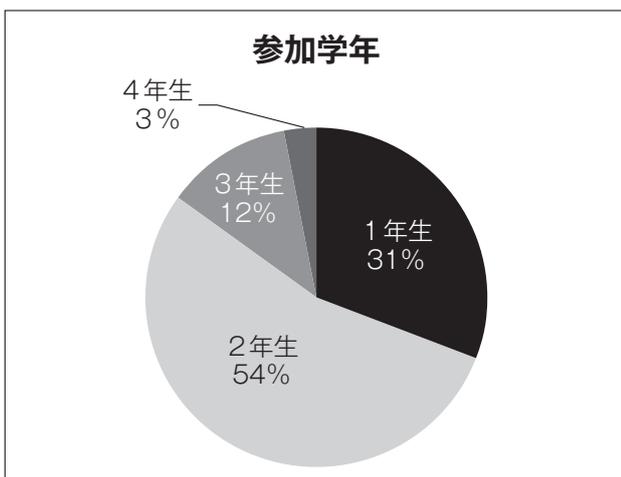
■ 短期協定校留学参加者数

国・地域名	留学先大学	2018	2019	2020	2021	2022	合計		
ドイツ	ハレ=ヴィッテンベルク大学	19	23	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	4	46		
アメリカ	ウイソコンシン大学スティーブンス・ポイント校	15	14						29
	カリフォルニア大学デービス校	8	7						15
カナダ	ヨーク大学	31	20					30	81
	レジャイナ大学							8	8
オーストラリア	ウーロンゴン大学	30	25						55
フランス	ブルゴーニュ大学	13	12						25
スペイン	マラガ大学	9						16	25
メキシコ	グアダラハラ大学		7						7
中国	大連理工大学		8						8
台湾	東呉大学	9						2	11
韓国	建国(コングク)大学	8	16						24
	慶熙(キョンヒ)大学							2	2
合計		142	132					62	336

■ 短期認定留学参加者数

国・地域名	2018		2019		2020		2021		2022		合計										
	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	夏	春	国・地域別								
ドイツ		6		10	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	新型コロナウイルス感染症のため、プログラム中止	7	4	16	16								
アメリカ	1	2	3	4																	17
アイルランド	2	7	5	1															7	8	15
英国	13	19	8	6															21	25	46
カナダ	1																		1		1
オーストラリア		2	1	6															1	8	9
ニュージーランド				5																5	5
フィリピン	13	10	16	6														7	29	23	52
マレーシア	2																		2		2
フランス		2		2																4	4
スペイン	2	1	1	3															3	4	7
中国		3		中止																3	3
韓国				2																2	2
合計	34	52	34	45														14	68	111	
	86		79						14	179											

■ 短期留学（協定校・認定）参加者データ（2019年度参考）



統計資料

滞在先の緊急連絡先（留学する際に記入し、活用してください）

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／URL／メールアドレス
留学先大学		
受入担当部署		
カウンセリング		
セキュリティー		
保健センター		
その他		
滞在先		
ホテル		
アパート・寮・ ホストファミリー		
現地緊急連絡先		
日本大使館 領事館		
警察		
病院		
消防		
海外留学生 トータルサポート サービス	海外危機管理サポートデスク	

獨協大学 緊急連絡先

連絡先	施設名／住所／担当者名	電話番号／URL／メールアドレス
獨協大学	〒340-0042 埼玉県草加市学園町1-1	https://www.dokkyo.ac.jp/ https://www.dokkyo.ac.jp/international/
	国際交流センター	+81-48-946-1918~1920 a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp
	学生課	+81-48-946-1671
	保健センター	+81-48-946-1944
	カウンセリング・センター	+81-48-946-1931
通常業務時間：月～金 9：00～17：00、土 9：00～12：00 ※一斉休業時や上記業務時間外の緊急連絡先：+81-48-946-1698（守衛所）		



留学ガイド 2023

獨協大学 国際交流センター

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号 TEL.048-946-1918~20 FAX.048-946-2892
E-mail a-kokuse@stf.dokkyo.ac.jp <https://www.dokkyo.ac.jp/international/>